

# 令和4年度市民アンケート調査 結果報告書

令和5年1月

盛岡市

# 目 次

I	事業の概要	1
II	調査結果と考察	
テーマ1	市の情報発信について	
問1	広報紙を読む頻度	3
問2	広報紙を読む範囲	5
問3	広報紙に対する満足度	8
問4	情報を得るために利用している媒体	10
問5	力を入れてほしい情報発信の方法	13
問6	力を入れてほしい話題	15
テーマ2	中心市街地活性化について	
問7	よく訪れる中心市街地のエリア	18
問8	中心市街地のイメージ	21
問9	5年前と比較し活性化していると思うエリア	25
問10	魅力的と感じるために重要と考える点	28
問11	1か月間にお出かけする回数	31
問12	中心市街地にお出かけする回数	35
問13	お出かけする回数が多いエリア	40
問14	中心市街地のお出かけで1回に使用する金額	42
問15	中心市街地へお出かけする際の交通手段	46
テーマ3	健康づくりについて	
問16	喫煙の有無	50
問17	中心市街地の屋内屋外で求める受動喫煙対策	52
問18	悩みを相談できる場所の有無	55
問19	悩みを相談できる相手	57
問20	悩んでいる人からの相談の有無	59
問21	悩みを相談されたときの対応	61
問22	希死念慮の経験の有無	63
問23	こころの健康づくりに有効な手段	65
テーマ4	お墓について	
問24	お墓の所有状況	68
問25	お墓に関する不安や心配事	70
問26	持ちたいお墓の形態	72
問27	お墓の形態変更や新たにお墓を持つ予定	74
問28	市営墓地への期待	76
問29	市営合葬墓の必要性	79
問30	市営合葬墓の利用希望	81

# I 事業の概要

## 1 事業の目的

市民アンケート調査は、市政に対する市民の考えや意見を把握し、調査結果を施策検討の際の基礎資料として活用することにより、「市政の合理的かつ効率的な運営」を図るため毎年実施しています。

## 2 事業テーマ

- |                  |                         |    |
|------------------|-------------------------|----|
| (1) 市の情報発信について   | (担当：市長公室広聴広報課)          | 6問 |
| (2) 中心市街地活性化について | (担当：商工労働部経済企画課)         | 9問 |
| (3) 健康づくりについて    | (担当：市長公室企画調整課、保健所健康増進課) | 8問 |
| (4) お墓について       | (担当：保健所企画総務課)           | 7問 |

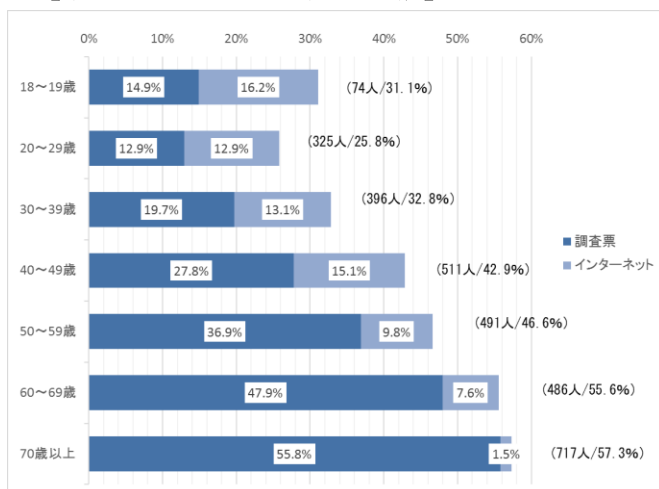
## 3 事業の設計

- |           |                           |
|-----------|---------------------------|
| (1) 実施方法  | アンケート方式による調査              |
| (2) 調査地域  | 盛岡市全域                     |
| (3) 調査対象者 | 満18歳以上の市民                 |
| (4) 標本数   | 3,000人                    |
| (5) 抽出方法  | 住民票ファイル（令和4年6月30日）から無作為抽出 |
| (6) 調査方法  | 郵送による配布・回収（インターネット回答を併用）  |
| (7) 調査期間  | 令和4年9月15日～9月30日           |

## 4 調査の回収結果

- |           |                                    |
|-----------|------------------------------------|
| (1) 対象者数  | 3,000人                             |
| (2) 有効回収数 | 1,366人（内訳…調査票：1,087人、インターネット：279人） |
| (3) 有効回収率 | 45.5%                              |

### 【年代別回収率と回答媒体の内訳】



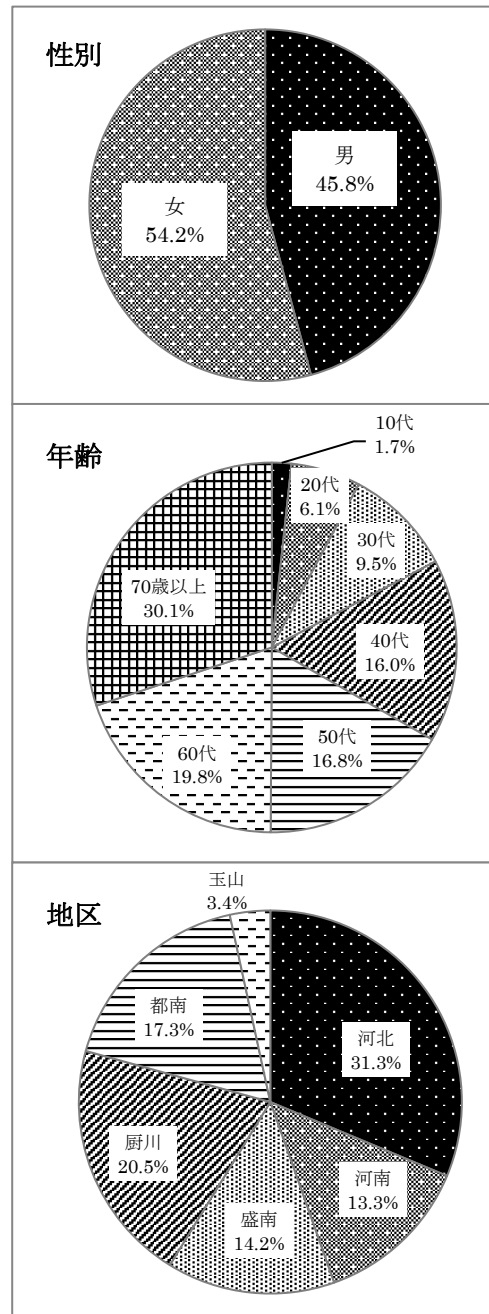
( ) 内の数は、その年代の対象者の人数及び回答率

全体の有効回収率は令和3年度実施の同調査の46.7%より1.2ポイント低くなった。回答のうち、インターネットでの回答率は20.4%で、同調査の23.1%より2.7ポイント低くなった。

回収率が昨年度比97.6%となり、これは、新型コロナウイルス感染症の予防対策による行動制限の緩和等により、外出機会が増加し在宅時間が短縮したことにより、アンケートの回答が減少したものと思慮される。

## 5 調査回答者の内訳

区分	実数 (人)
全 体	1,366
<b>【性別】</b>	
男 性	626
女 性	740
<b>【年代別】</b>	
18 歳 ~ 19 歳	23
20 歳 ~ 29 歳	84
30 歳 ~ 39 歳	130
40 歳 ~ 49 歳	219
50 歳 ~ 59 歳	229
60 歳 ~ 69 歳	270
70 歳 以 上	411
<b>【地区別】</b>	
河 北	428
河 南	181
盛 南	194
厨 川	280
都 南	237
玉 山	46



### 【地区別】の区分について

現行のコミュニティ区分を基本単位とし、市域を次の6地区に区分しています。

1	河北	桜城、仁王、上田、緑が丘、松園、山岸、上米内
2	河南	城南、加賀野、中野、杜陵、大慈寺、築川
3	盛南	仙北、本宮、太田、繫
4	厨川	西厨川、土淵、東厨川、青山、みたけ、北厨川
5	都南	見前、飯岡、乙部
6	玉山	好摩、巻堀姫神、洪民、玉山藪川

## 6 留意事項について

- (1) 比率はすべて百分率で表示し、小数点第2位を四捨五入して算出しました。したがって、合計が100.0%とならない場合があります。
- (2) 複数回答を求める設問では、その回答の数値は延べ回答数に対する百分率ではなく回答者数を100とした場合の百分率です。したがって、合計は100.0%を超えることがあります。
- (3) 「N」は、有効回収数で、比率算出の基礎になります。
- (4) 「重複回答」は、複数回答の設問内で矛盾する選択肢を選んだものを示します。

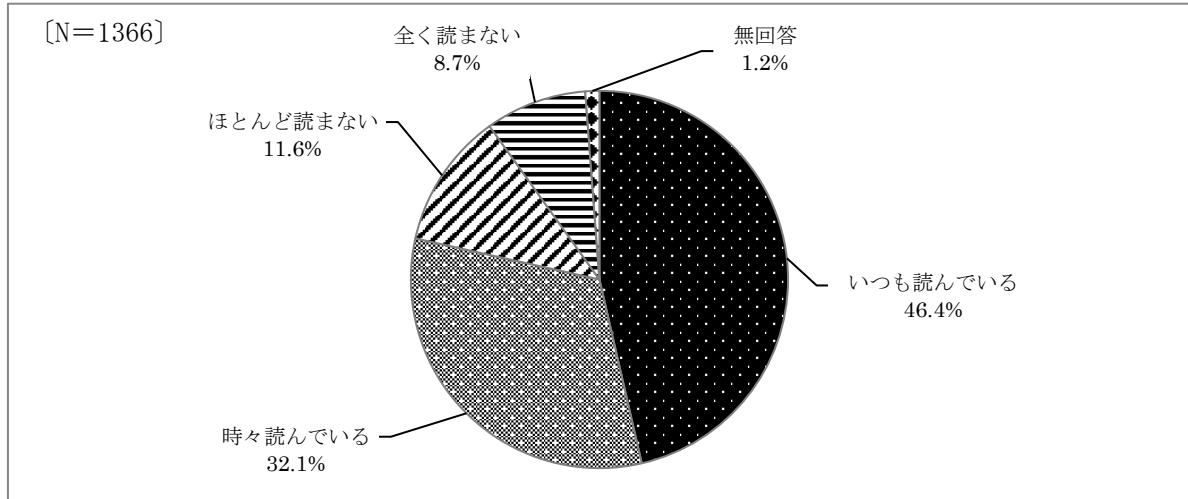
## Ⅱ 調査結果と考察

《テーマ1 市の情報発信について》

**問1** あなたは、広報もりおかを毎回読んでいますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

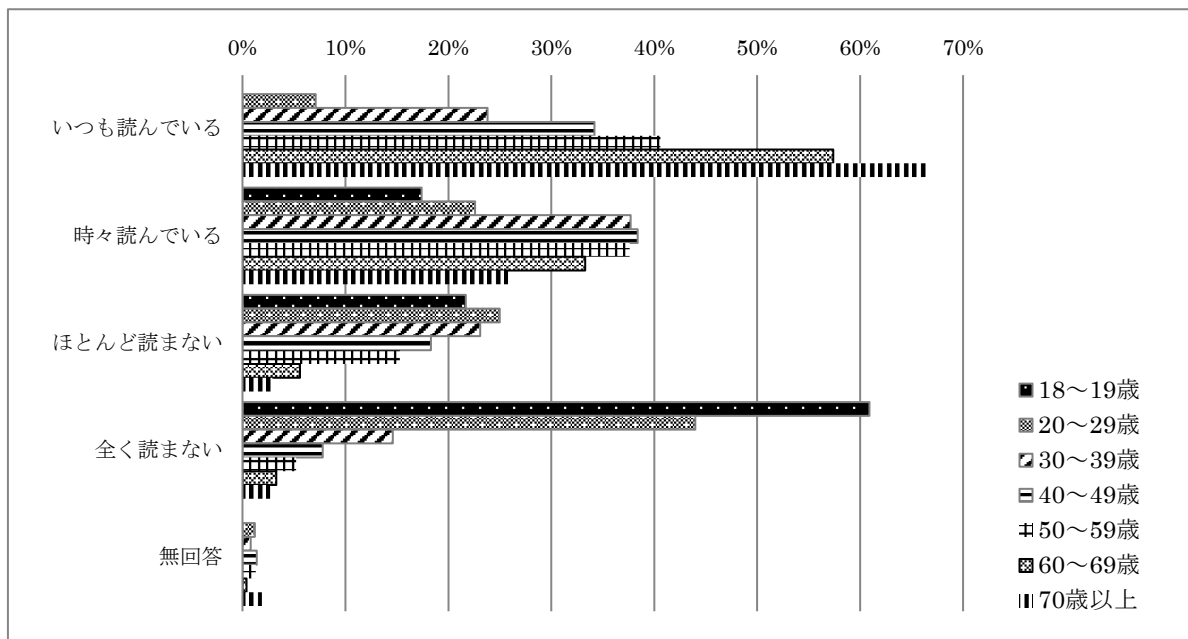
- |            |            |
|------------|------------|
| 1 いつも読んでいる | 3 ほとんど読まない |
| 2 時々読んでいる  | 4 全く読まない   |

【全体】



「いつも読んでいる」と回答する人が最も多く、「時々読んでいる」と回答した人と合わせると、約8割(78.5%)の人が広報を読んでおり、市政情報紙として認知されているものと考えられる。

【年代別】



年代が上がるほど、「いつも読んでいる」と回答する割合が高い。また、「いつも読んでいる」人が、40代で34.2%、50代では40.6%であるのに対し、60代になると57.4%と大幅に割合が高くなる。一方で、10代と20代では「ほとんど読まない」「全く読まない」人の割合が82.6%と69.0%とかなり高い。これは、この年代の市民にとって関心のある情報の掲載が少ないことによるものと考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

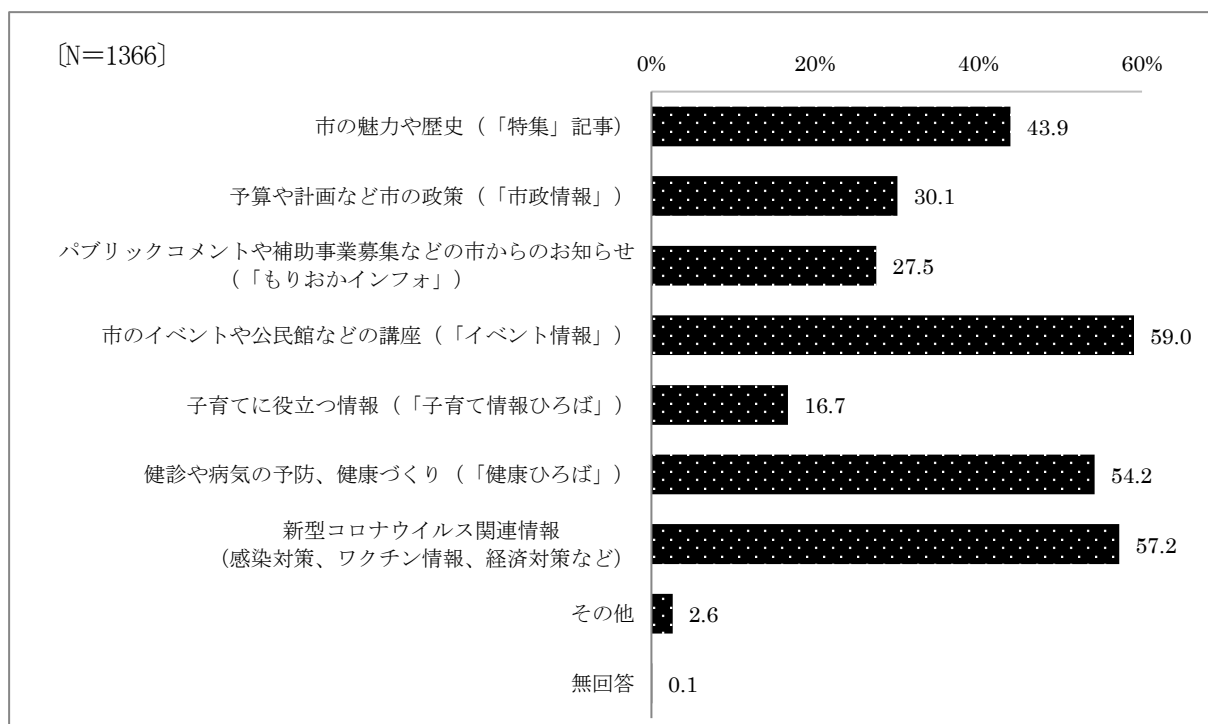
			いつも読んでいる	時々読んでいる	ほとんど読まない	全く読まない	無回答
	全体	1366	634	438	158	119	17
地区	河北	428	210	133	47	35	3
	河南	181	86	61	19	13	2
	盛南	194	91	54	27	21	1
	厨川	280	128	92	31	25	4
	都南	237	103	79	28	22	5
	玉山	46	16	19	6	3	2
性別	男	626	269	191	90	71	5
	女	740	365	247	68	48	12
年齢	18～19歳	23	0	4	5	14	0
	20～29歳	84	6	19	21	37	1
	30～39歳	130	31	49	30	19	1
	40～49歳	219	75	84	40	17	3
	50～59歳	229	93	86	35	12	3
	60～69歳	270	155	90	15	9	1
	70歳以上	411	274	106	12	11	8

**問2** 【問1で「1 いつも読んでいる」「2 時々読んでいる」を選んだ方にお聞きします。】

あなたは、広報もりおかのどの部分を読んでいますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

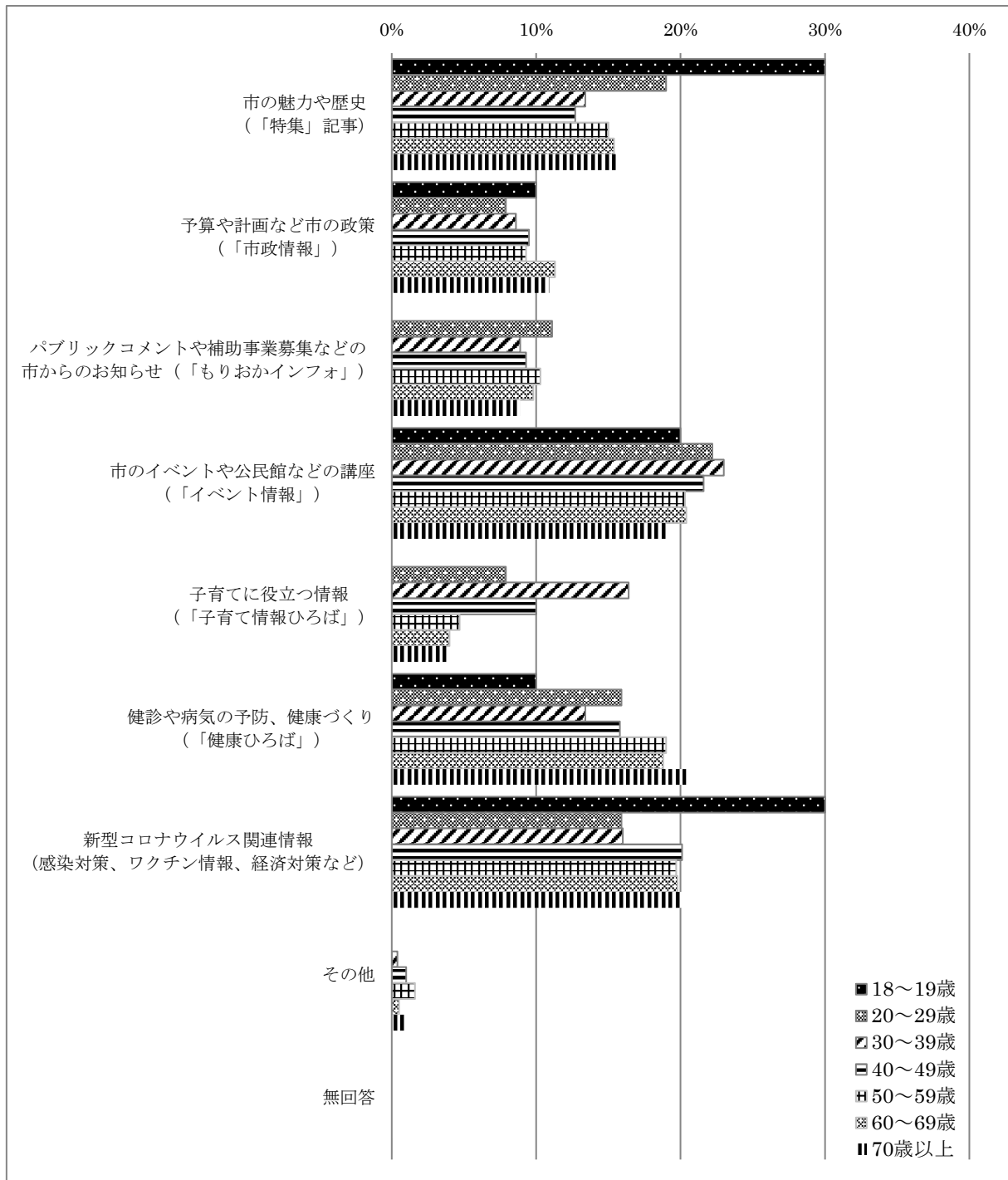
- 1 市の魅力や歴史（「特集」記事）
- 2 予算や計画など市の政策（「市政情報」）
- 3 パブリックコメントや補助事業募集などの市からのお知らせ（「もりおかインフォ」）
- 4 市のイベントや公民館などの講座（「イベント情報」）
- 5 子育てに役立つ情報（「子育て情報ひろば」）
- 6 健診や病気の予防、健康づくり（「健康ひろば」）
- 7 新型コロナウイルス関連情報（感染対策、ワクチン情報、経済対策など）
- 8 その他（ ）

**【全体】**



「市のイベントや公民館などの講座」と回答した人が最も多く、これらは多くの市民が関心を寄せている情報であると考えられる。今回初めて選択肢に入れた「新型コロナウイルス」に係る情報が次いで回答数が多く、3位の「健診や病気の予防、健康づくり」と合わせて、健康へ関するテーマへの関心の高さがうかがえる。

【年代別】



「子育て情報」は30代~40代の関心が高い。また、「市の魅力や歴史」に関心が高い世代は10代と20代であり、特集の充実は若い世代に広報を読んでもらうきっかけになると考えられる。



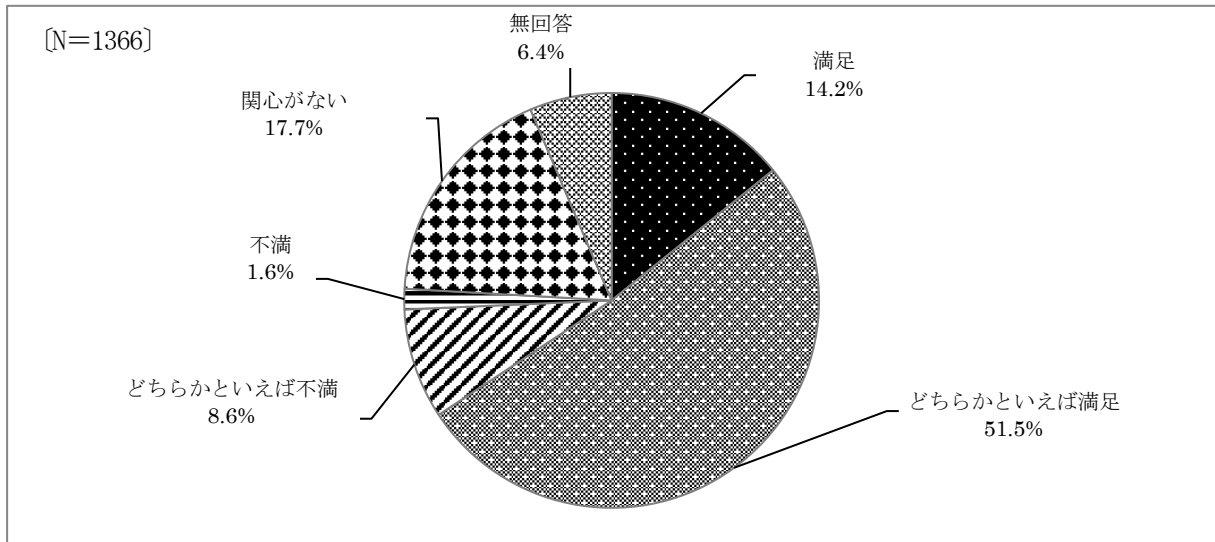
【性別、年代別、地区別の回答数】

			市の魅力や歴史（「特集」記事）	予算や計画など市の政策（「市政情報」）	パブリックコメントや補助事業募集などの市からのお知らせ（「もりおかインフォ」）	市のイベントや公民館などの講座（「イベント情報」）	子育てに役立つ情報（「子育て情報ひろば」）	健診や病気の予防、健康づくり（「健康ひろば」）	新型コロナウイルス関連情報 （感染対策、ワクチン情報、経済対策など）	その他	無回答
	全体	3978	599	411	375	806	228	740	782	36	1
地区	河北	1315	217	152	123	258	58	239	253	14	1
	河南	550	75	44	58	117	38	108	105	5	0
	盛南	512	78	55	47	105	28	97	99	3	0
	厨川	803	118	76	77	164	53	150	160	5	0
	都南	674	90	70	56	141	45	124	140	8	0
	玉山	124	21	14	14	21	6	22	25	1	0
性別	男	1680	260	216	159	323	103	287	314	18	0
	女	2298	339	195	216	483	125	453	468	18	1
年齢	18～19歳	10	3	1	0	2	0	1	3	0	0
	20～29歳	63	12	5	7	14	5	10	10	0	0
	30～39歳	269	36	23	24	62	44	36	43	1	0
	40～49歳	518	66	49	48	112	52	82	104	5	0
	50～59歳	679	102	63	70	138	32	129	134	11	0
	60～69歳	983	151	111	96	201	39	185	195	5	0
	70歳以上	1456	229	159	130	277	56	297	293	14	1

**問3** あなたは、広報もりおかの記事に満足していますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

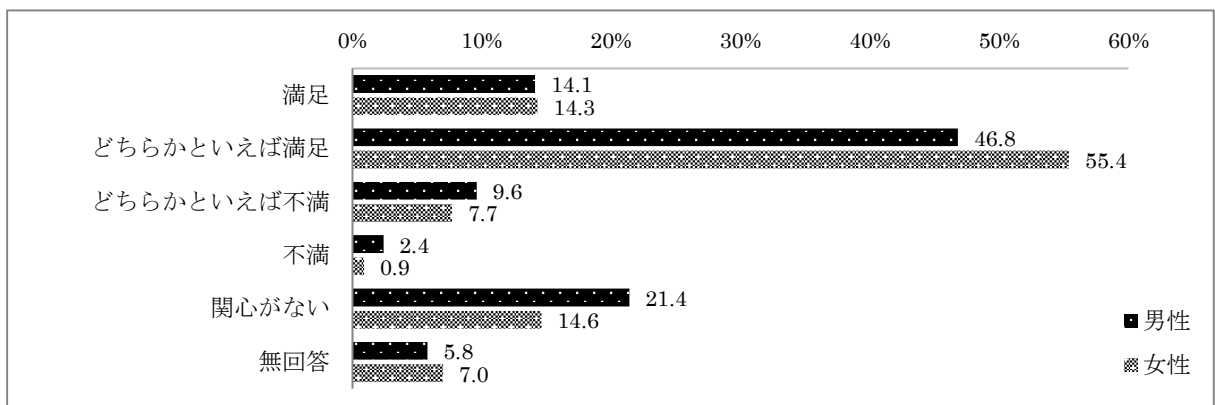
- |              |         |
|--------------|---------|
| 1 満足         | 4 不満    |
| 2 どちらかといえば満足 | 5 関心がない |
| 3 どちらかといえば不満 |         |

**【全体】**



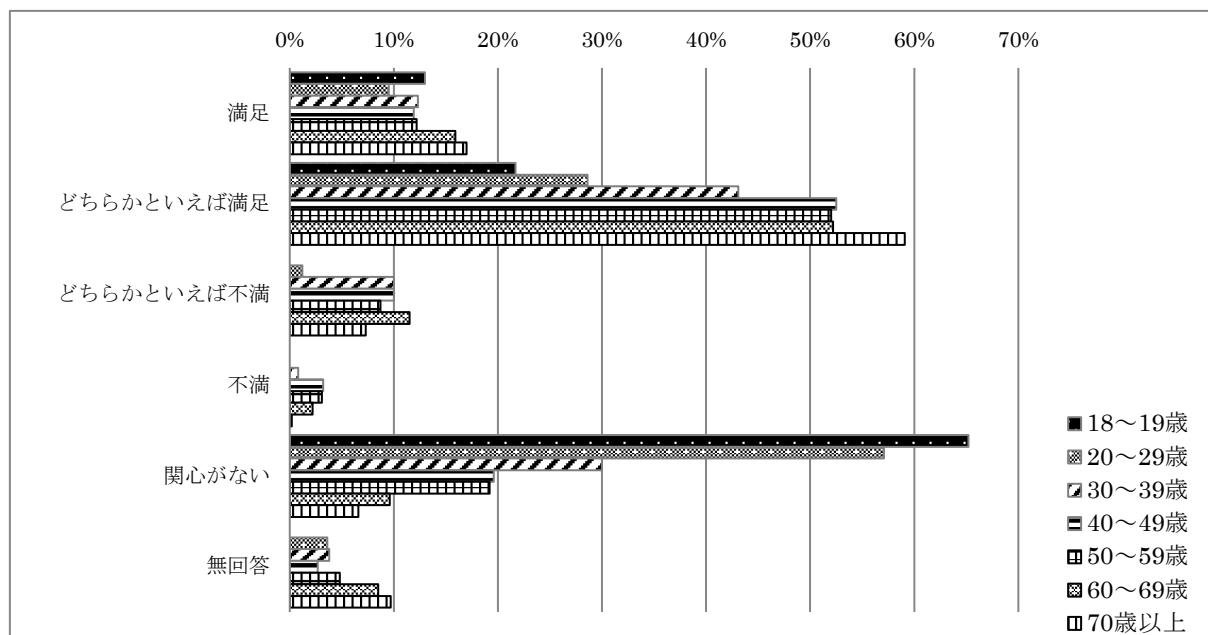
「満足」「どちらかといえば満足」と回答した人は65.7%と、「不満」「どちらかといえば不満」の10.2%を大きく上回っている。一方で、「関心がない」と回答した人が17.7%もいたことから、広報紙、そして市政に関心を持ってもらえるような紙面づくりを進めていく必要がある。

**【性別】**



「満足」「どちらかといえば満足」の回答は、女性の割合が高く（女性69.7%、男性60.9%）、「関心がない」は男性の割合が高い（男性21.4%、女性14.6%）。

### 【年代別】



「関心がない」は10代で65.2%、20代で57.1%と、記事そのものに関心がない若い年代が多いことが分かった。一方で、年代が上がるにつれ「満足」「どちらかといえば満足」の割合が増えていることから、広報をよく読んでいる高齢者ほど記事の内容に満足していることがうかがえる。

このことから、若い年代に興味を持ってもらえるような紙面づくりが必要と考えられる。

### 【性別、年代別、地区別の回答数】

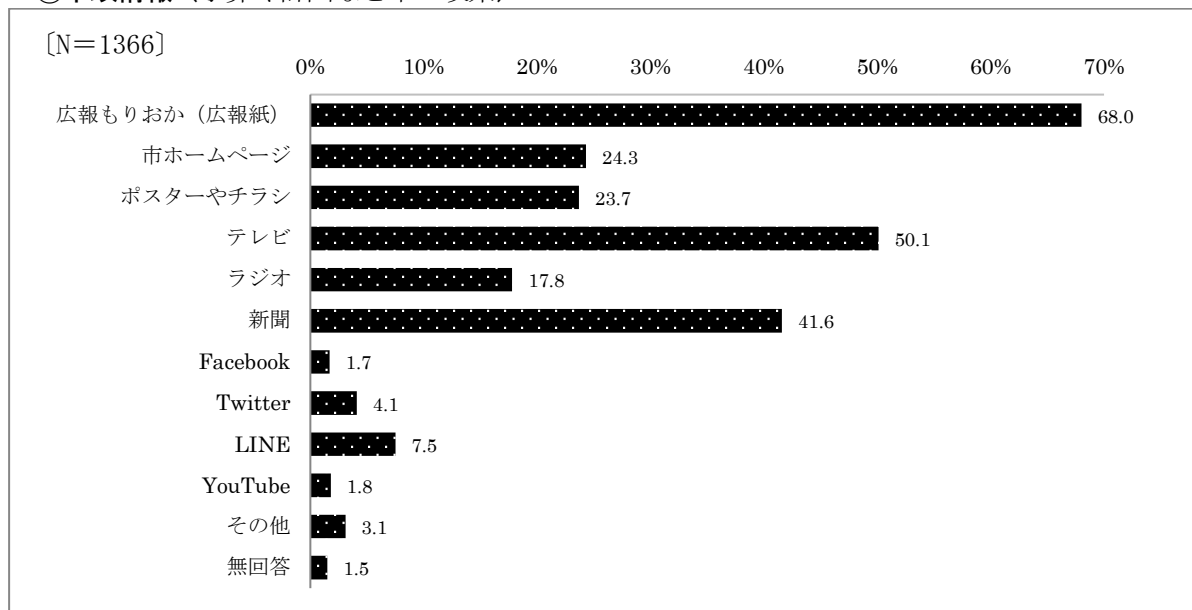
		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	関心がない	無回答
	全体	1366	194	703	117	242	88
地区	河北	428	58	232	28	69	33
	河南	181	26	88	15	31	19
	盛南	194	25	98	15	38	14
	厨川	280	47	135	32	50	10
	都南	237	34	127	21	44	10
	玉山	46	4	23	6	10	2
性別	男	626	88	293	60	134	36
	女	740	106	410	57	108	52
年齢	18~19歳	23	3	5	0	15	0
	20~29歳	84	8	24	1	48	3
	30~39歳	130	16	56	13	39	5
	40~49歳	219	26	115	22	43	6
	50~59歳	229	28	119	20	44	11
	60~69歳	270	43	141	31	26	23
	70歳以上	411	70	243	30	27	40

**問4** あなたが、市政情報や市のイベント情報を得る際に利用している手段は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

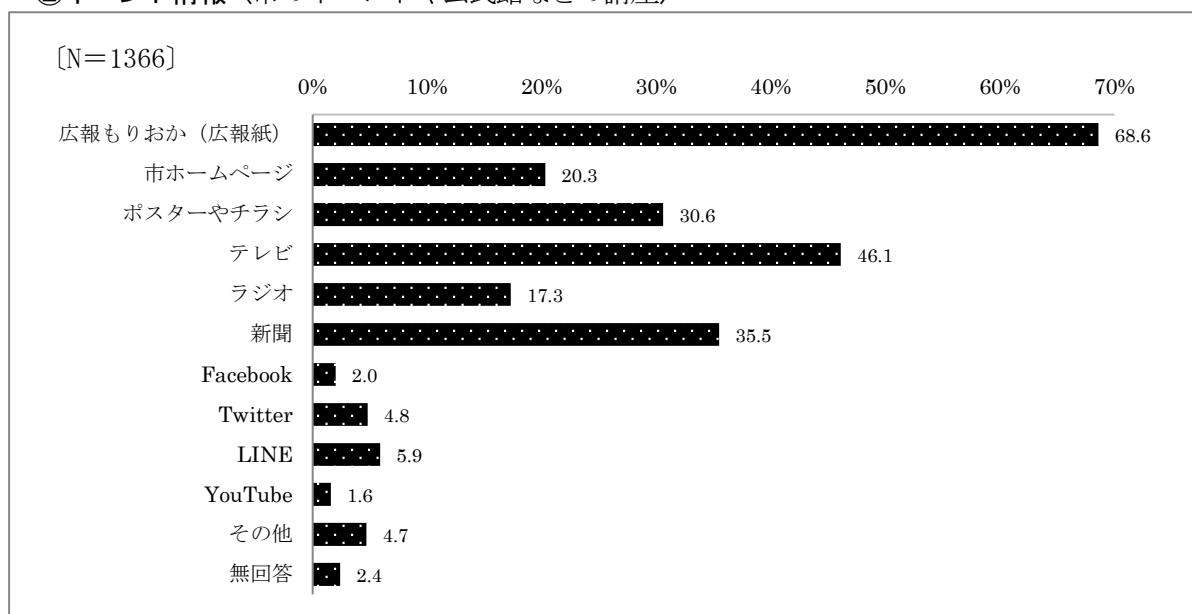
- |               |            |
|---------------|------------|
| 1 広報もりおか（広報紙） | 7 Facebook |
| 2 市ホームページ     | 8 Twitter  |
| 3 ポスターやチラシ    | 9 LINE     |
| 4 テレビ         | 10 YouTube |
| 5 ラジオ         | 11 その他（ ）  |
| 6 新聞          |            |

**【全体】**

**①市政情報（予算や計画など市の政策）**



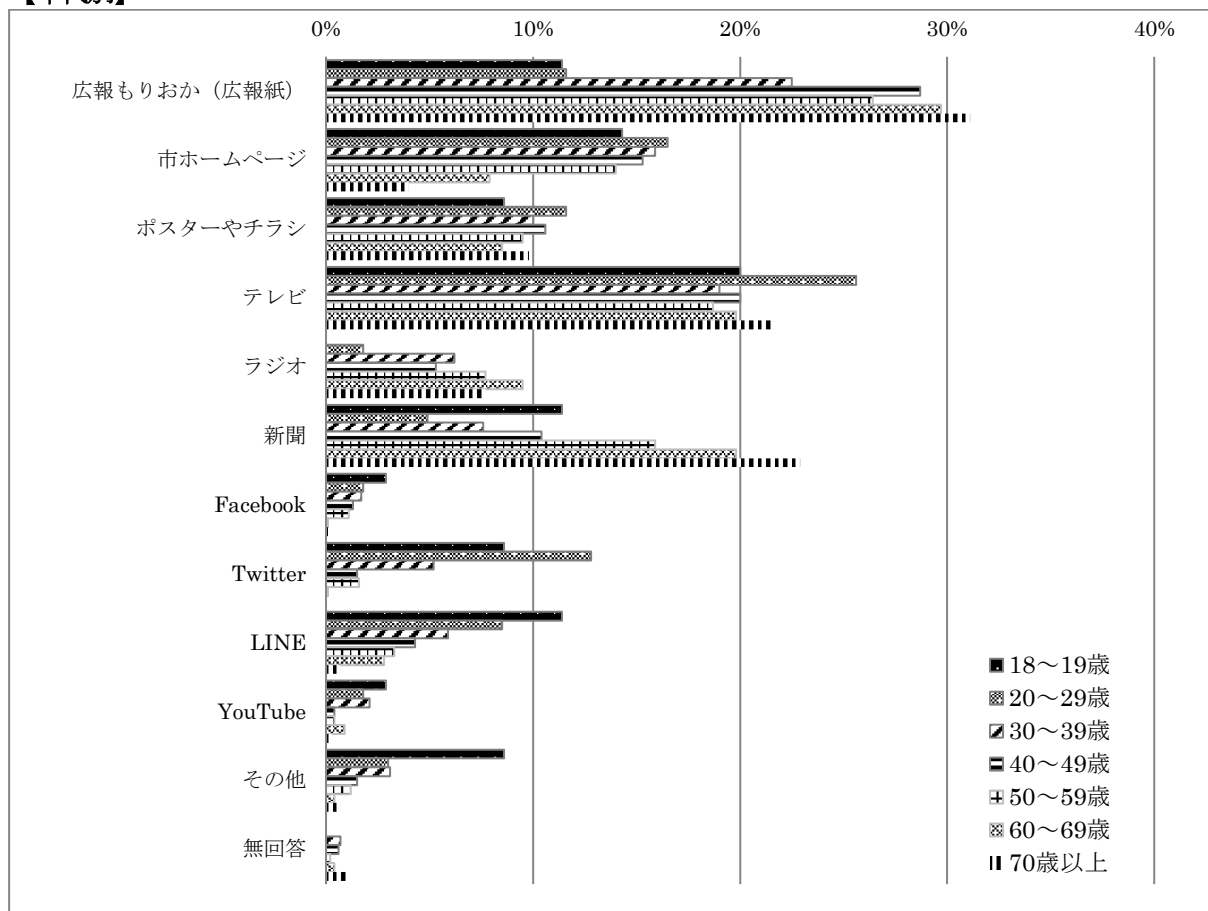
**②イベント情報（市のイベントや公民館などの講座）**



「市政情報」「市のイベント」とも、広報もりおかで情報を得る人が最も多く、「テレビ」「新聞」の順に続いている。また、「市のイベント」に関しては「ポスターやチラシ」も次いで高く、市の施設などへの掲示物等により情報を得ている人も多いと考えられる。

①市政情報（予算や計画など市の政策）

【年代別】

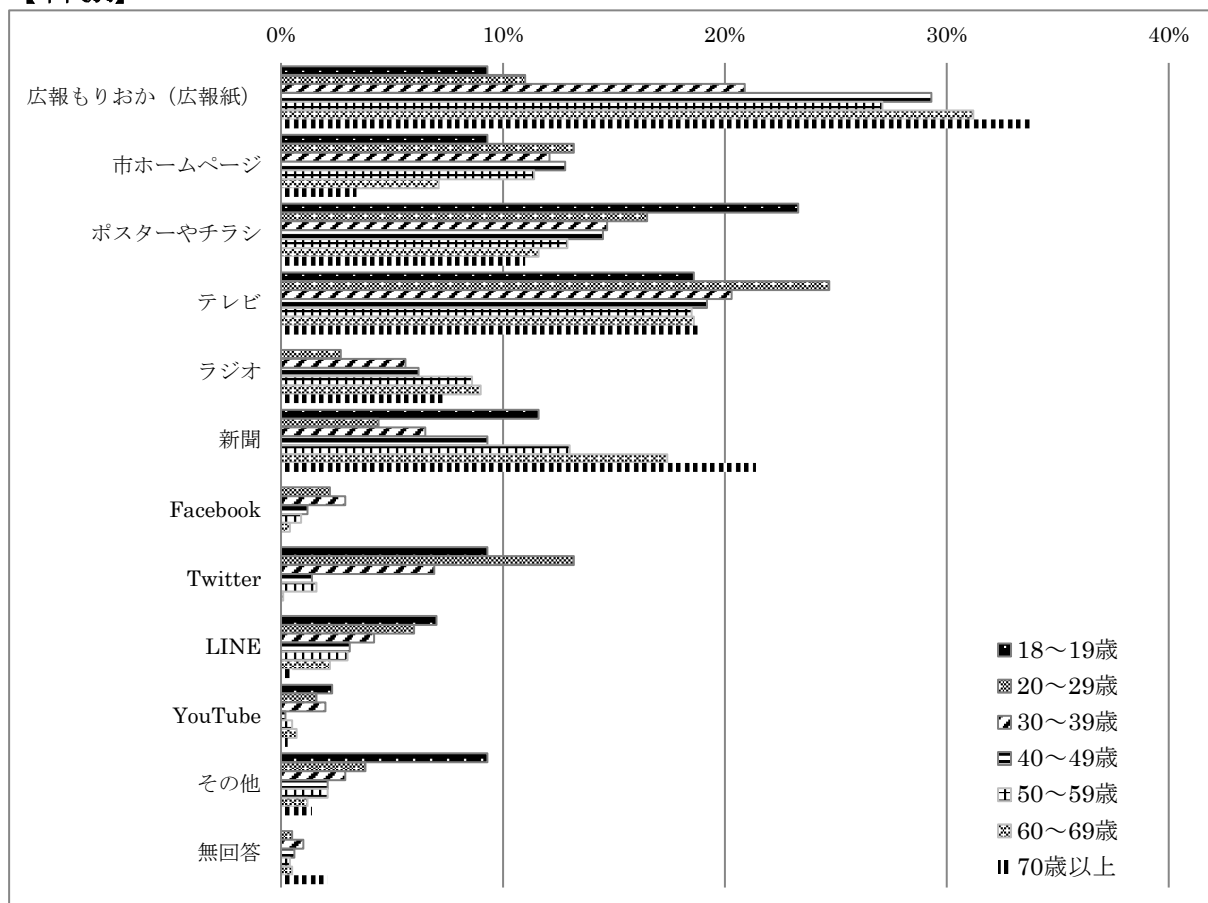


【性別、年代別、地区別の回答数】

		広報もりおか (広報紙)	市ホームページ	ポスターや チラシ	テレビ	ラジオ	新聞	Facebook	Twitter	LINE	YouTube	その他	無回答	
地区	全体	3348	929	332	324	684	243	568	23	56	102	24	42	21
	河北	1082	307	100	106	213	81	210	6	13	21	7	13	5
	河南	433	122	42	41	83	31	78	3	6	15	1	7	4
	盛南	489	123	49	46	112	37	74	5	7	20	5	8	3
	厨川	678	182	75	66	141	47	101	4	18	21	9	9	5
	都南	565	165	55	58	112	37	91	5	11	21	2	4	4
	玉山	101	30	11	7	23	10	14	0	1	4	0	1	0
性別	男	1530	394	177	149	297	121	262	13	25	46	14	20	12
	女	1818	535	155	175	387	122	306	10	31	56	10	22	9
年齢	18~19歳	35	4	5	3	7	0	4	1	3	4	1	3	0
	20~29歳	164	19	27	19	42	3	8	3	21	14	3	5	0
	30~39歳	289	65	46	29	55	18	22	5	15	17	6	9	2
	40~49歳	470	135	72	50	94	25	49	6	7	20	2	7	3
	50~59歳	571	151	80	54	107	44	91	6	9	19	2	7	1
	60~69歳	751	223	59	64	149	71	149	1	1	21	7	3	3
	70歳以上	1068	332	43	105	230	82	245	1	0	7	3	8	12

②イベント情報（市のイベントや公民館などの講座）

【年代別】



【性別、年代別、地区別の回答数】

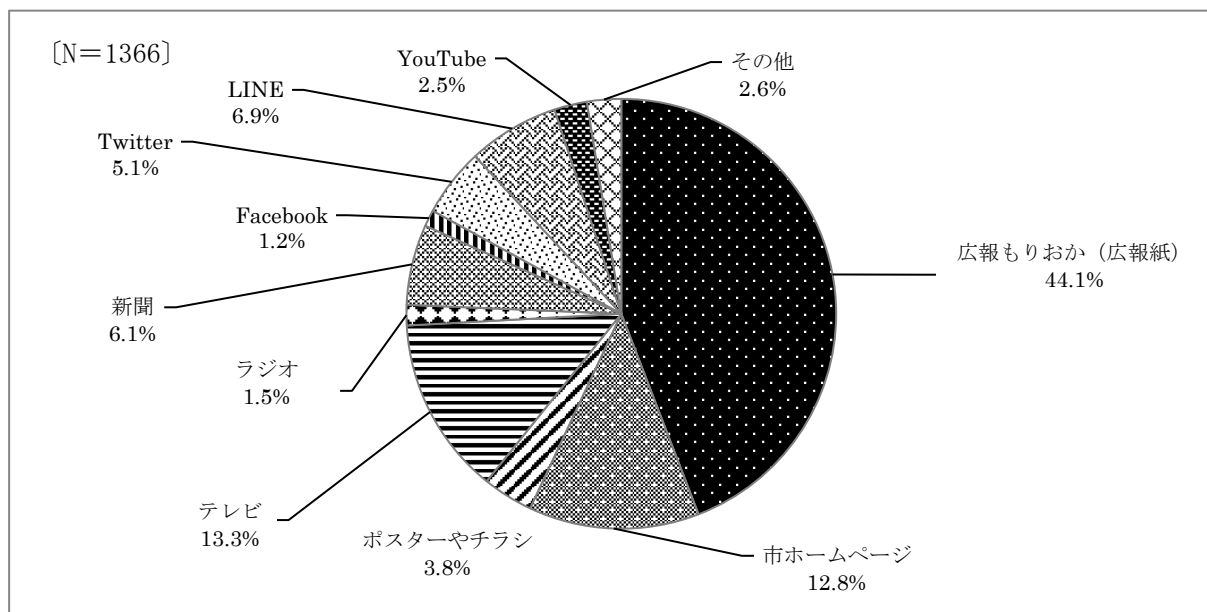
		広報もりおか (広報紙)	市ホームページ	チラシ ポスターや	テレビ	ラジオ	新聞	Facebook	Twitter	LINE	YouTube	その他	無回答	
地区	全体	3276	937	277	418	630	237	485	27	66	80	22	64	33
	河北	1034	289	86	137	185	74	183	7	17	20	9	16	11
	河南	448	131	42	58	82	34	62	3	8	13	2	9	4
	盛南	461	124	40	53	99	36	61	3	9	13	3	16	4
	厨川	666	194	54	79	134	46	90	6	18	20	6	13	6
	都南	563	168	47	76	109	35	77	7	11	13	2	10	8
玉山	104	31	8	15	21	12	12	1	3	1	0	0	0	
性別	男	1475	391	137	167	283	120	238	12	29	37	13	29	19
	女	1801	546	140	251	347	117	247	15	37	43	9	35	14
年齢	18~19歳	43	4	4	10	8	0	5	0	4	3	1	4	0
	20~29歳	182	20	24	30	45	5	8	4	24	11	3	7	1
	30~39歳	306	64	37	45	62	17	20	9	21	13	6	9	3
	40~49歳	484	142	62	70	93	30	45	6	7	15	1	10	3
	50~59歳	568	154	65	73	105	49	74	5	9	17	3	12	2
	60~69歳	735	229	52	85	137	66	128	3	1	16	5	9	4
	70歳以上	958	324	33	105	180	70	205	0	0	5	3	13	20

年代が高くなるほど、「広報紙」と「新聞」で情報を得ている割合が増えている。10代・20代は「テレビ」「Twitter」「LINE」で、30代・40代は「広報紙」と「テレビ」でそれぞれ情報を得ていることから、年代に合わせた広報媒体の選択が必要であることが考えられる。

**問5** あなたが、今後特に力を入れてほしい情報発信の方法は何ですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

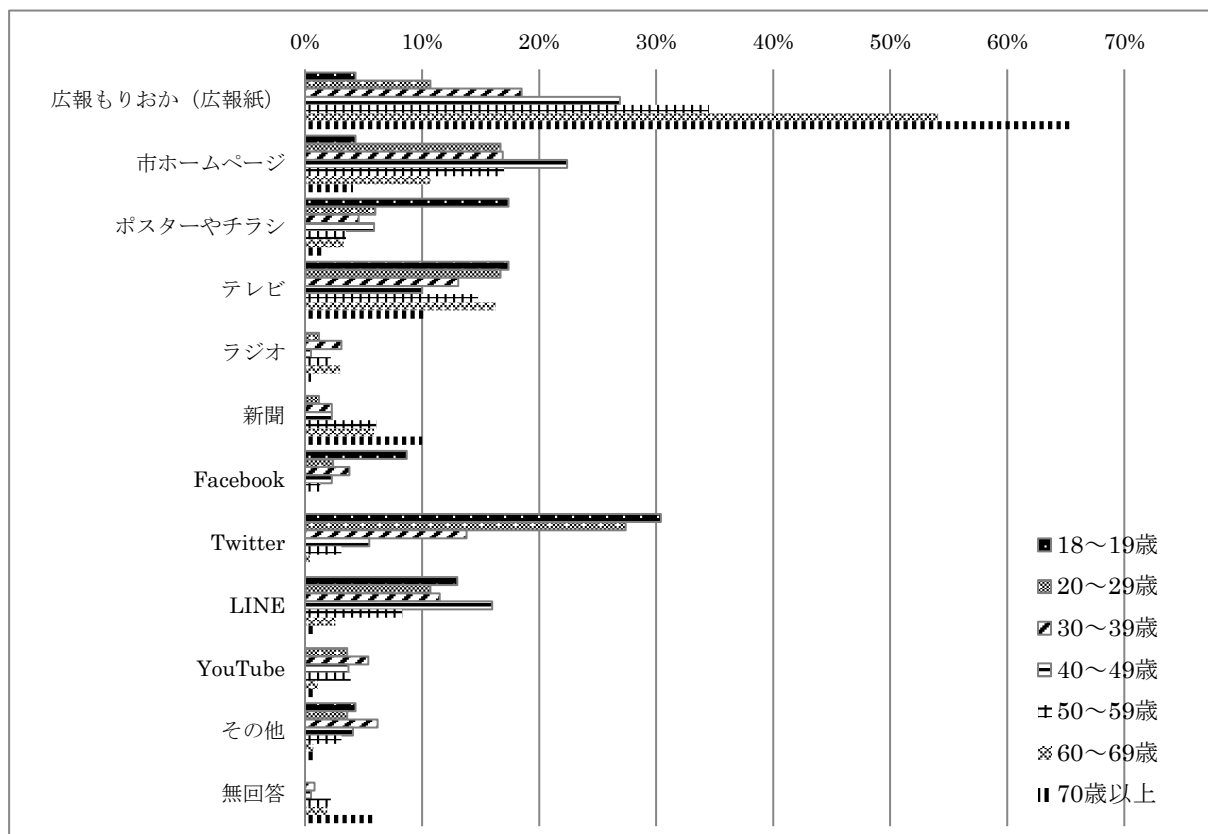
- |                |            |
|----------------|------------|
| 1 広報もりおか (広報紙) | 7 Facebook |
| 2 市ホームページ      | 8 Twitter  |
| 3 ポスターやチラシ     | 9 LINE     |
| 4 テレビ          | 10 YouTube |
| 5 ラジオ          | 11 その他 ( ) |
| 6 新聞           |            |

**【全体】**



「広報もりおか」と回答する人が44.1%と最も多いが、「テレビ」「ラジオ」「新聞」のマスメディアと回答した人も合計で20.9%と多かったことから、広く市民に情報を伝えるためには、報道機関向けの情報提供の充実が必要であると考えられる。次いで、「SNS」(15.7%)、「ホームページ」(12.8%)、の充実を求める回答が多く、特に「SNS」については前回調査時よりも割合が増加しており、今後力を入れて欲しい媒体として期待している人が多いことが分かった。「ラジオ」は1.5%となっており、今後効果を検討していく必要があると思われる。

## 【年代別】



年齢層が高くなるほど「広報もりおか」、若い世代ほど「SNS」の充実を求めており、対象に合わせた広報媒体の選択が必要であることが分かった。また、30代~40代は、ほぼ同一の割合で広報紙とホームページの充実を求めており、両者の併用が効果的であると考えられる。

## 【性別、年代別、地区別の回答数】

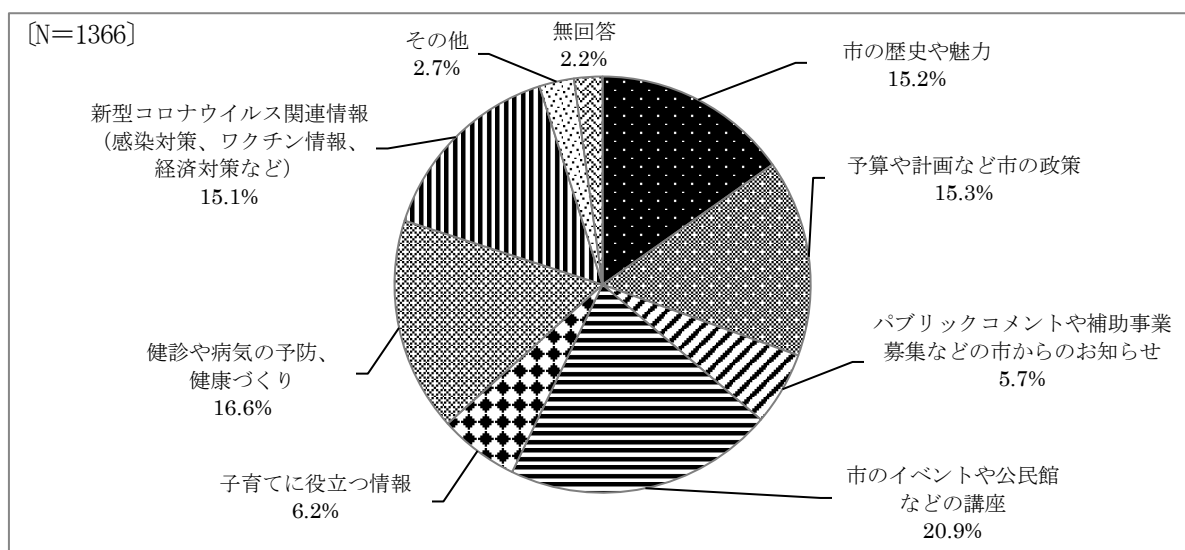
		広報もりおか (広報紙)	市ホームページ	ポスターや チラシ	テレビ	ラジオ	新聞	Facebook	Twitter	LINE	YouTube	その他	無回答	
全体	全体	1366	587	171	51	177	21	80	17	68	91	33	34	36
	地区													
地区	河北	428	203	48	13	57	3	25	4	17	27	11	11	9
	河南	181	78	31	7	19	3	11	1	3	16	3	5	4
	盛南	194	75	22	8	30	3	10	4	10	14	6	4	8
	厨川	280	112	37	16	25	2	17	5	24	20	7	7	8
	都南	237	99	27	7	41	6	16	3	10	11	6	4	7
	玉山	46	20	6	0	5	4	1	0	4	3	0	3	0
性別	男	626	246	83	25	85	17	36	10	31	41	25	11	16
	女	740	341	88	26	92	4	44	7	37	50	8	23	20
年齢	18~19歳	23	1	1	4	4	0	0	2	7	3	0	1	0
	20~29歳	84	9	14	5	14	1	1	2	23	9	3	3	0
	30~39歳	130	24	22	6	17	4	3	5	18	15	7	8	1
	40~49歳	219	59	49	13	22	1	5	5	12	35	8	9	1
	50~59歳	229	79	39	8	34	5	14	3	7	19	9	7	5
	60~69歳	270	146	29	9	44	8	16	0	1	7	3	2	5
	70歳以上	411	269	17	6	42	2	41	0	0	3	3	4	24



**問6** あなたが、今後情報発信に特に力を入れてほしい話題は何ですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

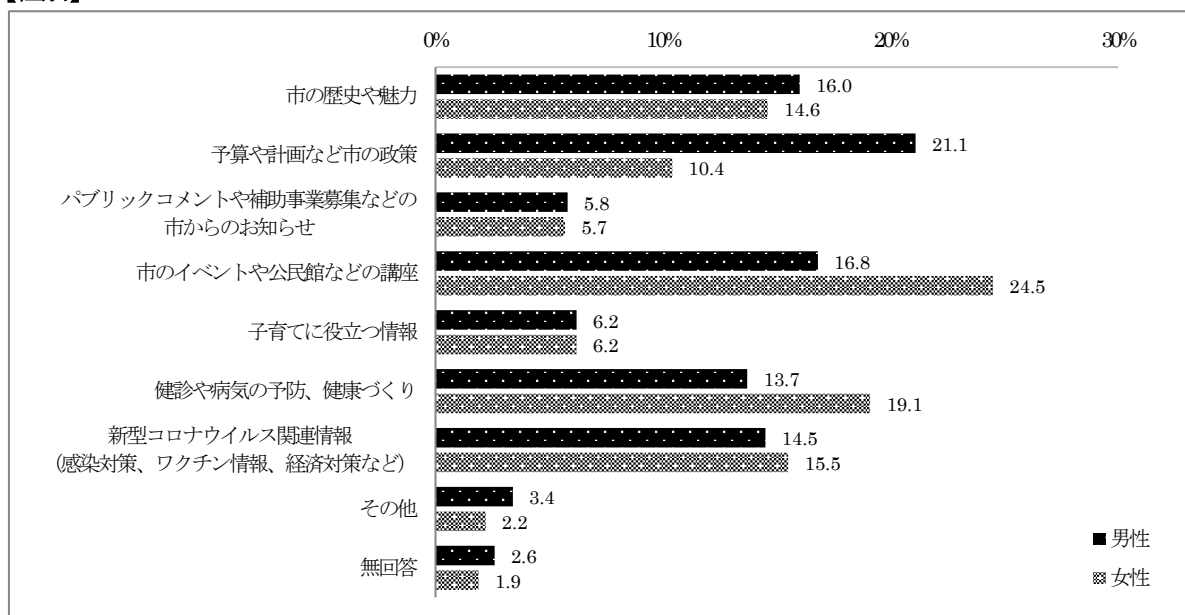
- 1 市の歴史や魅力
- 2 予算や計画など市の政策
- 3 パブリックコメントや補助事業募集などの市からのお知らせ
- 4 市のイベントや公民館などの講座
- 5 子育てに役立つ情報
- 6 健診や病気の予防、健康づくり
- 7 新型コロナウイルス関連情報（感染対策、ワクチン情報、経済対策など）
- 8 その他（ ）

**【全体】**



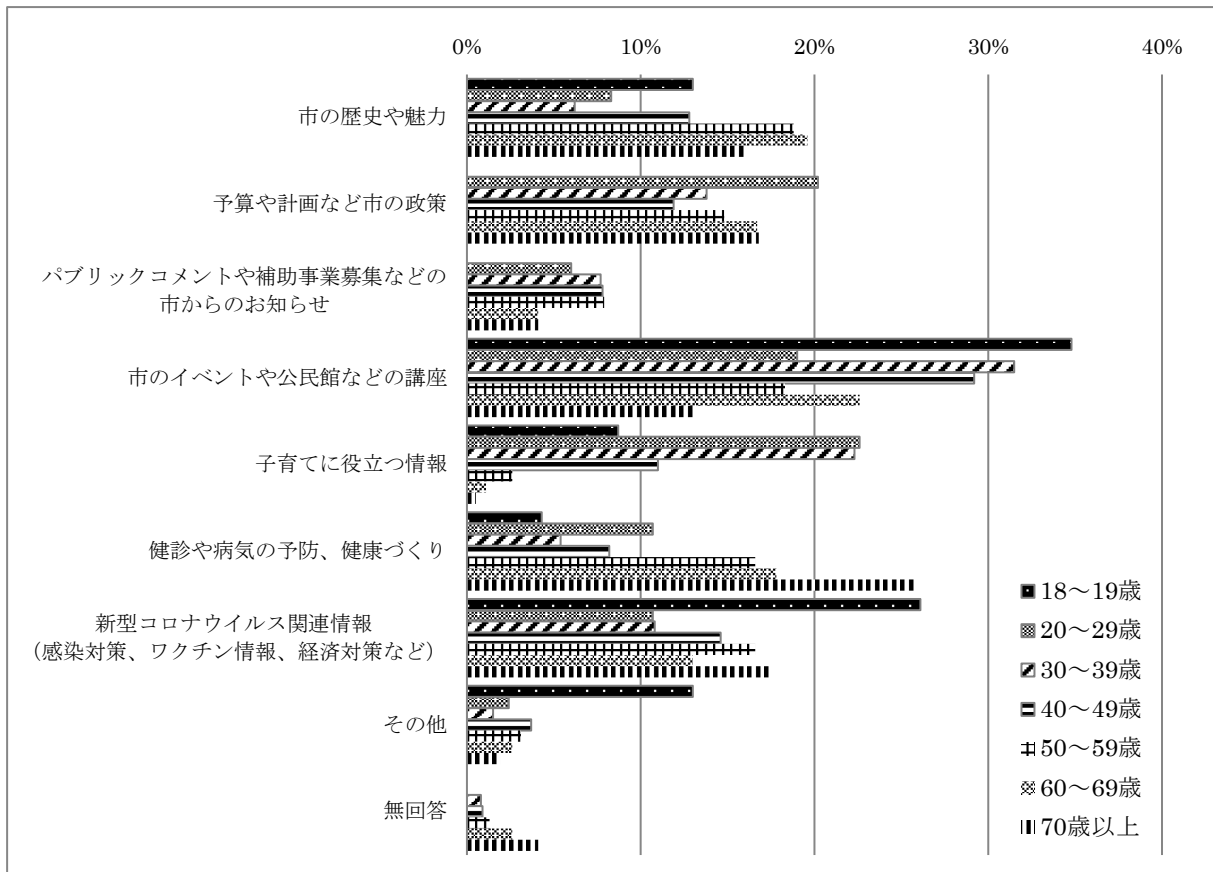
「イベント情報」が20.9%、「子育て情報」と「パブコメ」を除くその他の項目も15%前後となっており、いずれの情報もまんべんなく求められているものと考えられる。「子育て情報」が6.2%と、他と比べて少ないが、これは対象者が限られているためと考えられる。

**【性別】**



「市の政策」については、男性は女性の2倍以上の回答があり、「イベント・講座」「健康づくり」については、女性の方が突出して回答が多かったことから、性別により興味・関心の傾向が大きく分かっていることが分かった。

【年代別】



「子育て情報」は20代～30代の関心が高い。「健康関連の情報」は年代が高くなるにつれ、関心が高くなる傾向がある。「イベント情報」は、70歳以上を除くと、全ての年代で上位に入っている。

【性別、年代別、地区別の回答数】

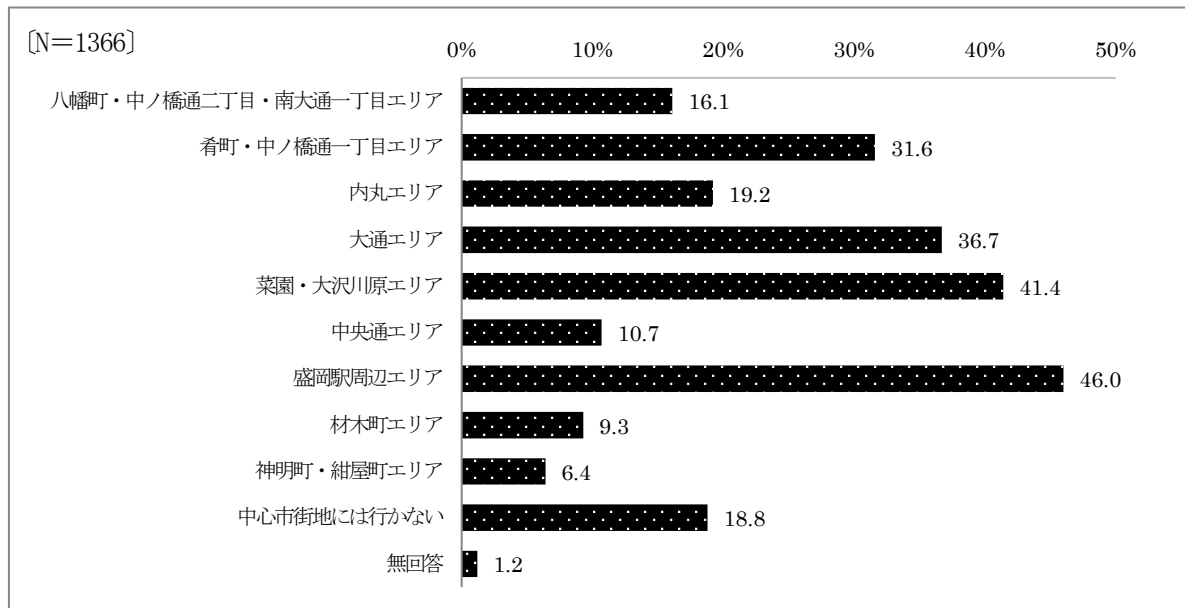
			市の歴史や魅力	予算や計画など市の政策	パブリックコメントや補助事業募集などの市からのお知らせ	市のイベントや公民館などの講座	子育てに役立つ情報	健診や病気の予防、健康づくり	新型コロナウイルス関連情報 (感染対策、ワクチン情報、経済対策など)	その他	無回答
	全体	1366	208	209	78	286	85	227	206	37	30
地区	河北	428	74	78	16	85	16	77	61	13	8
	河南	181	26	25	11	42	13	27	27	4	6
	盛南	194	30	28	16	38	15	33	25	4	5
	厨川	280	45	31	16	65	15	40	53	8	7
	都南	237	25	43	15	45	26	42	33	4	4
	玉山	46	8	4	4	11	0	8	7	4	0
性別	男	626	100	132	36	105	39	86	91	21	16
	女	740	108	77	42	181	46	141	115	16	14
年齢	18～19歳	23	3	0	0	8	2	1	6	3	0
	20～29歳	84	7	17	5	16	19	9	9	2	0
	30～39歳	130	8	18	10	41	29	7	14	2	1
	40～49歳	219	28	26	17	64	24	18	32	8	2
	50～59歳	229	43	34	18	42	6	38	38	7	3
	60～69歳	270	53	45	11	61	3	48	35	7	7
	70歳以上	411	66	69	17	54	2	106	72	8	17

《テーマ2 中心市街地活性化について》

**問7** あなたが中心市街地へお出かけする際、よく訪れるエリアはどこですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

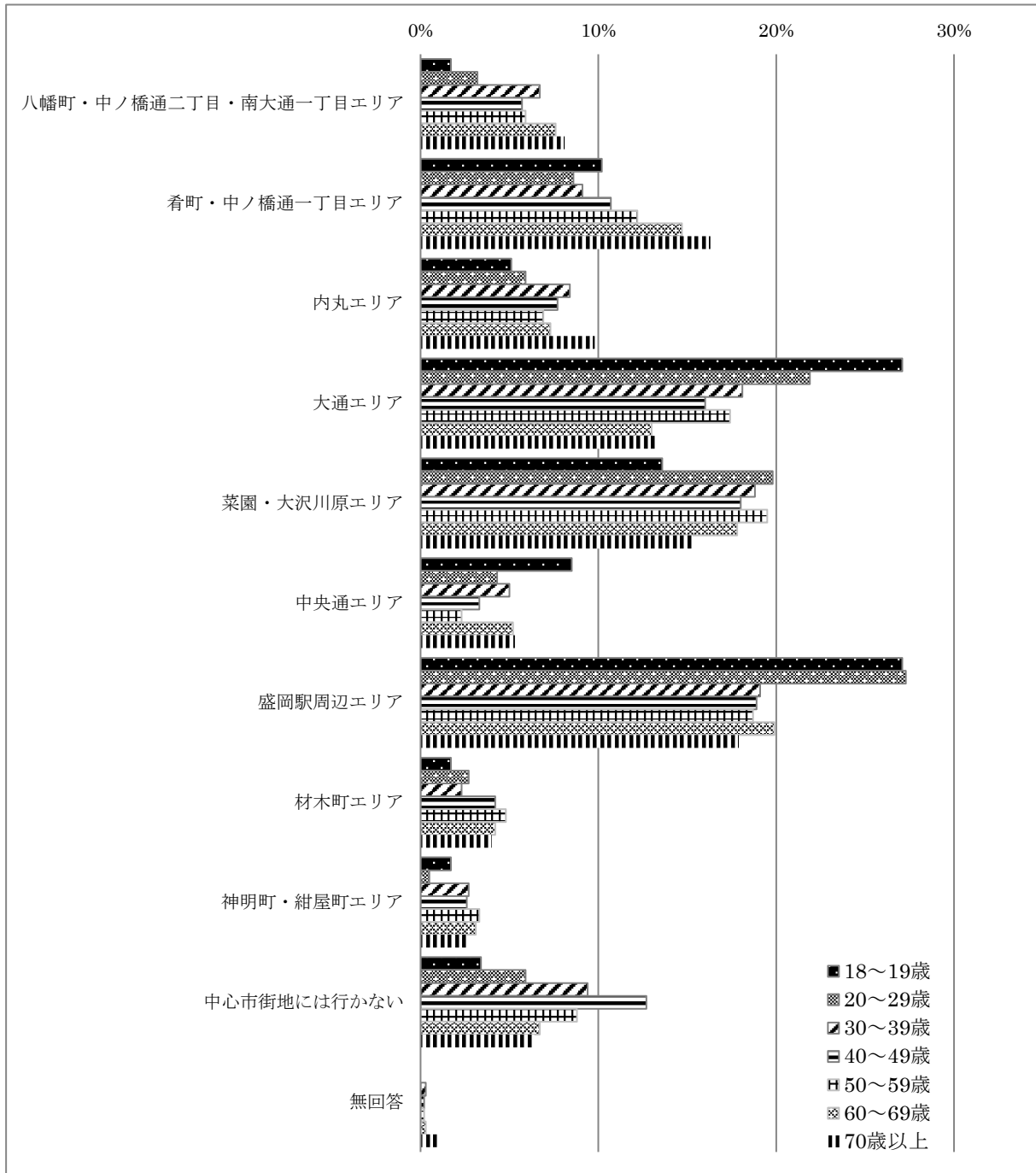
- |                         |                |
|-------------------------|----------------|
| 1 八幡町・中ノ橋通二丁目・南大通一丁目エリア | 6 中央通エリア       |
| 2 肴町・中ノ橋通一丁目エリア         | 7 盛岡駅周辺エリア     |
| 3 内丸エリア                 | 8 材木町エリア       |
| 4 大通エリア                 | 9 神明町・紺屋町エリア   |
| 5 菜園・大沢川原エリア            | 10 中心市街地には行かない |

**【全体】**



「盛岡駅周辺エリア」が46.0%で一番多く、次に「菜園・大沢川原エリア」が41.4%、「大通エリア」が36.7%と続いた。盛岡駅西口地区や盛岡南地区等、他地区への移動にあたり、盛岡駅が拠点としての役割が強まっていることが要因の一つとして考えられる。内丸エリア19.2%、肴町・中ノ橋通一丁目エリア31.6%や八幡町・中ノ橋通二丁目・南大通一丁目エリア16.1%となっており、各エリアにおいて、一定程度の来訪があることから、盛岡城跡公園の利活用や、令和4年10月の盛岡バスセンターの開業や複合商業施設monakaの整備等を良いきっかけとし、各エリアの商店街の魅力向上を図る取組が効果的であると考えられる。

【年代別】



10代、20代の「大通エリア」、「盛岡駅周辺エリア」を選択した割合が高く、特に10代では両エリアともに27%を超えている。両エリアには映画館やカラオケボックス等の娯楽施設が立地していることが年代別の傾向に影響を与えたものと考えられる。また、70歳以上の「肴町・中ノ橋通一丁目エリア」を選択している割合が多いのは肴町のアーケードが天候を気にせず歩くことができるほか、休憩できるベンチを配置し、高齢者が利用しやすい環境になっていることが関係していると考えられる。

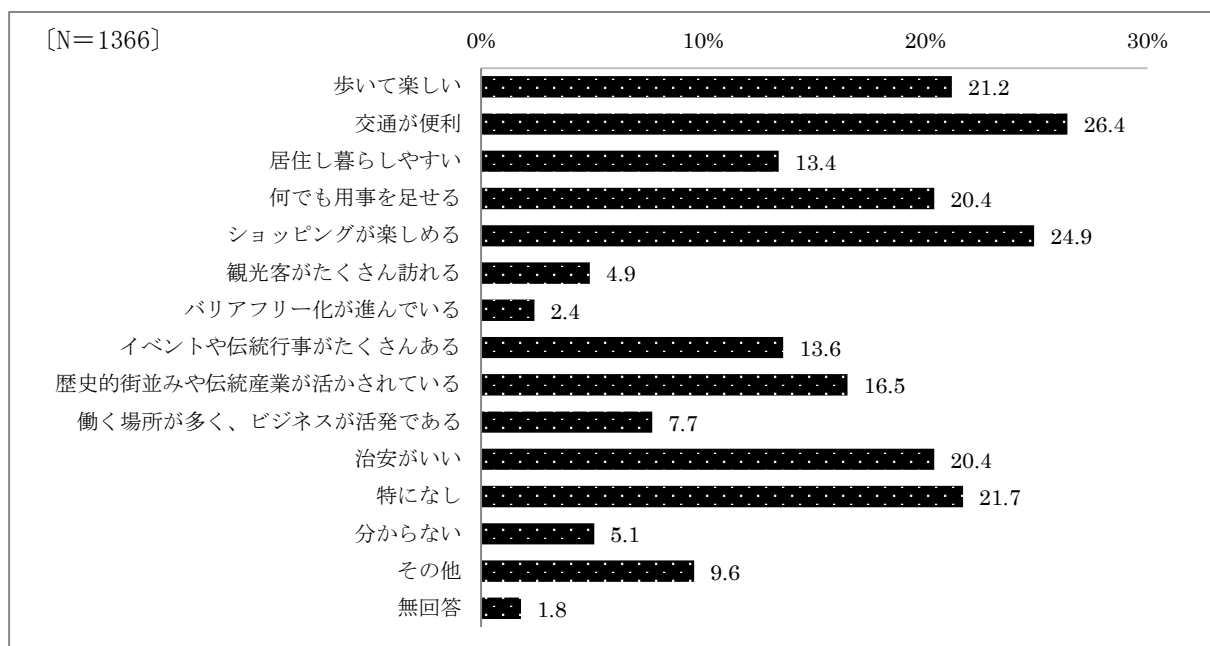
【性別、年代別、地区別の回答数】

			八幡町・中ノ橋通二丁目・南大通二丁目エリア	肴町・中ノ橋通二丁目エリア	内丸エリア	大通エリア	菜園・大沢川原エリア	中央通エリア	盛岡駅周辺エリア	材木町エリア	神明町・紺屋町エリア	中心市街地には行かない	無回答
	全体	3242	220	431	262	502	565	146	629	127	87	257	16
地区	河北	1097	52	132	114	198	178	62	215	60	24	56	6
	河南	513	70	116	39	66	84	16	58	8	34	20	2
	盛南	382	27	52	23	52	76	10	79	7	7	46	3
	厨川	646	28	52	52	102	107	35	155	38	9	65	3
	都南	520	40	71	31	72	107	18	100	12	12	55	2
	玉山	84	3	8	3	12	13	5	22	2	1	15	0
性別	男	1453	112	166	126	270	223	79	271	57	34	105	10
	女	1789	108	265	136	232	342	67	358	70	53	152	6
年齢	18～19歳	59	1	6	3	16	8	5	16	1	1	2	0
	20～29歳	187	6	16	11	41	37	8	51	5	1	11	0
	30～39歳	298	20	27	25	54	56	15	57	7	8	28	1
	40～49歳	456	26	49	35	73	82	15	86	19	12	58	1
	50～59歳	523	31	64	36	91	102	12	98	25	17	46	1
	60～69歳	668	51	98	49	87	119	35	133	28	21	45	2
	70歳以上	1051	85	171	103	140	161	56	188	42	27	67	11

**問8** あなたは現在の中心市街地にどのようなイメージをお持ちですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

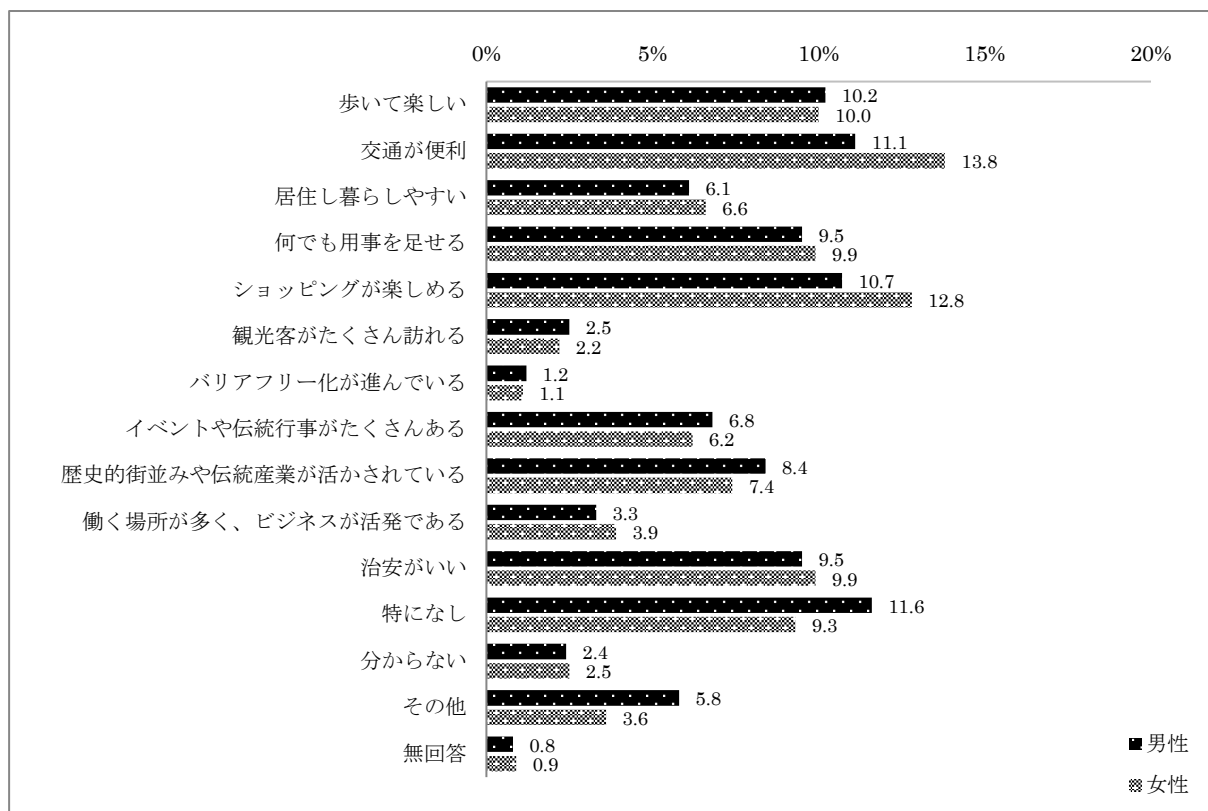
- |                    |                       |
|--------------------|-----------------------|
| 1 歩いて楽しい           | 9 歴史的街並みや伝統産業が活かされている |
| 2 交通が便利            | 10 働く場所が多く、ビジネスが活発である |
| 3 居住し暮らしやすい        | 11 治安がいい              |
| 4 何でも用事を足せる        | 12 特になし               |
| 5 ショッピングが楽しめる      | 13 分からない              |
| 6 観光客がたくさん訪れる      | 14 その他 (            ) |
| 7 バリアフリー化が進んでいる    |                       |
| 8 イベントや伝統行事がたくさんある |                       |

**【全体】**



「交通が便利」が26.4%で一番多く、次に「ショッピングが楽しめる」が24.9%、「歩いて楽しい」が21.2%、「何でも用事を足せる」・「治安がいい」がそれぞれ20.4%であった。一方で、「特になし」が21.7%、「分からない」が5.1%の回答があり、中心市街地になじみがない人にも、訪れたいような取組を進めていく必要がある。

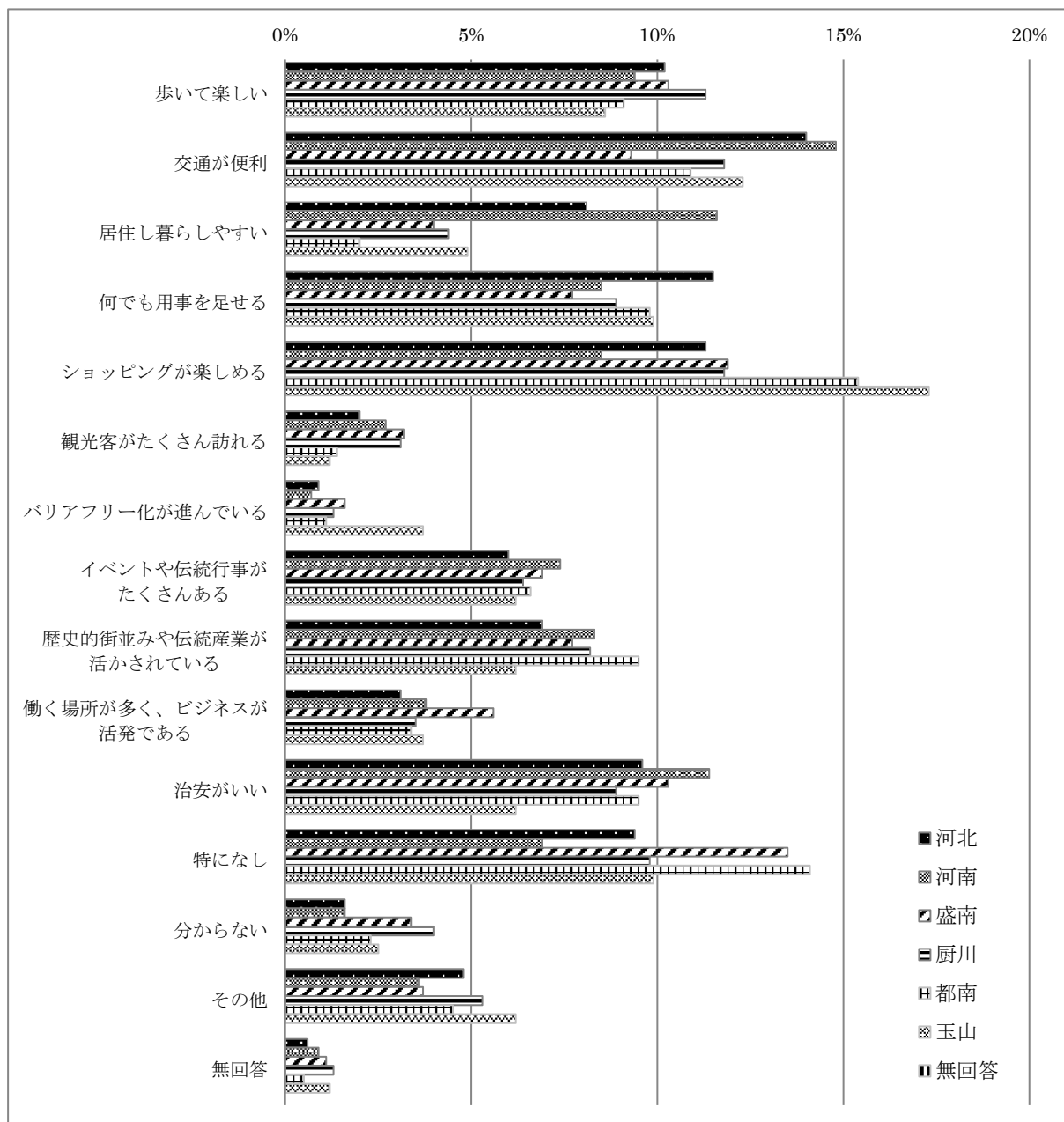
【性別】



女性において、「交通が便利」、「ショッピングが楽しめる」と回答する人の割合が高く、また、男性において、「特になし」と回答する人の割合が高い。



【地区別】



他の地区と比較し、「ショッピングが楽しめる」と回答した割合が、都南地区在住者が15.4%及び玉山地区在住者が17.3%と高くなっており、中心市街地から離れた地区ほど、中心市街地のショッピングの充実度に魅力を感じている傾向がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			歩いて楽しい	交通が便利	居住し暮らしやすい	何でも用事を足せる	ショッピングが楽しめる	観光客がたくさん訪れる	バリアフリー化が進んでいる	イベントや伝統行事がたくさんある	歴史的街並みや伝統産業が活かされている	働く場所が多く、ビジネスが発達である	治安がいい	特になし	分らない	その他	無回答
	全体	2868	289	360	183	279	340	67	33	186	225	105	279	297	70	131	24
地区	河北	972	99	136	79	112	110	19	9	58	67	30	93	91	16	47	6
	河南	447	42	66	52	38	38	12	3	33	37	17	51	31	7	16	4
	盛南	378	39	35	15	29	45	12	6	26	29	21	39	51	13	14	4
	厨川	549	62	65	24	49	65	17	7	35	45	19	49	54	22	29	7
	都南	441	40	48	9	43	68	6	5	29	42	15	42	62	10	20	2
	玉山	81	7	10	4	8	14	1	3	5	5	3	5	8	2	5	1
性別	男	1292	132	143	79	123	138	32	16	88	109	43	123	150	31	75	10
	女	1576	157	217	104	156	202	35	17	98	116	62	156	147	39	56	14
年齢	18～19歳	45	7	7	3	4	8	0	0	2	2	1	3	4	2	2	0
	20～29歳	165	24	23	7	15	26	2	1	15	11	9	13	14	1	4	0
	30～39歳	259	39	24	17	23	33	5	0	28	22	9	14	21	5	16	3
	40～49歳	376	32	37	20	24	39	16	1	27	31	19	34	54	4	36	2
	50～59歳	459	41	55	30	37	46	14	5	28	34	17	49	56	12	31	4
	60～69歳	599	59	73	46	62	60	16	9	32	53	32	64	59	14	15	5
	70歳以上	965	87	141	60	114	128	14	17	54	72	18	102	89	32	27	10

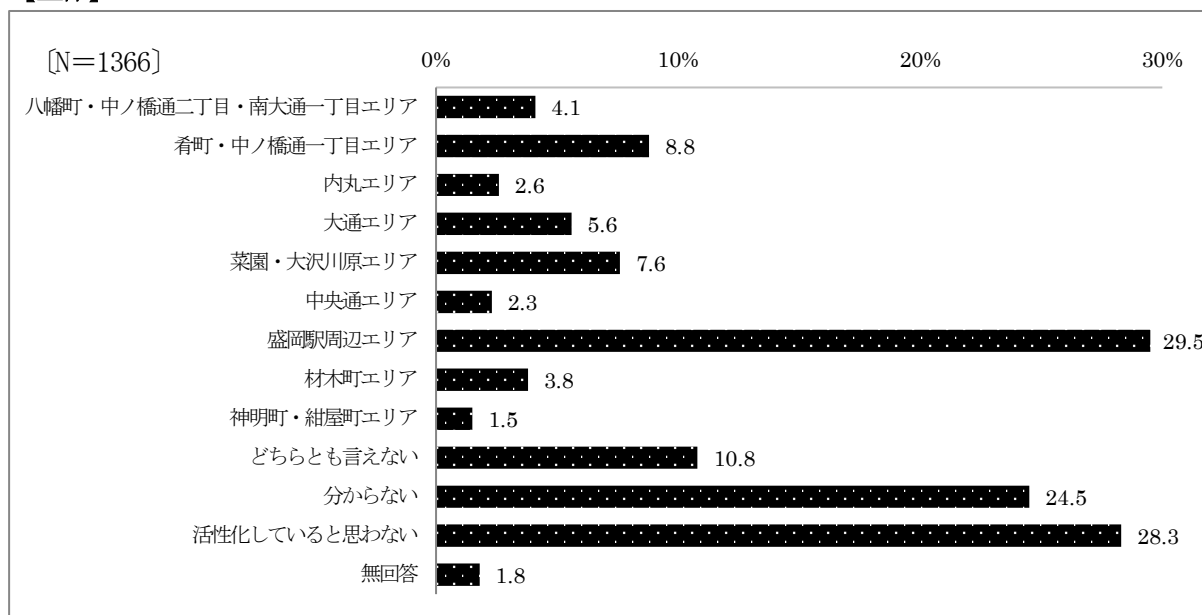
「その他」の記載において、バリアフリー化が進んでいると回答した人は、性別、年代問わず低い傾向がある。また、「飲食店が豊富で便利」の意見の一方、「店が飲食店に偏り過ぎている」という記述もみられた。新型コロナウイルス感染症の収束を見据え、人が集まり活性化していると市民がイメージを持つまちづくりが求められる。

全体を通してみると、買い物をする場所としてのイメージが高い傾向がある。インターネットショッピングが定着する中で、差別化を図っていくことが求められている。また、高齢化が進むことで車での移動が困難になるケースが増えることを考えると、交通の利便性の確保は今後も必要な取組になることが考えられる。

**問9** あなたが、盛岡市の中心市街地で、5年前（平成29年）と比べて活性化していると思うエリア全てに○を付けてください。

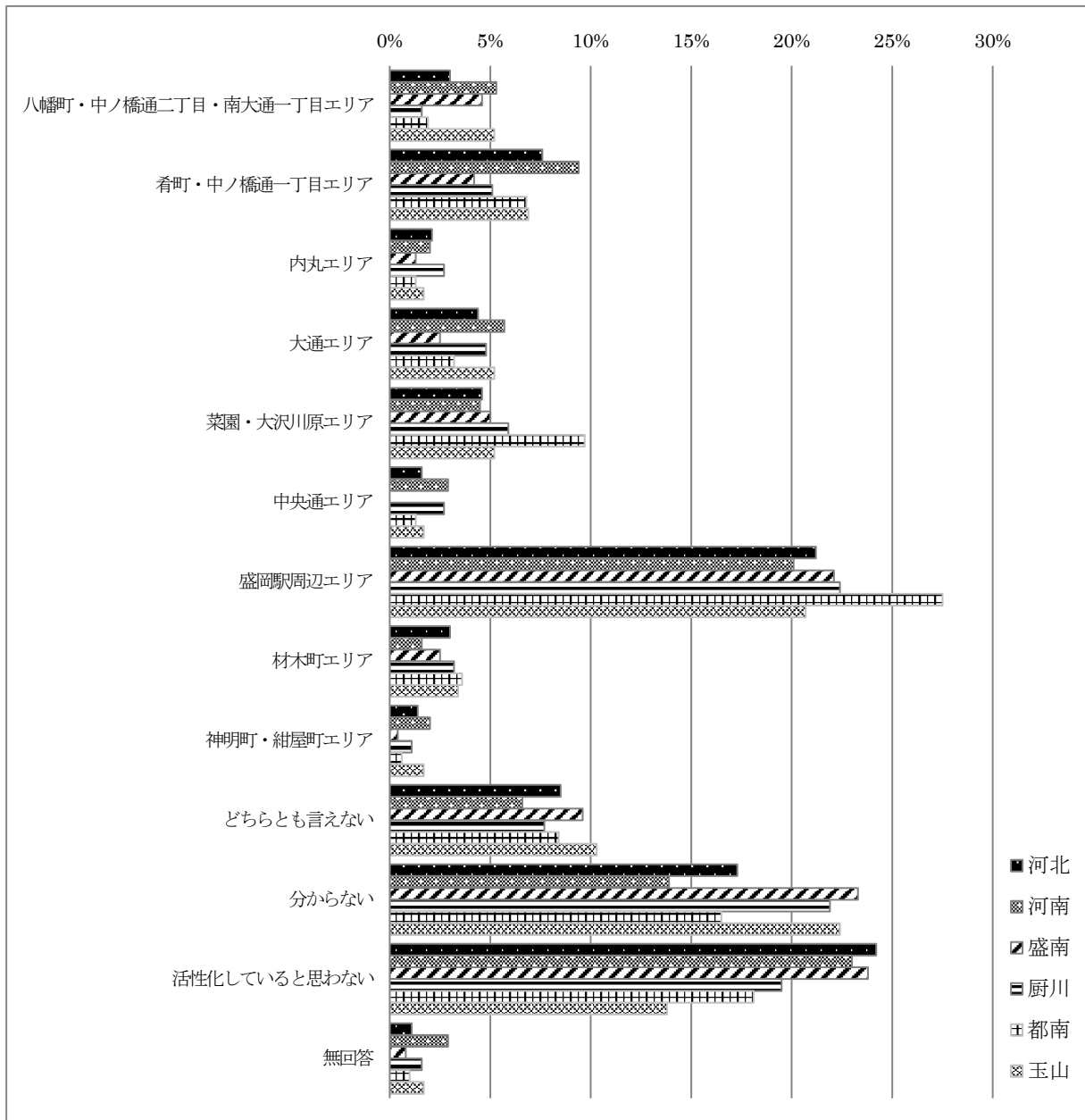
- |                         |                 |
|-------------------------|-----------------|
| 1 八幡町・中ノ橋通二丁目・南大通一丁目エリア | 7 盛岡駅周辺エリア      |
| 2 肴町・中ノ橋通一丁目エリア         | 8 材木町エリア        |
| 3 内丸エリア                 | 9 神明町・紺屋町エリア    |
| 4 大通エリア                 | 10 どちらとも言えない    |
| 5 菜園・大沢川原エリア            | 11 分からない        |
| 6 中央通エリア                | 12 活性化していると思わない |

**【全体】**



「盛岡駅周辺エリア」が29.5%で一番多く、盛岡駅周辺以外のエリアは10%未満にとどまっている。コロナ禍においても、各商店街での新たな取組や、盛岡バスセンターの開業など、プラス要因があることから、多くの市民にその取組を周知する機会を確保していく必要があるものとする。

【地区別】



5年前と比較して活性化しているものとして、いずれかのエリアを選択した割合が、都南地区在住者が最も多く55.9%であった。一方で、最も少ないのが盛南地区在住者で42.6%であった。盛南地区は、盛南開発などにより大型店舗の出店が多いことから、中心市街地の活性化への関心度合いが相対的に低くなる傾向があるものと考えられる。

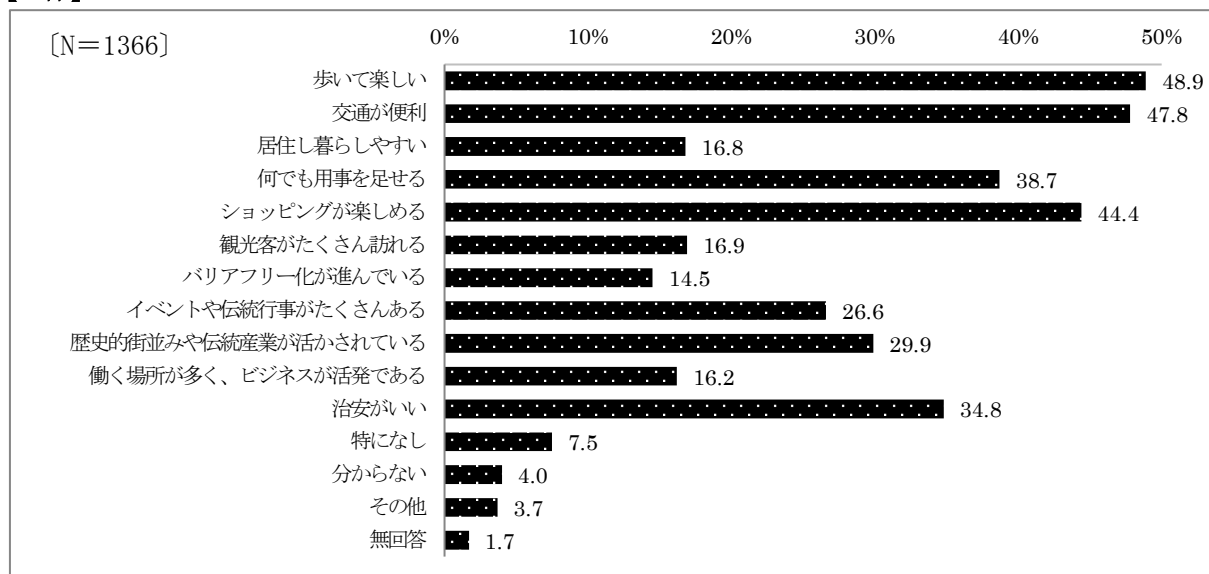
【性別、年代別、地区別の回答数】

			八幡町・中ノ橋通二丁目・南大通二丁目エリア	肴町・中ノ橋通一丁目エリア	内丸エリア	大通エリア	菜園・大沢川原エリア	中央通エリア	盛岡駅周辺エリア	材木町エリア	神明町・紺屋町エリア	どちらとも言えない	分からない	活性化していると思わない	無回答
	全体	1792	56	120	35	76	104	31	403	52	21	148	334	387	25
地区	河北	566	17	43	12	25	26	9	120	17	8	48	98	137	6
	河南	244	13	23	5	14	11	7	49	4	5	16	34	56	7
	盛南	240	11	10	3	6	12	0	53	6	1	23	56	57	2
	厨川	375	6	19	10	18	22	10	84	12	4	29	82	73	6
	都南	309	6	21	4	10	30	4	85	11	2	26	51	56	3
	玉山	58	3	4	1	3	3	1	12	2	1	6	13	8	1
性別	男	848	34	59	18	43	56	17	191	21	7	66	132	192	12
	女	944	22	61	17	33	48	14	212	31	14	82	202	195	13
年齢	18～19歳	25	1	0	0	1	0	0	4	0	0	0	14	5	0
	20～29歳	108	3	10	3	8	8	2	19	1	3	3	35	13	0
	30～39歳	164	2	5	5	6	10	3	40	5	6	7	35	38	2
	40～49歳	257	4	11	1	6	11	1	60	8	3	21	50	77	4
	50～59歳	263	7	17	1	5	8	4	60	6	4	30	50	69	2
	60～69歳	369	15	15	7	13	25	6	85	14	2	37	52	93	5
	70歳以上	606	24	62	18	37	42	15	135	18	3	50	98	92	12

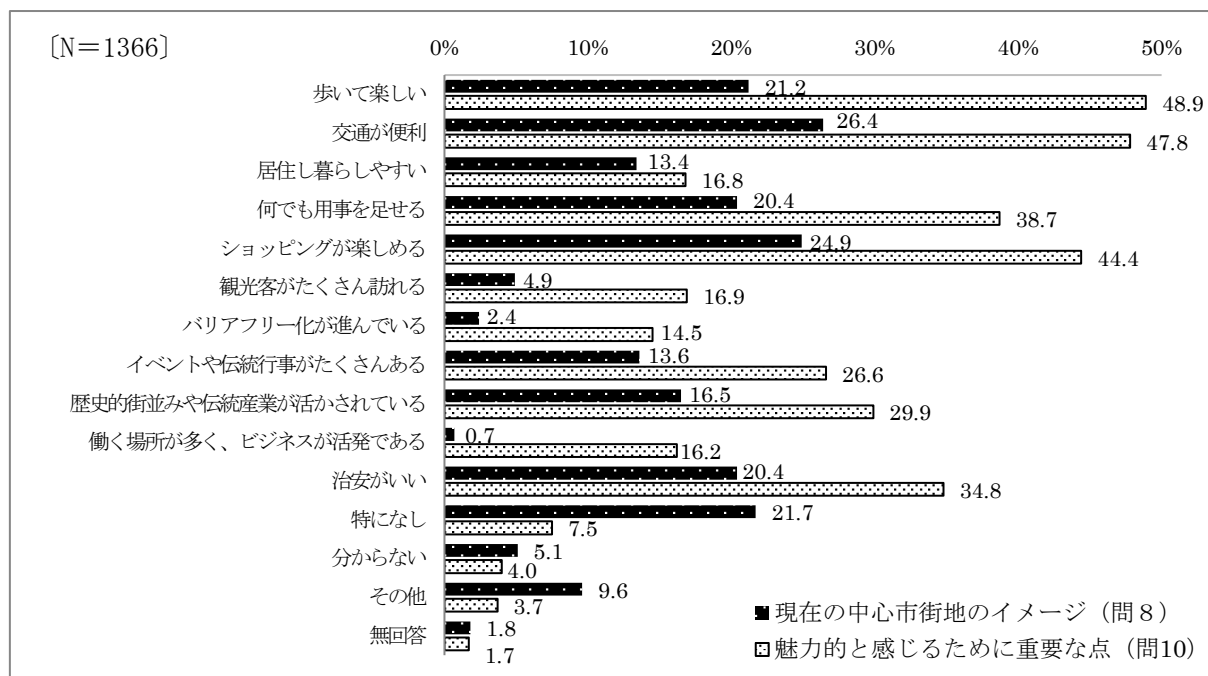
**問 10** あなたは中心市街地が魅力的と感じるにはどのような点を重要だと考えますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |                 |                       |
|-----------------|-----------------------|
| 1 歩いて楽しい        | 8 イベントや伝統行事がたくさんある    |
| 2 交通が便利         | 9 歴史的街並みや伝統産業が活かされている |
| 3 居住し暮らしやすい     | 10 働く場所が多く、ビジネスが活発である |
| 4 何でも用事を足せる     | 11 治安がいい              |
| 5 ショッピングが楽しめる   | 12 特になし               |
| 6 観光客がたくさん訪れる   | 13 分からない              |
| 7 バリアフリー化が進んでいる | 14 その他 ( )            |

**【全体】**

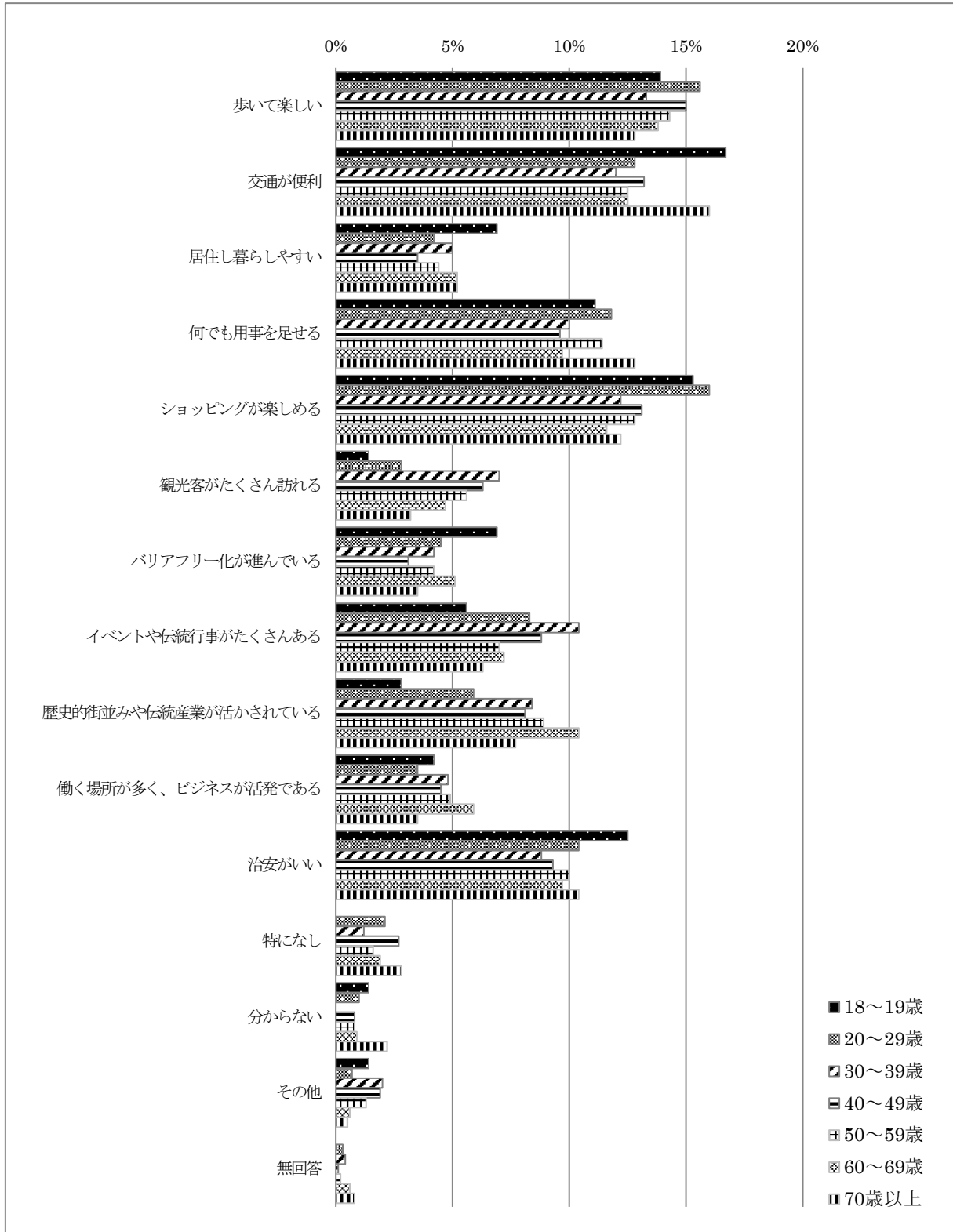


**【参考資料】** 問 10 のグラフに、問 8 (中心市街地に持つイメージ) のグラフを追加したもの



「歩いて楽しい」が48.9%と最も多く、「交通が便利」が47.8%、「ショッピングが楽しめる」が44.4%と続いた。前回(平成29年度)の市民意識調査においても「歩いて楽しい」、「交通が便利」が上位を占め、それぞれ45.3%、33.9%であった。いずれの項目も、問8の中心市街地に持つイメージの上位であることから、強みを伸ばしつつ、何でも用事を足せる、治安がいい、というニーズに応える取組が必要になるものとする。

【年代別】



10代及び70歳以上で、「交通が便利」がそれぞれ16.7%、16.0%であり、他の年代よりも高くなっている。自身の車を所有していないことが多い10代の若者及び免許を持っていない高齢者や免許を返納した高齢者でも中心市街地を訪れ、利用しやすい環境の整備が求められていると考える。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			歩いて楽しい	交通が便利	居住し暮らしやすい	何でも用事を足せる	ショッピングが楽しめる	観光客がたくさん訪れる	バリアフリー化が進んでいる	イベントや伝統行事がたくさんある	歴史的街並みや伝統産業が活かされている	働く場所が多く、ビジネスが活発である	治安がいい	特になし	分からない	その他	無回答
	全体	4812	668	653	229	528	606	231	198	363	408	221	475	103	55	51	23
地区	河北	1563	217	223	92	183	186	65	57	112	133	71	163	29	10	13	9
	河南	738	99	93	53	84	80	30	33	51	72	42	76	10	7	5	3
	盛南	632	86	83	16	60	89	39	23	53	55	25	56	21	11	12	3
	厨川	954	142	135	37	104	125	44	48	68	77	35	94	17	15	9	4
	都南	782	102	96	26	83	108	44	30	71	63	40	74	24	8	10	3
	玉山	143	22	23	5	14	18	9	7	8	8	8	12	2	4	2	1
性別	男	2043	282	266	97	214	241	114	71	156	174	94	203	61	32	29	9
	女	2769	386	387	132	314	365	117	127	207	234	127	272	42	23	22	14
年齢	18～19歳	72	10	12	5	8	11	1	5	4	2	3	9	0	1	1	0
	20～29歳	288	45	37	12	34	46	8	13	24	17	10	30	6	3	2	1
	30～39歳	498	66	60	25	50	61	35	21	52	42	24	44	6	0	10	2
	40～49歳	741	111	98	26	71	97	47	23	65	60	33	69	20	6	14	1
	50～59歳	858	123	107	38	98	110	48	36	60	76	42	86	14	7	11	2
	60～69歳	1077	149	135	56	104	125	51	55	78	112	64	104	21	10	6	7
	70歳以上	1278	164	204	67	163	156	41	45	80	99	45	133	36	28	7	10

自由記載において、駐車場が多く便利、安いという意見が一定数ある一方、無料化や充実を求めるものも多く、公共交通の充実や自転車利用と併せて、車でのアクセスを含めて交通の利便性について考えていく必要がある。

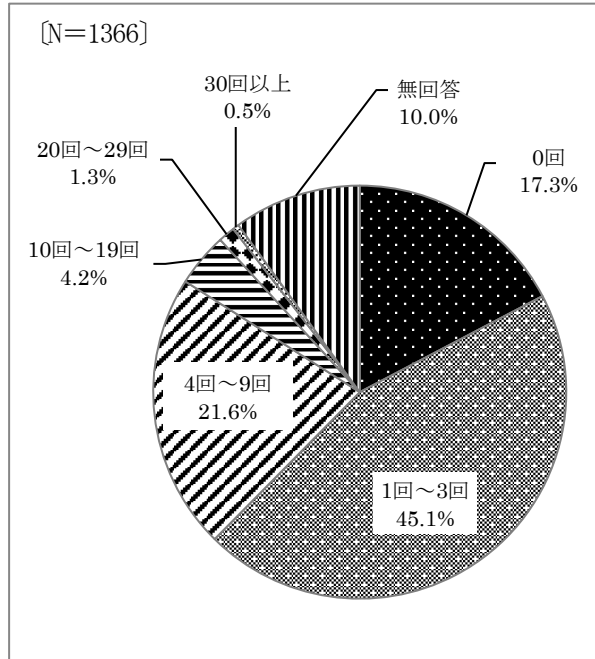


**問11** あなたが、1か月間に飲食・買い物・娯楽（映画館、カラオケボックスやゲームセンター、スポーツ施設等）にお出かけする回数はおよそ何回ですか。数字を記入してください。

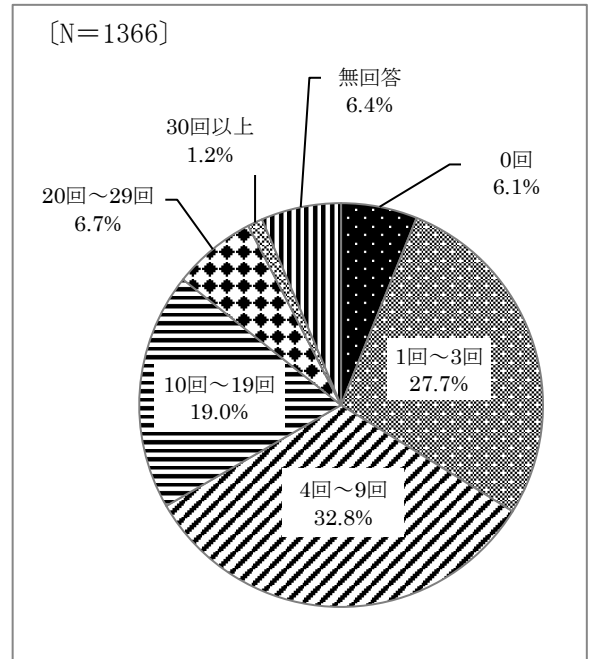
飲食（ ）回      買い物（ ）回      娯楽（ ）回

**【全体】**

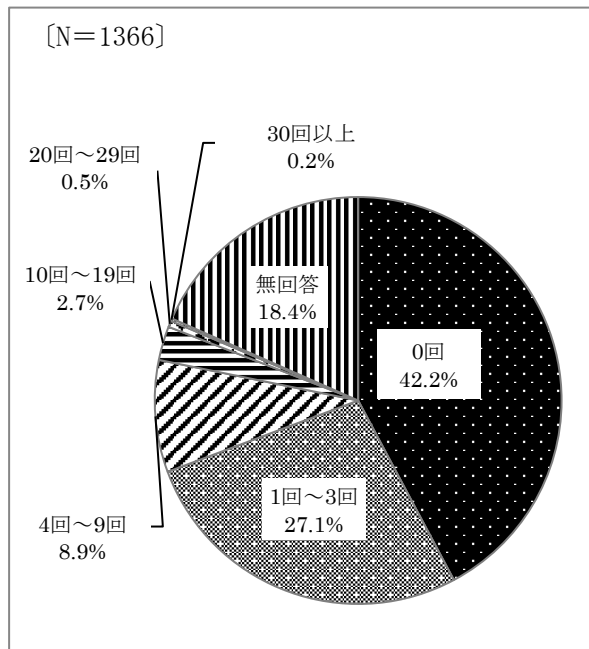
飲食



買い物



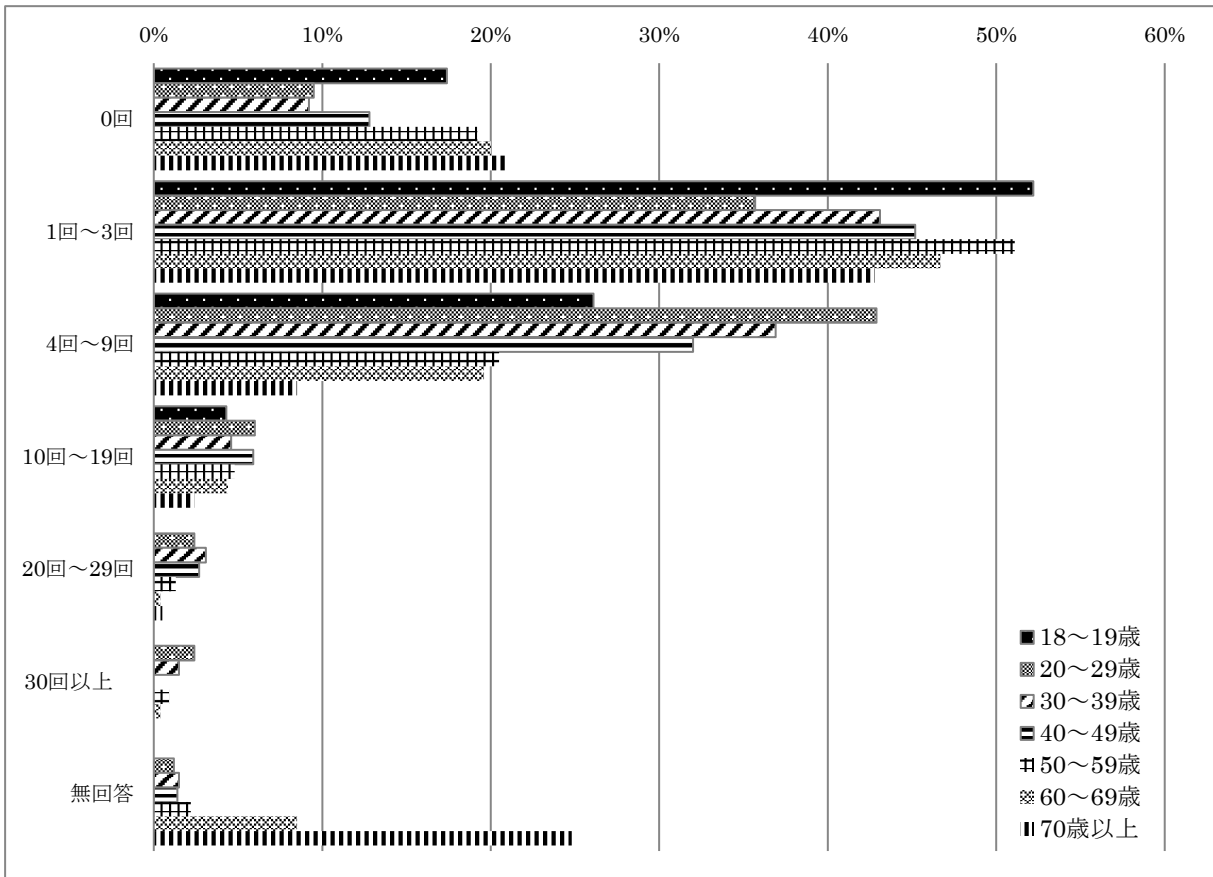
娯楽



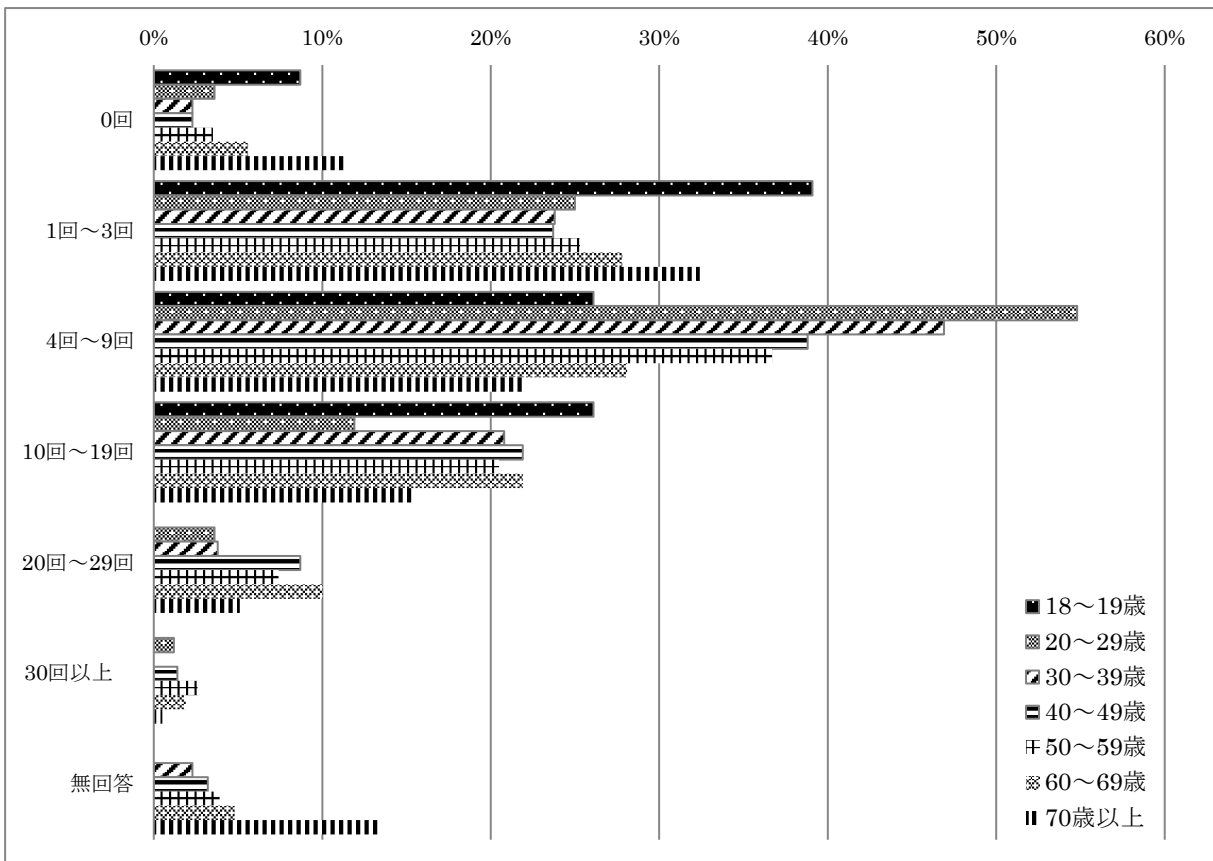
平均で週に1～2回程度お出かけしていると考えられる割合（「4～9回」と回答した割合）が、飲食は21.6%、買い物は32.8%、娯楽は8.9%となった。一方で、問12の結果から、お出かけはするものの行き先として中心市街地を選ばない人が一定数いると考えられる。普段中心市街地に行かない人に足を運んでもらえるよう、中心市街地の魅力向上に係る取組の検討が必要となる。

【年代別】

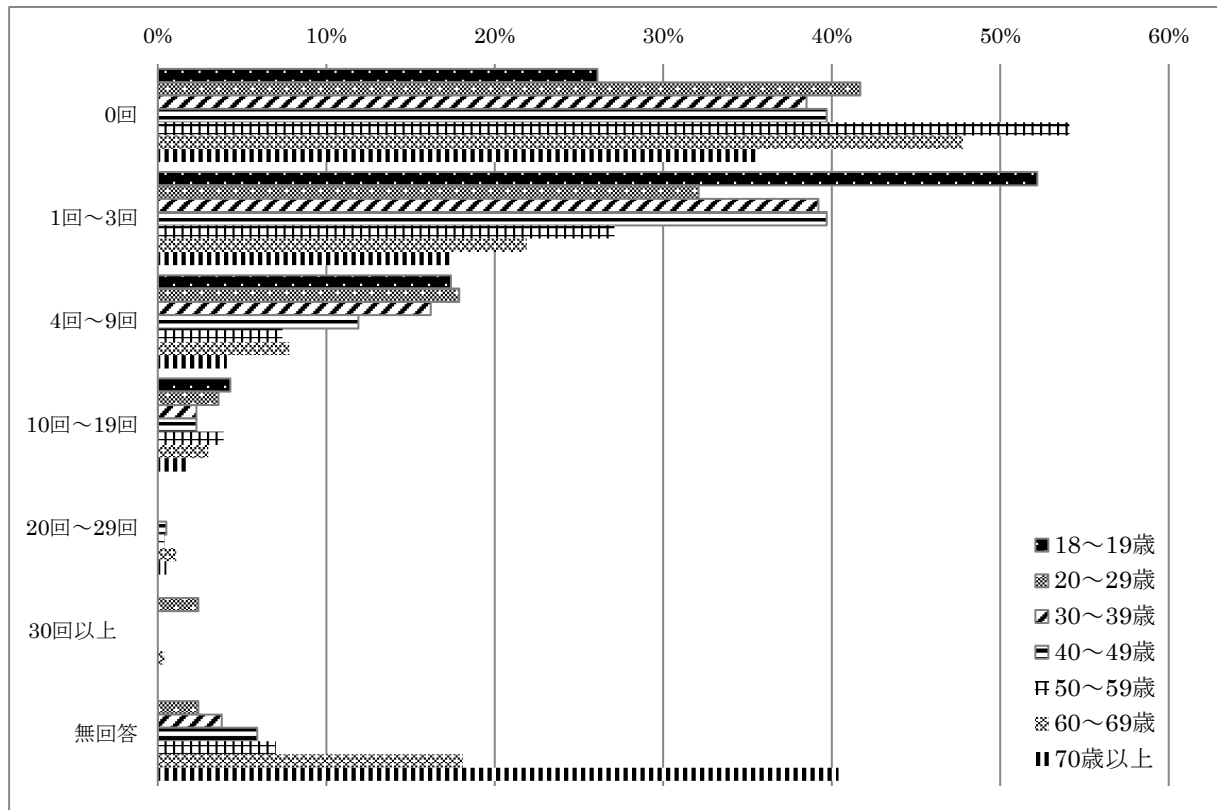
飲食



買い物



娯楽



4回以上の回答の割合の合計が、20代では飲食 53.7%、買い物 71.5%、娯楽 23.9%であり、全年代でそれぞれ最も高くなっている。

【性別、年代別、地区別の回答数】

飲食

		0回	1回~3回	4回~9回	10回~19回	20回~29回	30回以上	無回答	
地区	全体	1366	236	616	295	58	18	7	136
	河北	428	70	193	84	23	8	2	48
	河南	181	34	73	47	6	7	1	13
	盛南	194	21	88	50	15	2	2	16
	厨川	280	58	112	65	7	1	2	35
	都南	237	45	129	43	4	0	0	16
	玉山	46	8	21	6	3	0	0	8
性別	男	626	105	274	151	28	11	4	53
	女	740	131	342	144	30	7	3	83
年齢	18~19歳	23	4	12	6	1	0	0	0
	20~29歳	84	8	30	36	5	2	2	1
	30~39歳	130	12	56	48	6	4	2	2
	40~49歳	219	28	99	70	13	6	0	3
	50~59歳	229	44	117	47	11	3	2	5
	60~69歳	270	54	126	53	12	1	1	23
	70歳以上	411	86	176	35	10	2	0	102

買い物

			0回	1回～ 3回	4回～ 9回	10回～ 19回	20回～ 29回	30回 以上	無回答
	全体	1366	83	379	448	260	92	17	87
地区	河北	428	24	128	131	83	30	3	29
	河南	181	8	38	62	47	13	4	9
	盛南	194	11	50	64	43	15	3	8
	厨川	280	23	73	93	45	19	3	24
	都南	237	17	72	81	36	15	3	13
	玉山	46	0	18	17	6	0	1	4
性別	男	626	50	189	210	103	29	7	38
	女	740	33	190	238	157	63	10	49
年齢	18～19歳	23	2	9	6	6	0	0	0
	20～29歳	84	3	21	46	10	3	1	0
	30～39歳	130	3	31	61	27	5	0	3
	40～49歳	219	5	52	85	48	19	3	7
	50～59歳	229	8	58	84	47	17	6	9
	60～69歳	270	15	75	76	59	27	5	13
	70歳以上	411	47	133	90	63	21	2	55

娯楽

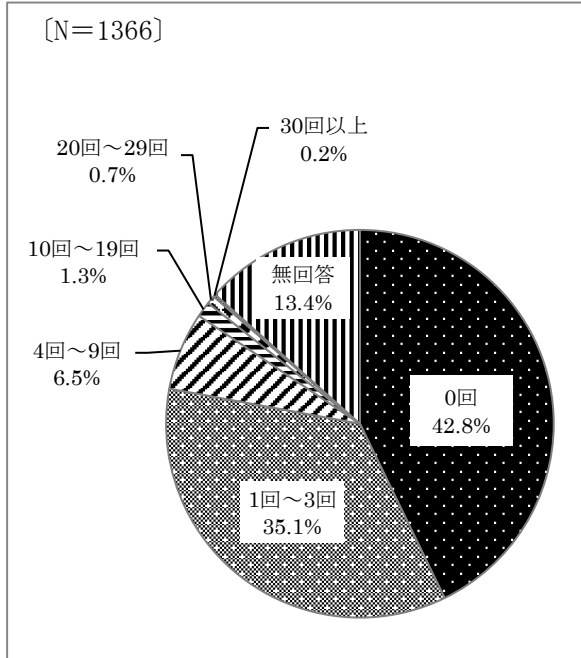
			0回	1回～ 3回	4回～ 9回	10回～ 19回	20回～ 29回	30回 以上	無回答
	全体	1366	577	370	121	37	7	3	251
地区	河北	428	176	120	39	11	3	0	79
	河南	181	81	41	21	10	1	1	26
	盛南	194	85	54	12	5	0	1	37
	厨川	280	115	75	24	5	3	1	57
	都南	237	105	69	18	6	0	0	39
	玉山	46	15	11	7	0	0	0	13
性別	男	626	253	190	67	10	1	1	104
	女	740	324	180	54	27	6	2	147
年齢	18～19歳	23	6	12	4	1	0	0	0
	20～29歳	84	35	27	15	3	0	2	2
	30～39歳	130	50	51	21	3	0	0	5
	40～49歳	219	87	87	26	5	1	0	13
	50～59歳	229	124	62	17	9	1	0	16
	60～69歳	270	129	59	21	8	3	1	49
	70歳以上	411	146	72	17	8	2	0	166

**問12** 問11の回数のうち、中心市街地にお出かけする回数は何回ですか。数字を記入してください。

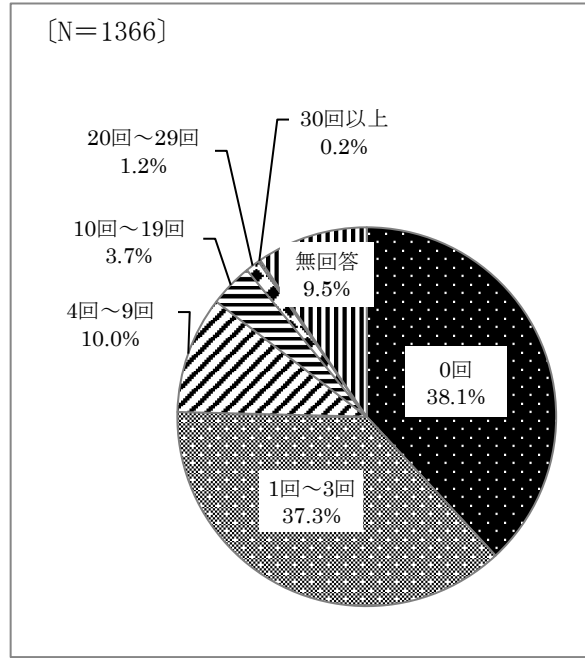
飲食 ( ) 回      買い物 ( ) 回      娯楽 ( ) 回

**【全体】**

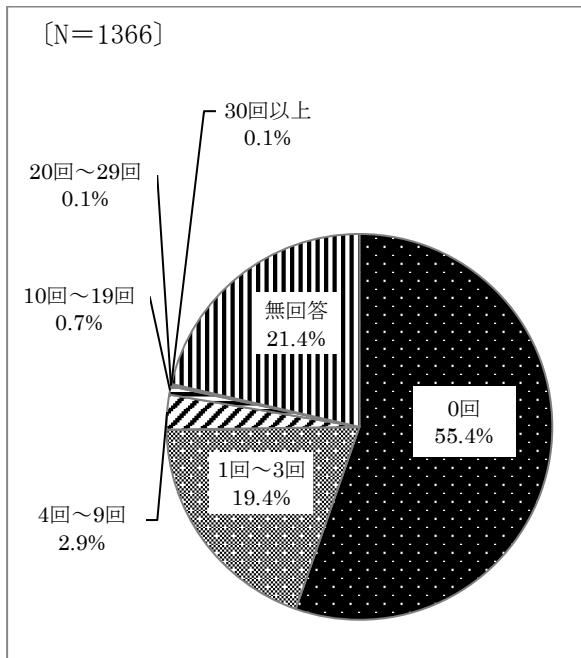
飲食



買い物



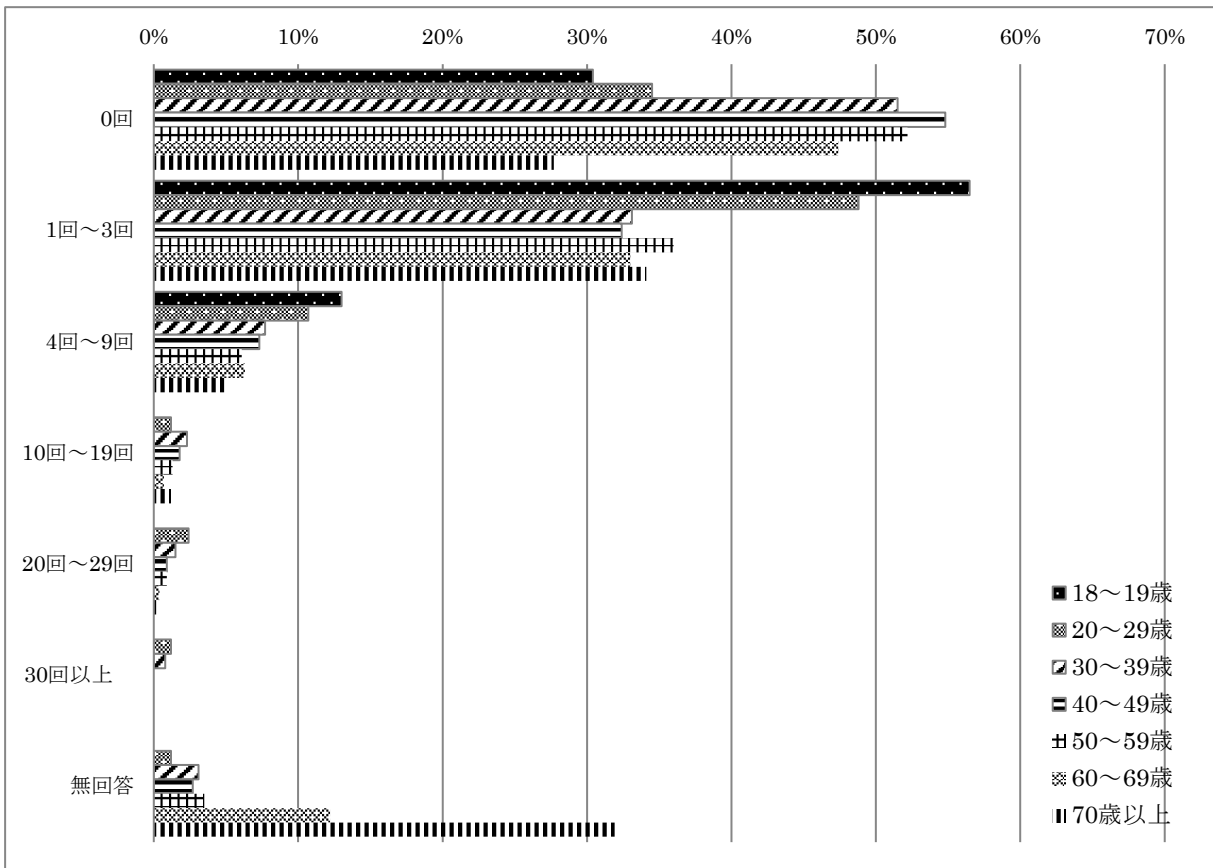
娯楽



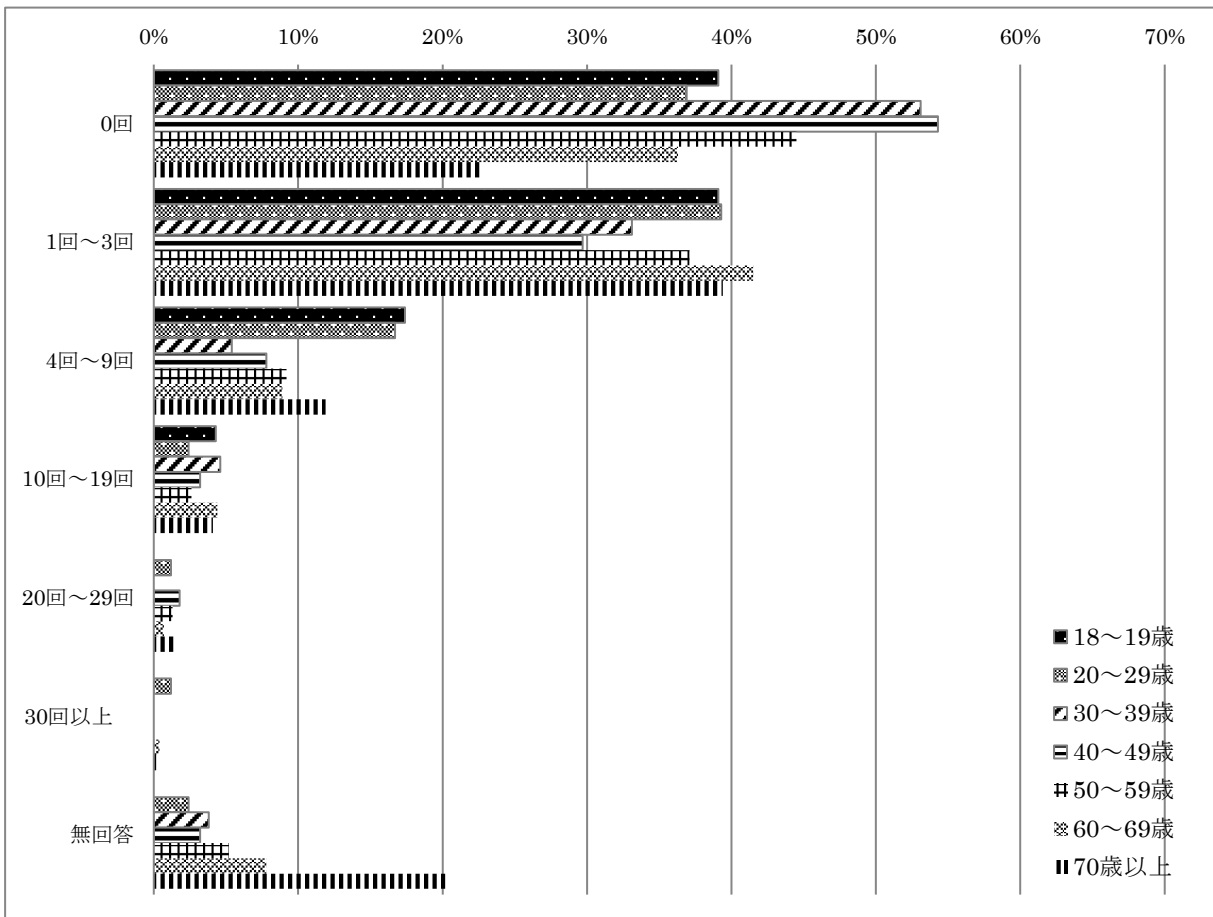
問11（1か月に飲食・買い物・娯楽にお出かけする回数）のうち、中心市街地に1か月間で1回以上お出かけする割合を合算すると、飲食は43.8%、買い物は52.4%、娯楽は23.2%となった。一方で、問11で月に1回以上お出かけをすると回答した人のうち、中心市街地へのお出かけは0回と回答した割合は、飲食は36.7%、買い物は37.0%、娯楽は38.4%と、それぞれ4割近くを占めているため、商店街などで開催されているイベントやその魅力を周知しながら、普段中心市街地に行かない人も来訪機会を確保する取組が必要と考える。

【年代別】

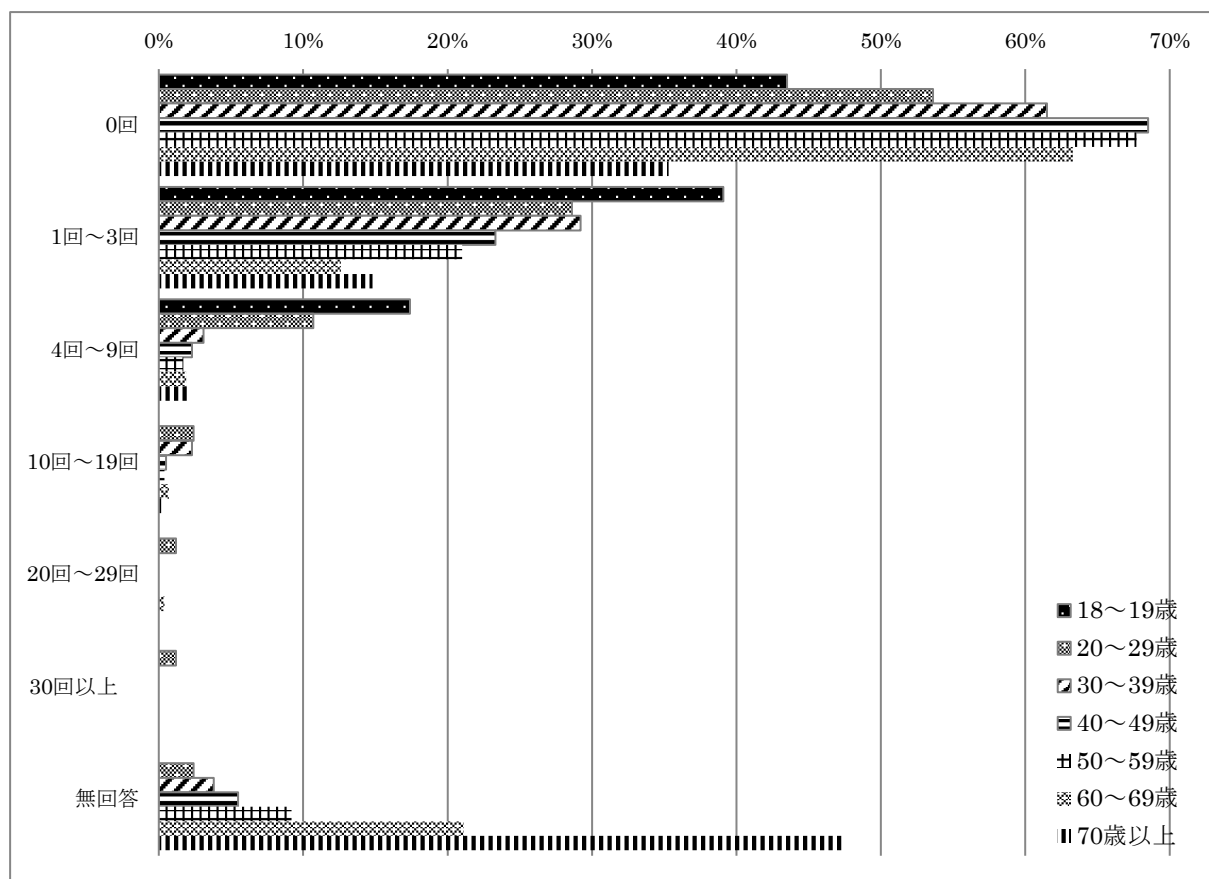
飲食



買い物



## 娯楽



娯楽について、年代が低くなるほど1回以上お出かけする割合が高くなっており、中心市街地に若者向けの施設が集積していることが分かる。飲食・買い物・娯楽それぞれについて、30代及び40代は「0回」の割合が過半数を占めており、お出かけの際の選択肢として中心市街地が選ばれにくい傾向にあるため、普段中心市街地に行かない人に足を運んでもらえるよう、中心市街地の魅力向上に係る取組の検討が必要となる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

飲食

			0回	1回～ 3回	4回～ 9回	10回～ 19回	20回～ 29回	30回 以上	無回答
	全体	1366	584	479	89	18	10	3	183
地区	河北	428	156	163	34	10	4	0	61
	河南	181	68	64	21	2	4	2	20
	盛南	194	82	77	9	3	2	1	20
	厨川	280	137	86	16	1	0	0	40
	都南	237	127	71	6	1	0	0	32
	玉山	46	14	18	3	1	0	0	10
性別	男	626	259	227	45	11	8	1	75
	女	740	325	252	44	7	2	2	108
年齢	18～19歳	23	7	13	3	0	0	0	0
	20～29歳	84	29	41	9	1	2	1	1
	30～39歳	130	67	43	10	3	2	1	4
	40～49歳	219	120	71	16	4	2	0	6
	50～59歳	229	119	82	14	3	2	1	8
	60～69歳	270	128	89	17	2	1	0	33
	70歳以上	411	114	140	20	5	1	0	131

買い物

			0回	1回～ 3回	4回～ 9回	10回～ 19回	20回～ 29回	30回 以上	無回答
	全体	1366	521	509	136	51	16	3	130
地区	河北	428	132	165	58	25	11	0	37
	河南	181	44	69	34	12	5	2	15
	盛南	194	91	63	16	8	0	1	15
	厨川	280	129	93	19	4	0	0	35
	都南	237	107	100	8	2	0	0	20
	玉山	46	18	19	1	0	0	0	8
性別	男	626	252	234	51	22	5	1	61
	女	740	269	275	85	29	11	2	69
年齢	18～19歳	23	9	9	4	1	0	0	0
	20～29歳	84	31	33	14	2	1	1	2
	30～39歳	130	69	43	7	6	0	0	5
	40～49歳	219	119	65	17	7	4	0	7
	50～59歳	229	102	85	21	6	3	0	12
	60～69歳	270	98	112	24	12	2	1	21
	70歳以上	411	93	162	49	17	6	1	83



娯楽

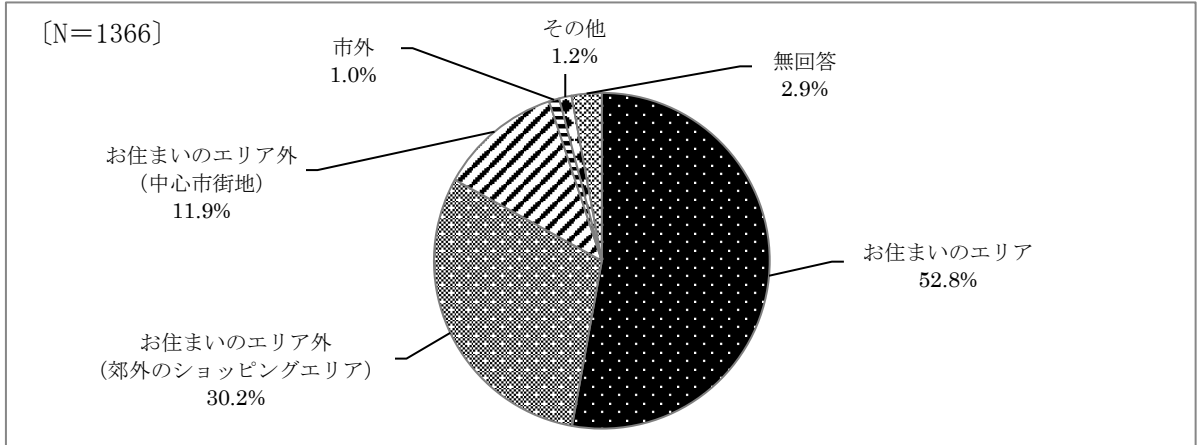
		0回	1回～ 3回	4回～ 9回	10回～ 19回	20回～ 29回	30回 以上	無回答	
	全体	1366	756	265	40	10	2	1	292
地区	河北	428	217	99	14	4	0	0	94
	河南	181	100	33	9	4	2	0	33
	盛南	194	112	36	3	1	0	1	41
	厨川	280	162	47	5	1	0	0	65
	都南	237	143	39	8	0	0	0	47
	玉山	46	22	11	1	0	0	0	12
性別	男	626	355	121	22	4	1	0	123
	女	740	401	144	18	6	1	1	169
年齢	18～19歳	23	10	9	4	0	0	0	0
	20～29歳	84	45	24	9	2	1	1	2
	30～39歳	130	80	38	4	3	0	0	5
	40～49歳	219	150	51	5	1	0	0	12
	50～59歳	229	155	48	4	1	0	0	21
	60～69歳	270	171	34	5	2	1	0	57
	70歳以上	411	145	61	9	1	0	0	195

**問13** 問11の回数のうち、お出かけする回数が最も多いエリア1つに○を付けてください。

※お住まいが中心市街地エリアあるいは郊外のショッピングエリアの近郊で、そのエリアにお出かけする回数が最も多い場合は、選択肢1に○を付けてください。

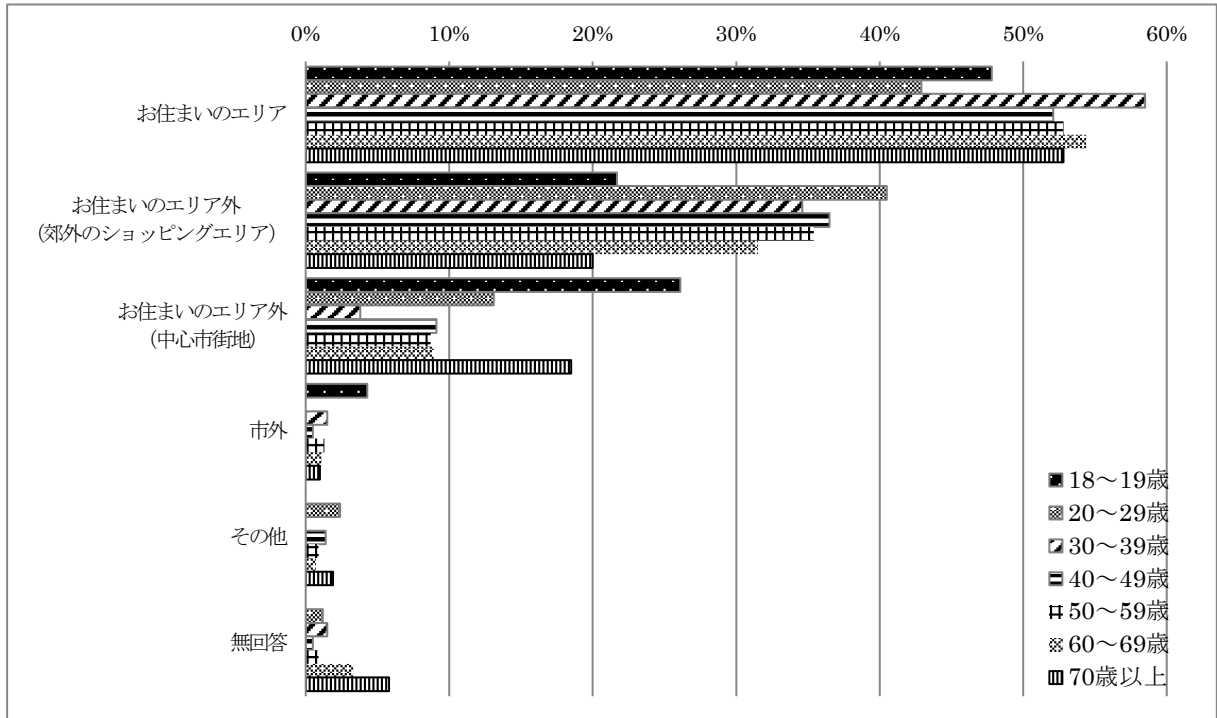
- |                               |                    |
|-------------------------------|--------------------|
| 1 お住まいのエリア                    | 3 お住まいのエリア外（中心市街地） |
| 2 お住まいのエリア外<br>（郊外のショッピングエリア） | 4 市外               |
|                               | 5 その他（ ）           |

**【全体】**



「お住まいのエリア」が52.8%と最も多く、「お住まいのエリア外（郊外のショッピングエリア）」が30.2%、「お住まいのエリア外（中心市街地）」が11.9%と続いた。お出かけの回数のうち、郊外のショッピングエリアを選択する割合が高くなっており、郊外との差別化を図りながら、中心市街地の魅力向上に取り組む必要があると考える。

**【年代別】**



「お住まいのエリア外（中心市街地）」は10代が26.1%と全世代で最も高く、10代は車所有者が少ないことから、電車やバスで行きやすい中心部にお出かけする傾向があると考えられる。郊外のショッピングエリアは、10代よりも20代から50代のお出かけが多い傾向となっており、駐車場の整備環境等により車で移動しやすいエリアでの行動になる傾向があると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			お住まいのエリア	お住まいのエリア外 (郊外のショッピングエリア)	お住まいのエリア外 (中心市街地)	市外	その他	無回答
	全体	1366	722	412	162	14	17	39
地区	河北	428	192	147	67	7	2	13
	河南	181	74	68	29	2	3	5
	盛南	194	131	39	19	0	1	4
	厨川	280	171	66	24	1	9	9
	都南	237	135	76	17	3	2	4
	玉山	46	19	16	6	1	0	4
性別	男	626	304	209	78	8	9	18
	女	740	418	203	84	6	8	21
年齢	18～19歳	23	11	5	6	1	0	0
	20～29歳	84	36	34	11	0	2	1
	30～39歳	130	76	45	5	2	0	2
	40～49歳	219	114	80	20	1	3	1
	50～59歳	229	121	81	20	3	2	2
	60～69歳	270	147	85	24	3	2	9
	70歳以上	411	217	82	76	4	8	24

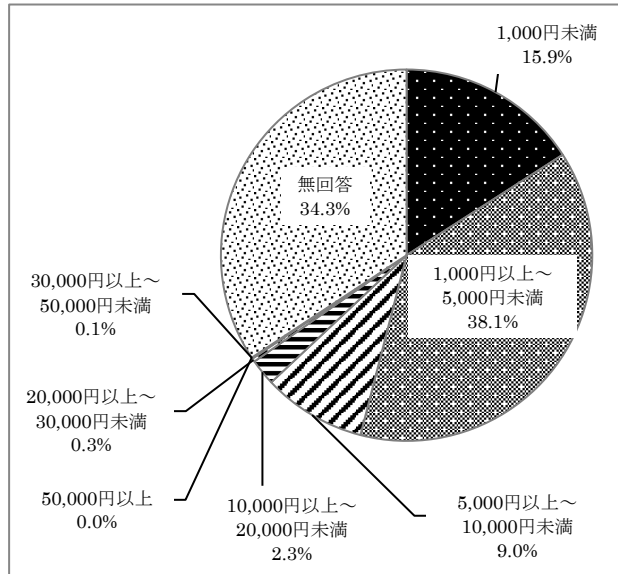
**問14** 問12の中心市街地へのお出かけの際、1回のお出かけでどのくらいお金を使いますか。以下の選択肢の中から、それぞれ最も近い選択肢を記入してください。

- ① 飲食 ( )      ② 買い物 ( )      ③ 娯楽 ( )

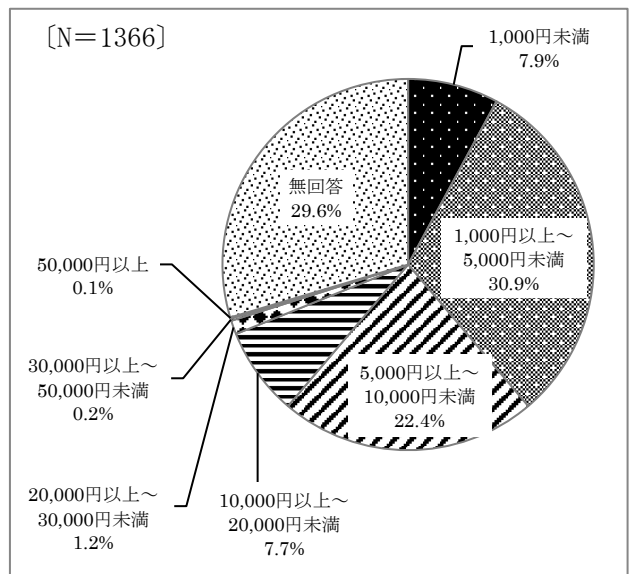
- |                       |                       |
|-----------------------|-----------------------|
| 1 1,000円未満            | 5 20,000円以上～30,000円未満 |
| 2 1,000円以上～5,000円未満   | 6 30,000円以上～50,000円未満 |
| 3 5,000円以上～10,000円未満  | 7 50,000円以上           |
| 4 10,000円以上～20,000円未満 |                       |

**【全体】**

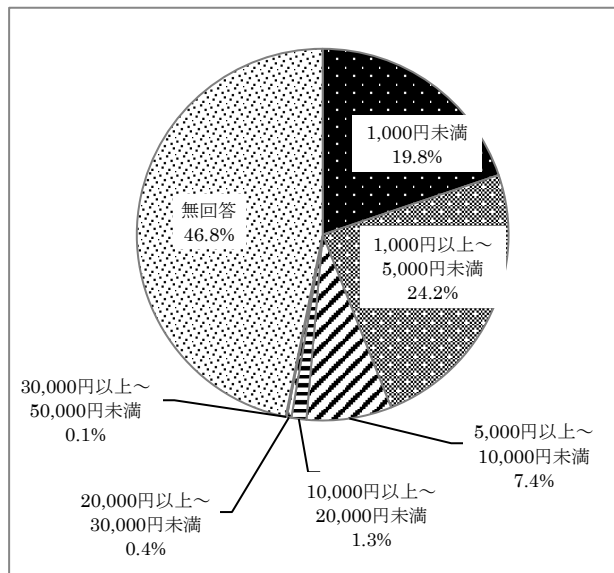
**飲食**



**買い物**



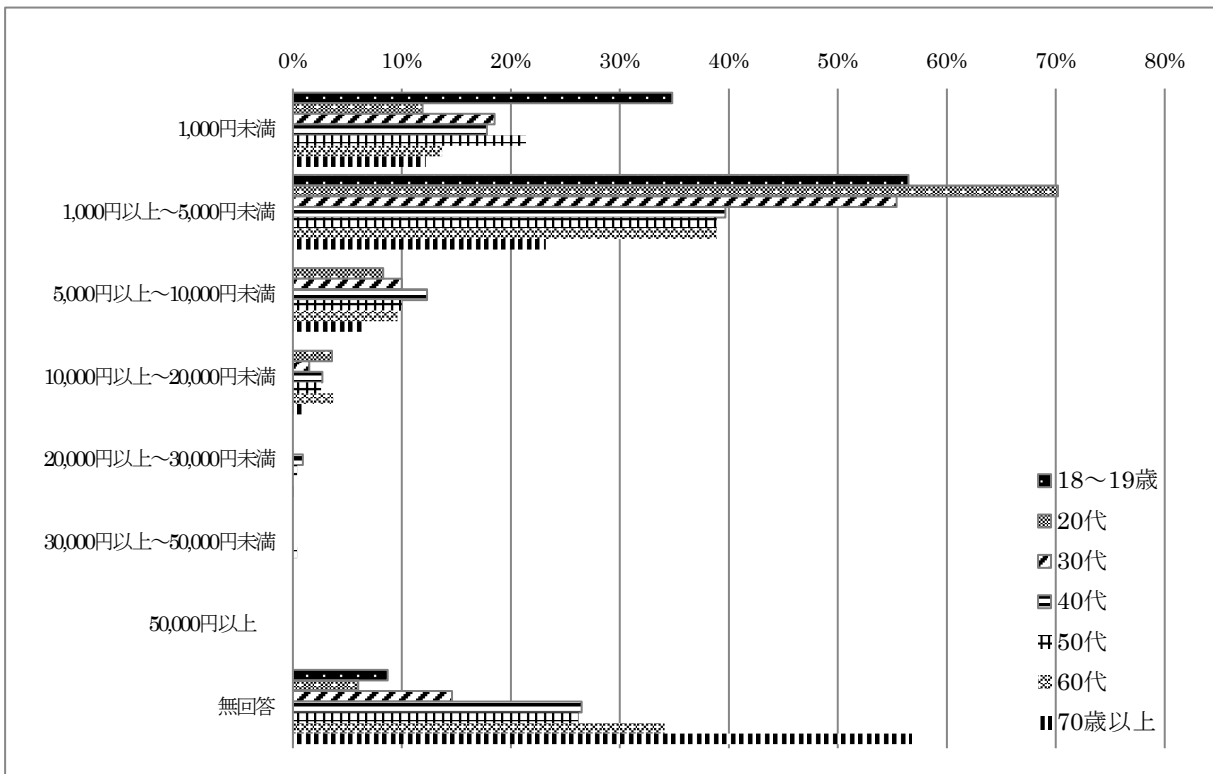
**娯楽**



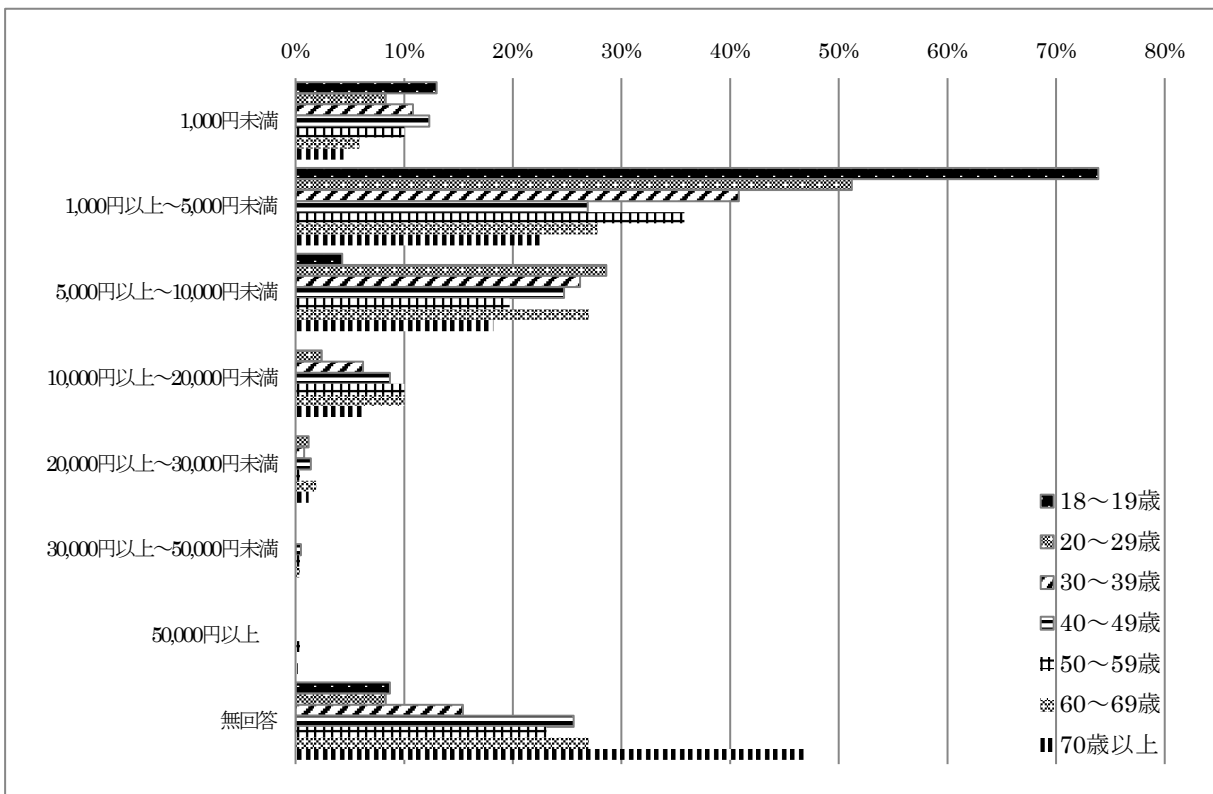
飲食・買い物・娯楽それぞれについて、1回のお出かけで使用するお金が10,000円未満の割合は半数程度となっている。その中でも、買物の場合が、1回あたりの単価が高い傾向にある。お出かけの際に、複数のエリアや店舗を巡っての消費行動が地域経済の活性化に繋がるため、これを促す喚起策や複数の商店街が連動したイベントの企画提案などが効果的であると考えられる。

【年代別】

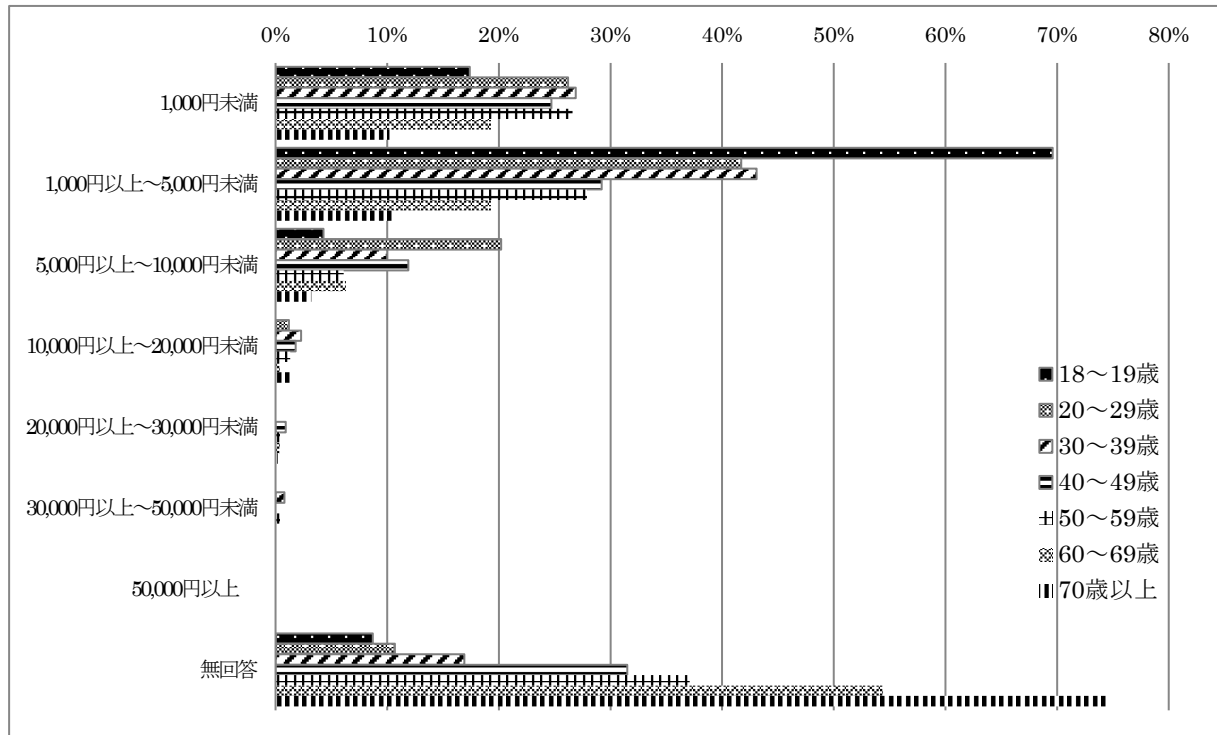
飲食



買い物



娯楽



5,000円以上の選択肢が占める割合について、40代及び50代は10代の若者を上回っており、1回のお出かけでの支出単価が高い傾向があることが考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

飲食

		1,000円未満	5,000円未満	1,000円以上～10,000円未満	5,000円以上～10,000円未満	20,000円未満	10,000円以上～30,000円未満	20,000円以上～50,000円未満	30,000円以上～50,000円未満	50,000円以上	無回答
	全体	1365	217	520	123	31	4	1	0	469	
地区	河北	427	69	175	30	12	1	0	0	140	
	河南	181	26	80	18	2	1	0	0	54	
	盛南	194	35	74	20	4	0	0	0	61	
	厨川	280	45	92	22	10	1	0	0	110	
	都南	237	40	85	25	3	0	1	0	83	
	玉山	46	2	14	8	0	1	0	0	21	
性別	男	626	103	222	67	23	2	1	0	208	
	女	739	114	298	56	8	2	0	0	261	
年齢	18～19歳	23	8	13	0	0	0	0	0	2	
	20～29歳	84	10	59	7	3	0	0	0	5	
	30～39歳	130	24	72	13	2	0	0	0	19	
	40～49歳	219	39	87	27	6	2	0	0	58	
	50～59歳	229	49	89	23	6	1	1	0	60	
	60～69歳	270	37	105	26	10	0	0	0	92	
	70歳以上	410	50	95	27	4	1	0	0	233	

※ 無効回答 1

買い物

			1,000円未満	1,000円以上～ 5,000円未満	5,000円以上～ 10,000円未満	10,000円以上～ 20,000円未満	20,000円以上～ 30,000円未満	30,000円以上～ 50,000円未満	50,000円以上	無回答
	全体	1366	108	422	306	105	16	3	2	404
地区	河北	428	32	144	105	31	7	0	0	109
	河南	181	3	71	49	11	1	1	1	44
	盛南	194	22	60	42	12	1	1	0	56
	厨川	280	30	75	50	23	2	1	1	98
	都南	237	20	65	53	18	4	0	0	77
	玉山	46	1	7	7	10	1	0	0	20
性別	男	626	59	193	133	44	7	1	2	187
	女	740	49	229	173	61	9	2	0	217
年齢	18～19歳	23	3	17	1	0	0	0	0	2
	20～29歳	84	7	43	24	2	1	0	0	7
	30～39歳	130	14	53	34	8	1	0	0	20
	40～49歳	219	27	59	54	19	3	1	0	56
	50～59歳	229	23	82	45	23	1	1	1	53
	60～69歳	270	16	75	73	27	5	1	0	73
	70歳以上	411	18	93	75	26	5	0	1	193

娯楽

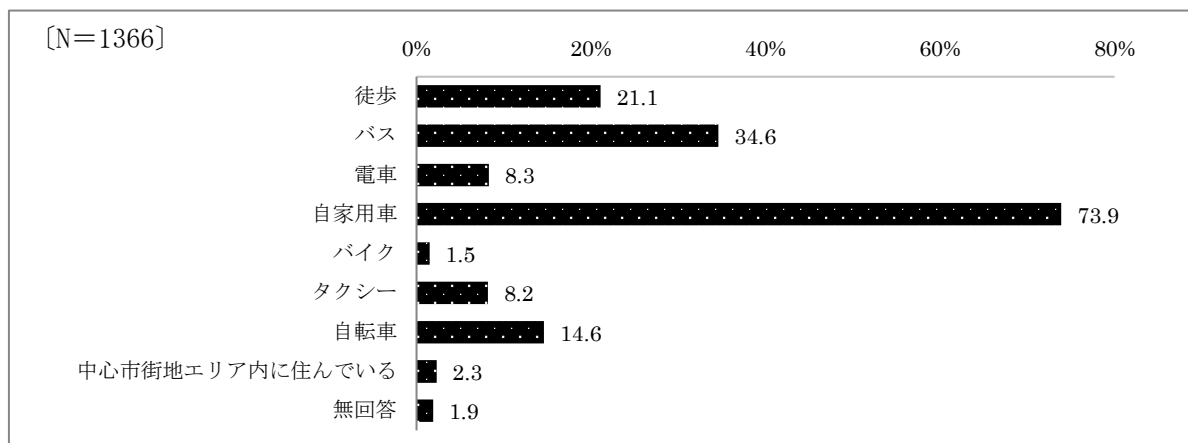
			1,000円未満	1,000円以上～ 5,000円未満	5,000円以上～ 10,000円未満	10,000円以上～ 20,000円未満	20,000円以上～ 30,000円未満	30,000円以上～ 50,000円未満	50,000円以上	無回答
	全体	1365	270	330	101	18	5	2	0	639
地区	河北	427	84	109	31	6	2	1	0	194
	河南	181	40	52	11	2	1	0	0	75
	盛南	194	43	44	17	2	0	0	0	88
	厨川	280	50	60	20	3	2	1	0	144
	都南	237	49	54	19	2	0	0	0	113
	玉山	46	4	11	3	3	0	0	0	25
性別	男	626	115	157	51	7	3	1	0	292
	女	739	155	173	50	11	2	1	0	347
年齢	18～19歳	23	4	16	1	0	0	0	0	2
	20～29歳	84	22	35	17	1	0	0	0	9
	30～39歳	130	35	56	13	3	0	1	0	22
	40～49歳	219	54	64	26	4	2	0	0	69
	50～59歳	229	61	64	14	3	1	1	0	85
	60～69歳	270	52	52	17	1	1	0	0	147
	70歳以上	410	42	43	13	6	1	0	0	305

※ 無効回答 1

**問 15** あなたが中心市街地へお出かけする際、どの交通手段を使いますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |        |                              |
|--------|------------------------------|
| 1 徒歩   | 6 タクシー                       |
| 2 バス   | 7 自転車                        |
| 3 電車   | 8 中心市街地エリア内に住んでいる            |
| 4 自家用車 | ※8の方は1～7の当てはまるものにも○を付けてください。 |
| 5 バイク  |                              |

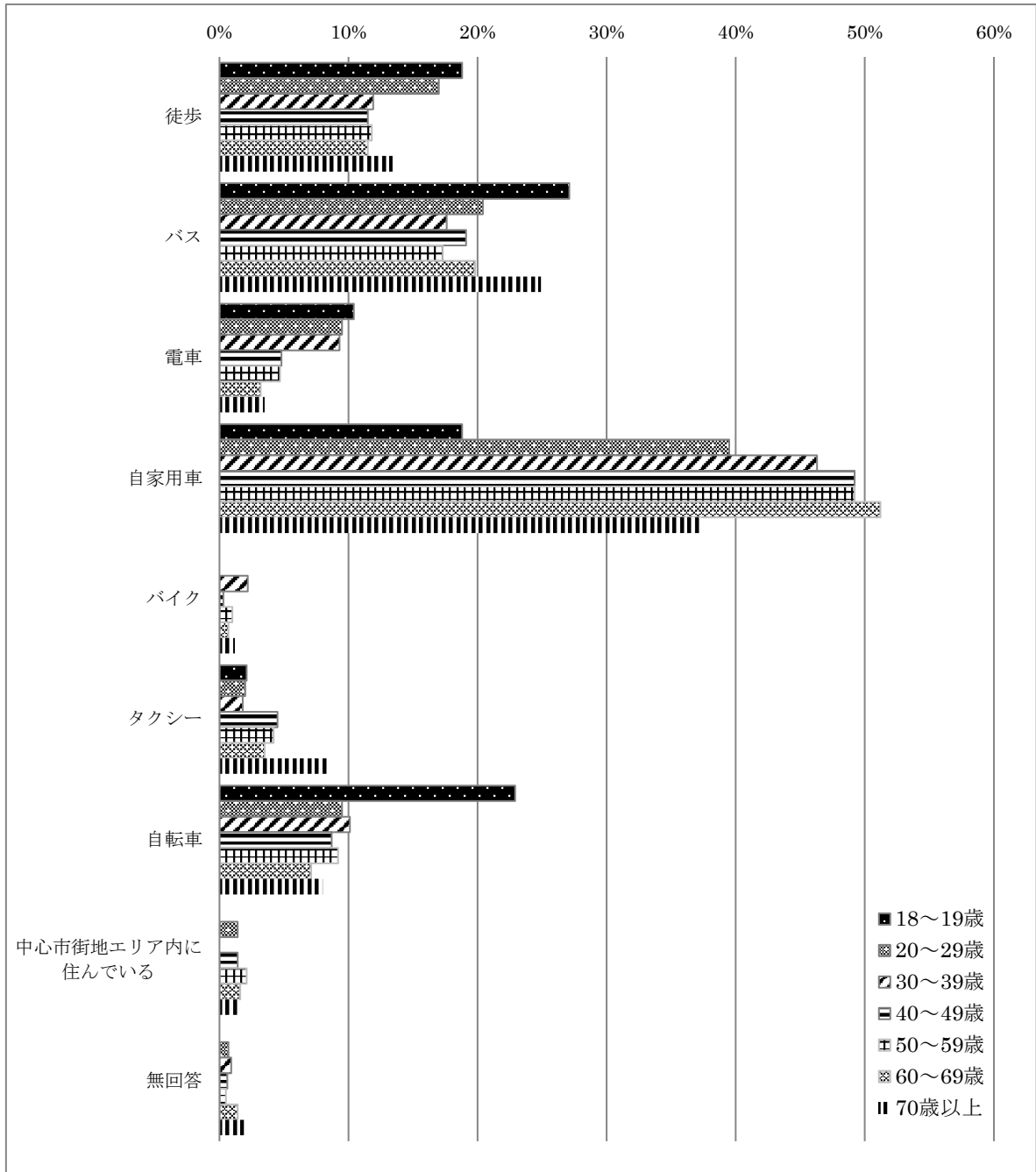
**【全体】**



最も多かったのが自家用車で73.9%、バスが34.6%、徒歩が21.1%と続いた。駐車場が充実していることや、自家用車の利便性が高いことなどが要因と考えられる。問10の結果から、中心市街地の魅力向上には、歩いて楽しい、交通が便利であることへのニーズが高いことから、公共交通機関の充実も含めて中心市街地へのアクセスの利便性の向上を図るとともに、商店街等のイベント開催の促進や、エリア内を移動しやすい環境を整えるなど、中心市街地における回遊性を高める取組が重要であると考えられる。

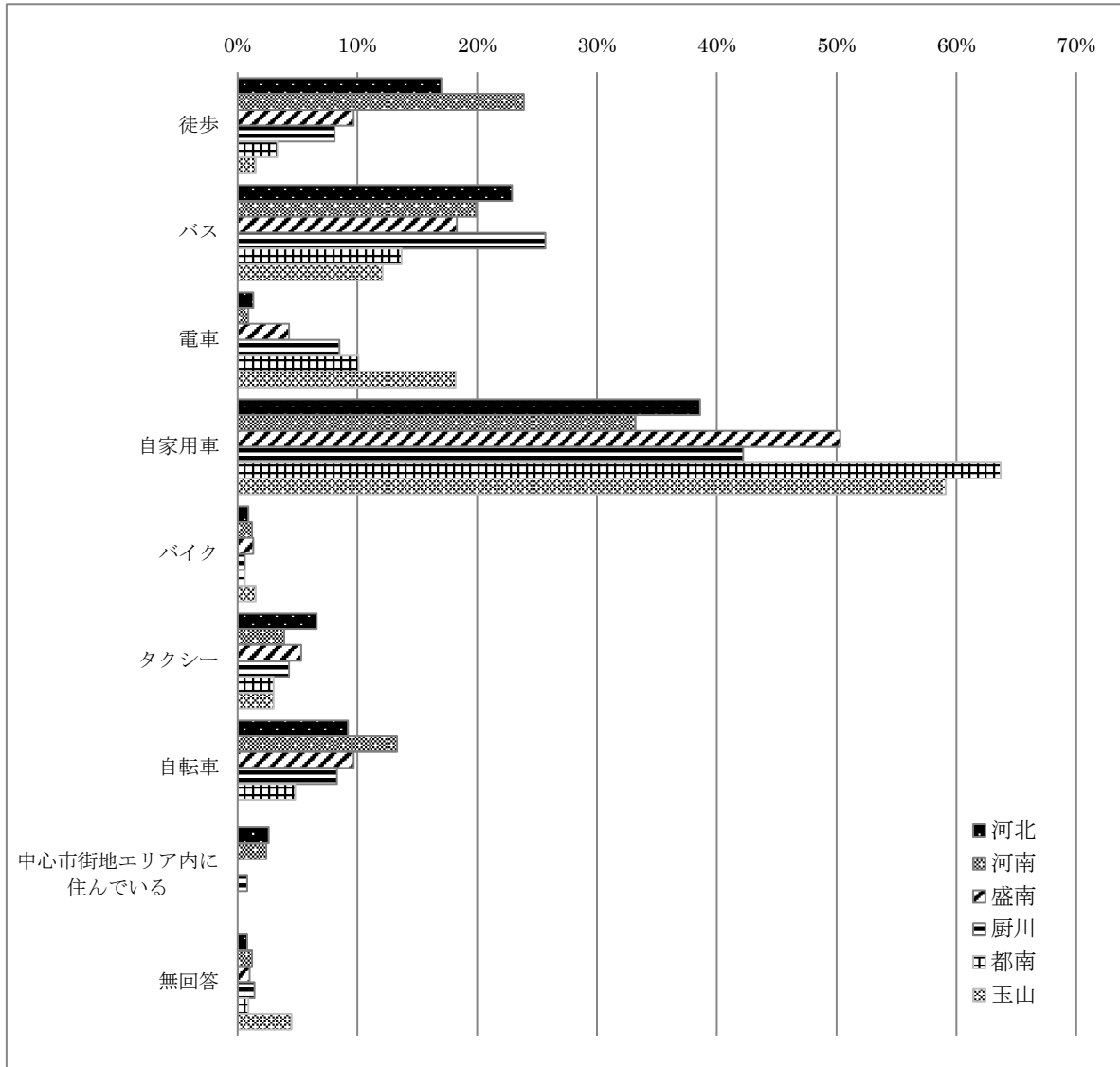


【年代別】



自転車は、10代では20%を超えていたが、他の年代はほぼ10%を切っている。市は地域資源を活かしたサイクルルートの設定を令和7年度までに3路線予定しており、自転車で中心市街地を巡る楽しさの周知を図る必要がある。また、問12において、月に1回以上お出かけする人のうち、約4割が1回も中心市街地に行かない傾向があったが、こうした取組により、普段中心市街地に行かない人たちが自転車で足を運ぶようになることが期待される。

【地区別】



中心市街地に近い河北地区及び河南地区では徒歩が17.0%、23.9%と高くなっており、距離のある都南地区及び玉山地区では自家用車が63.7%、59.1%と約6割を占めている。駐車場が充実していることや、利便性の高さなどから、中心市街地から近い地区を含め全ての地区において自家用車利用の割合が最も高くなっている。

【性別、年代別、地区別の回答数】

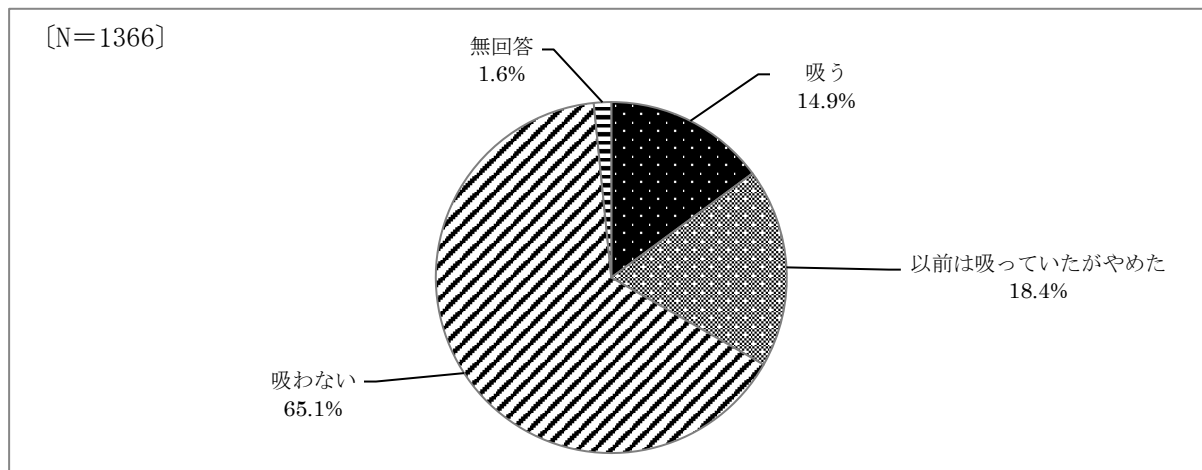
			徒歩	バス	電車	自家用車	バイク	タクシー	自転車	中心市街地エリア内に住んでいる	無回答
	全体	2273	288	472	113	1010	21	112	199	32	26
地区	河北	757	129	173	10	292	7	50	70	20	6
	河南	331	79	66	3	110	4	13	44	8	4
	盛南	300	29	55	13	151	4	16	29	0	3
	厨川	483	39	124	41	204	3	21	40	4	7
	都南	336	11	46	34	214	2	10	16	0	3
	玉山	66	1	8	12	39	1	2	0	0	3
	性別	男	1002	113	172	51	485	15	40	108	7
女		1271	175	300	62	525	6	72	91	25	15
年齢	18～19歳	48	9	13	5	9	0	1	11	0	0
	20～29歳	147	25	30	14	58	0	3	14	2	1
	30～39歳	227	27	40	21	105	5	4	23	0	2
	40～49歳	356	41	68	17	175	1	16	31	5	2
	50～59歳	382	45	66	18	188	4	16	35	8	2
	60～69歳	434	50	86	14	222	3	15	31	7	6
	70歳以上	679	91	169	24	253	8	57	54	10	13

### 《テーマ3 健康づくりについて》

**問16** あなたはたばこを吸いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

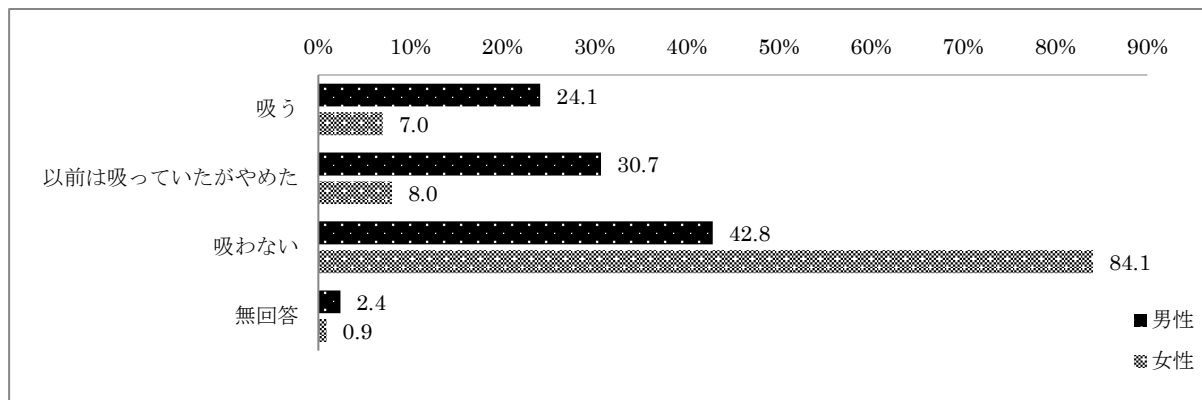
- 1 吸う
- 2 以前は吸っていたがやめた
- 3 吸わない

#### 【全体】



「吸う」は14.9%であり、第2次もりおか健康21プランの目標値である12%に到達していない。喫煙者に対しては、禁煙支援施策を引き続き実施する必要がある。

#### 【性別】



「吸う」と「以前は吸っていたがやめた」の合計が男性では54.8%にのぼり、女性は15.0%であった。男性は、回答者の過半数に喫煙歴がある。このことから、特に男性を対象に早期からたばこの害に関する啓発を行う必要があると考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

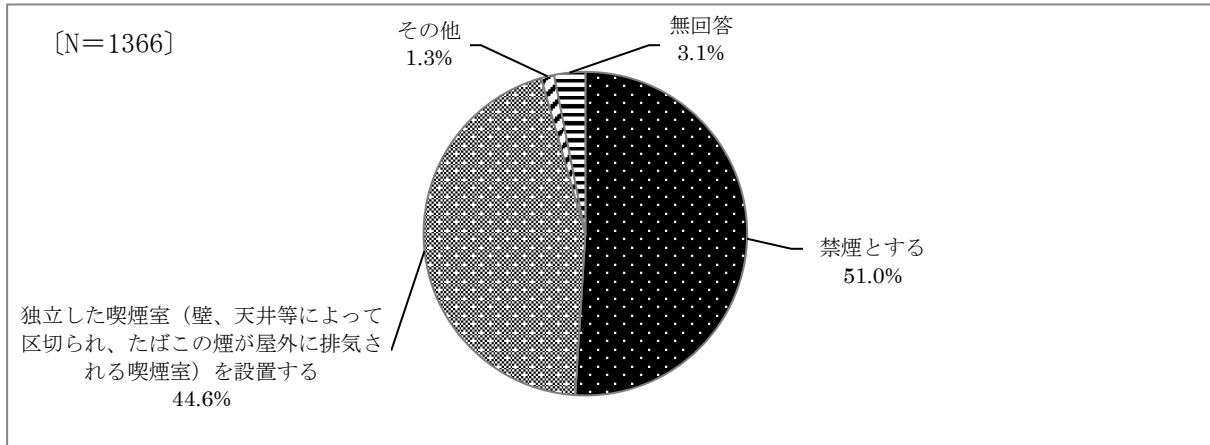
			吸う	以前は吸っていたがやめた	吸わない	無回答
	全体	1366	203	251	890	22
地区	河北	428	56	72	287	13
	河南	181	17	37	125	2
	盛南	194	32	36	124	2
	厨川	280	45	54	179	2
	都南	237	39	46	149	3
	玉山	46	14	6	26	0
性別	男	626	151	192	268	15
	女	740	52	59	622	7
年齢	18～19歳	23	0	0	23	0
	20～29歳	84	18	4	62	0
	30～39歳	130	28	15	86	1
	40～49歳	219	48	46	123	2
	50～59歳	229	49	42	136	2
	60～69歳	270	32	54	180	4
	70歳以上	411	28	90	280	13

**問17** 中心市街地における、屋内と屋外での受動喫煙対策について、それぞれ最も適切だと考えるもの1つに○を付けてください。

①屋内

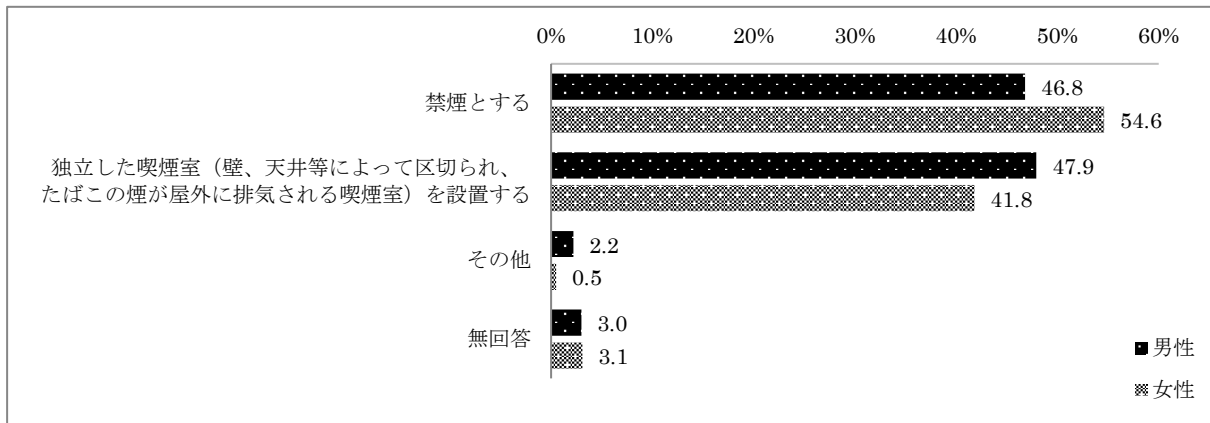
- 1 禁煙とする
- 2 独立した喫煙室（壁、天井等によって区切られ、たばこの煙が屋外に排気される喫煙室）を設置する
- 3 その他（ ）

【全体】



「禁煙とする」と「独立した喫煙室を設置する」に大きな差はみられず、全面禁煙を求める人が51.0%に対し、適切な対策がとられていれば喫煙室を設置してもいいと考える人は44.6%である。喫煙室を設置する場合は、全面禁煙を求める人の理解を得るため、丁寧な説明が必要である。

【性別】



「禁煙とする」と「独立した喫煙室を設置する」はそれぞれ半数程度であるが、男性では「独立した喫煙室を設置する」の方が、女性では「禁煙とする」の方がわずかではあるがもう一方の回答を上回っている。

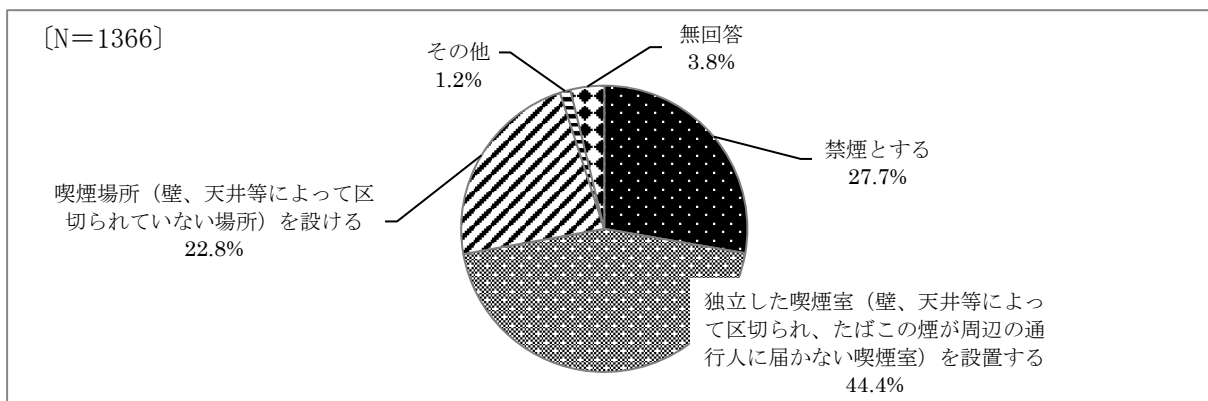
【性別、年代別、地区別の回答数】

		禁煙とする	独立した喫煙室（壁、天井等によって区切られ、たばこの煙が屋外に排気される喫煙室）を設置する	その他	無回答	
全体		1366	697	609	18	42
地区	河北	428	238	169	5	16
	河南	181	79	93	2	7
	盛南	194	89	98	0	7
	厨川	280	147	120	7	6
	都南	237	122	108	3	4
	玉山	46	22	21	1	2
性別	男	626	293	300	14	19
	女	740	404	309	4	23
年齢	18～19歳	23	8	13	2	0
	20～29歳	84	38	44	2	0
	30～39歳	130	60	68	2	0
	40～49歳	219	90	125	3	1
	50～59歳	229	113	110	3	3
	60～69歳	270	158	103	3	6
	70歳以上	411	230	146	3	32

②屋外

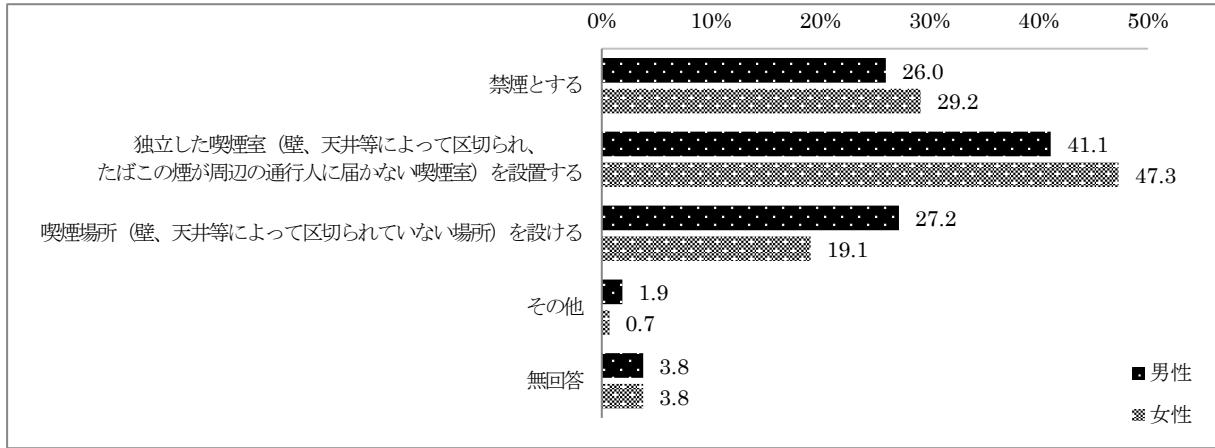
- 1 禁煙とする
- 2 独立した喫煙室（壁、天井等によって区切られ、たばこの煙が周辺の通行人に届かない喫煙室）を設置する
- 3 喫煙場所（壁、天井等によって区切られていない場所）を設ける
- 4 その他（ ）

【全体】



「喫煙場所を設置する」と「独立した喫煙場所を設置する」は合計で67.2%、「禁煙とする」は27.7%となっている。問17①の結果と比較すると、屋内と屋外では状況が異なると捉えられていることが分かる。施策を検討する際にも状況に応じた対策を考える必要がある。

【性別】



「禁煙とする」と「独立した喫煙室を設置する」は、女性の方が、「喫煙場所を設ける」は男性の方が割合が大きい。男性の方が喫煙者が多いことが影響している可能性が考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

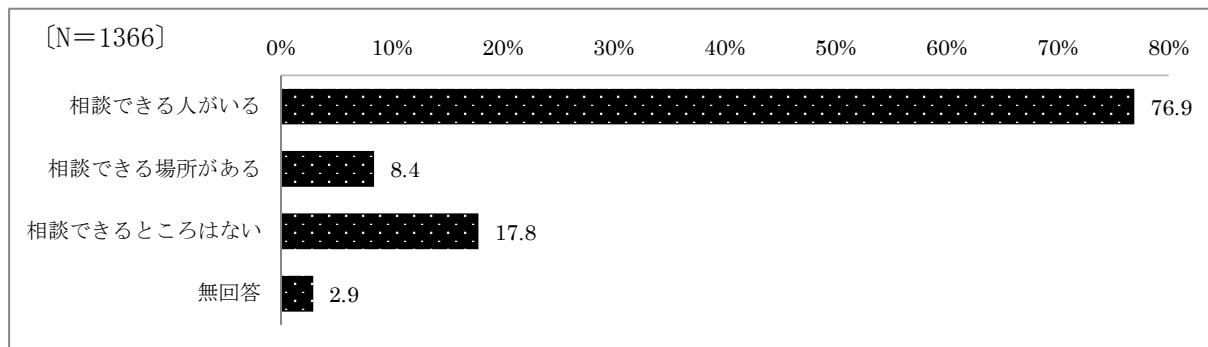
		禁煙とする	独立した喫煙室（壁、天井等によって区切られ、 たばこの煙が周辺の通行人に届かない喫煙室） を設置する	喫煙場所（壁、天井等によって 区切られていない場所）を設ける	その他	無回答
	全体	1366	607	311	17	52
地区	河北	428	179	93	4	21
	河南	181	82	44	2	7
	盛南	194	87	43	2	8
	厨川	280	121	69	6	9
	都南	237	117	53	1	5
	玉山	46	21	9	2	2
性別	男	626	257	170	12	24
	女	740	350	141	5	28
年齢	18～19歳	23	13	4	1	0
	20～29歳	84	38	21	2	0
	30～39歳	130	65	28	3	0
	40～49歳	219	106	52	2	2
	50～59歳	229	122	55	4	3
	60～69歳	270	125	58	2	6
	70歳以上	411	138	93	3	41



**問18** あなたは、悩みや問題を抱えたとき相談できるところ（人や場所）がありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

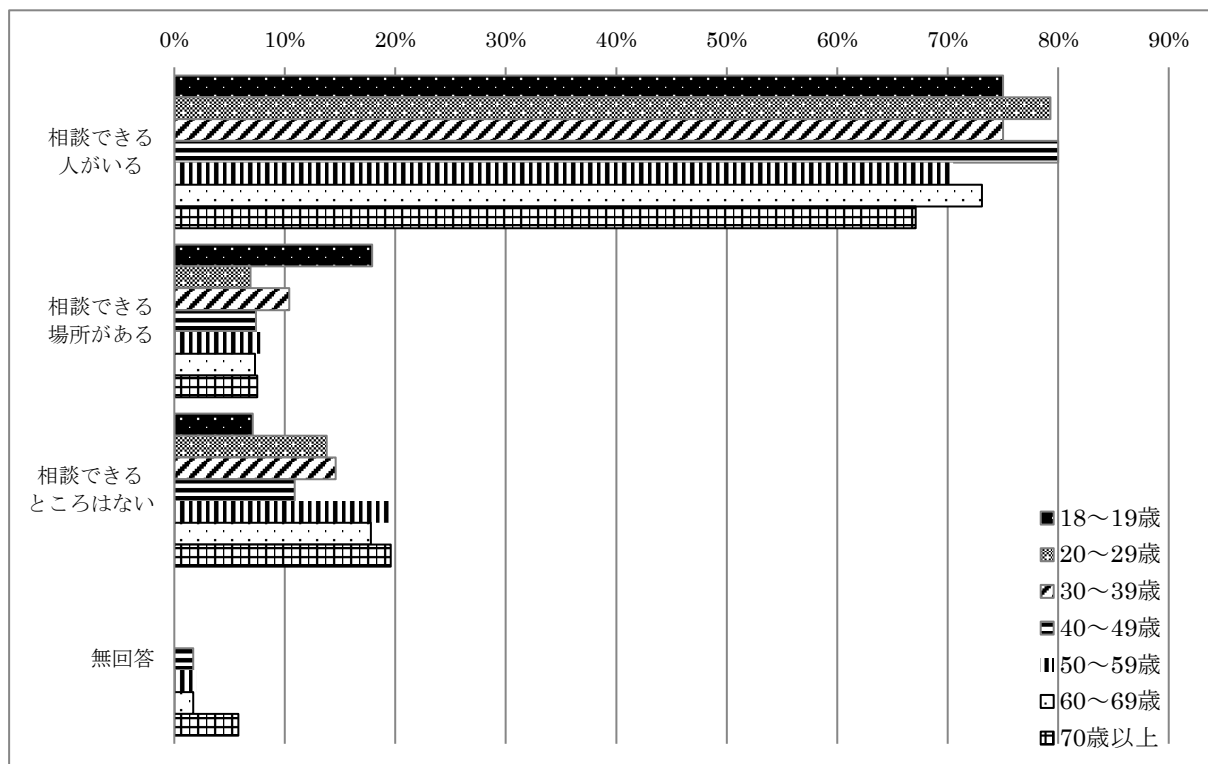
- |              |               |
|--------------|---------------|
| 1 相談できる人がいる  | 3 相談できるところはない |
| 2 相談できる場所がある |               |

**【全体】**



「相談できる人がいる」の割合は76.9%であり、令和2年度79.0%と比較すると、2.1ポイント減少しているが、8割近い方が何らかの形で周囲に相談や支援を求めることができていることが分かる。「相談できるところはない」の割合は、令和2年度17.3%と比較し横ばいであり、引き続き、年代や悩みに応じた相談窓口に関する情報の周知を強化する必要がある。

**【年代別】**



「相談できる人がいる」割合は、40代以下が75~80%であるのに対し、50代は70.5%、70歳以上は67.1%である。「相談できるところはない」割合は、50代以上は約20%であり、40代以下と比較して高い。

50代以上の就業者の多くは、そのキャリアや役職上、身近な人から相談される立場にあることが考えられる。また、70歳以上では、自身の健康や家族の介護、生活、家計など、周囲に打ち明けにくい悩みを抱えていたり、定年退職や離職により、相談できる人や場所の情報を得る機会が減少していたりすることが考えられる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			相談できる人がいる	相談できる場所がある	相談できるところはない	無回答
	全体	1447	1050	115	243	39
地区	河北	451	315	38	79	19
	河南	192	143	13	33	3
	盛南	206	157	18	29	2
	厨川	299	204	29	59	7
	都南	251	192	15	38	6
	玉山	48	39	2	5	2
性別	男	658	433	54	147	24
	女	789	617	61	96	15
年齢	18～19 歳	28	21	5	2	0
	20～29 歳	87	69	6	12	0
	30～39 歳	144	108	15	21	0
	40～49 歳	230	184	17	25	4
	50～59 歳	244	172	19	48	5
	60～69 歳	286	209	21	51	5
	70 歳以上	428	287	32	84	25

全体の約8割の方が、何らかの形で周囲に相談や支援を求めている。一方で、約2割が「相談できるところがない」としている。特に、男性や、50代以上の就業者や、60代以上の方に向けた相談窓口の周知と、相談・支援を求めやすい環境づくりが必要である。

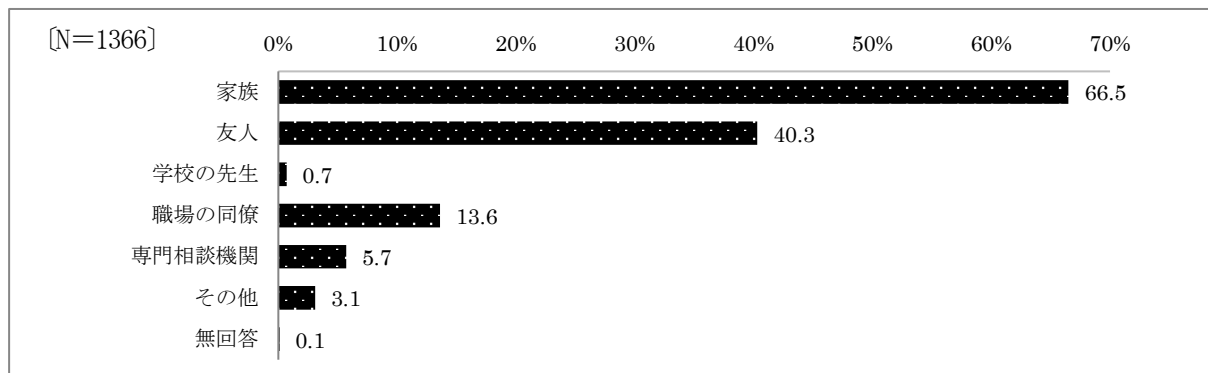
年代によって情報を得る機会や手段に違いがあると考えられるため、どの年代にも情報が行き届くよう、発信方法を工夫したり、関係機関の連携を強化して周知を継続したりする必要がある。

また、相談しない、あるいはできない人が、悩みを抱え込むことのないよう、身近な人が悩んでいる人に気づき、声をかけることができるよう、メンタルヘルスに関する情報の普及啓発が必要である。

**問19** 問18で「1 相談できる人がいる」や「2 相談できる場所がある」を選んだ方にお聞きします。相談できる人はどなたですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

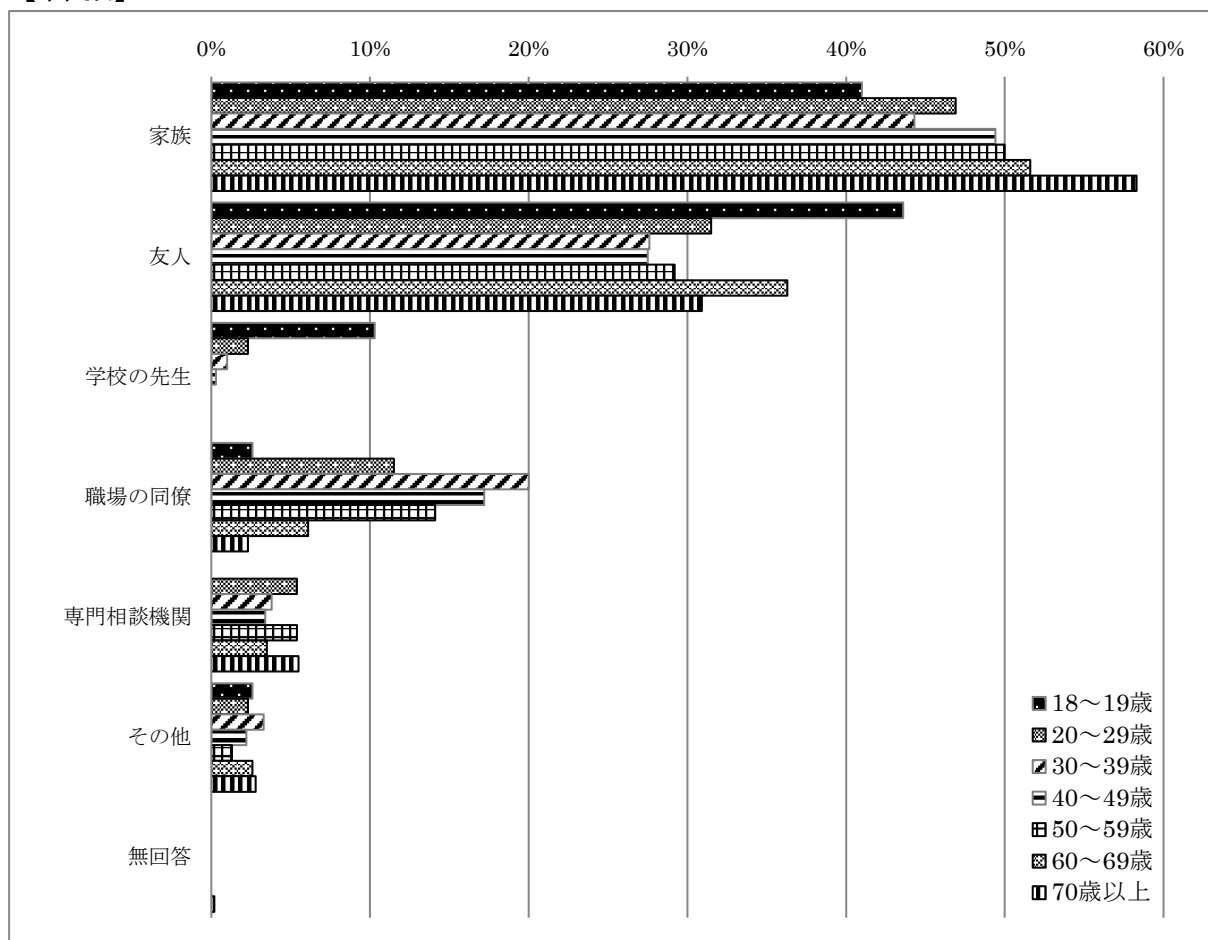
- |         |           |
|---------|-----------|
| 1 家族    | 4 職場の同僚   |
| 2 友人    | 5 専門相談機関  |
| 3 学校の先生 | 6 その他 ( ) |

**【全体】**



「家族」が66.5%と最も高く、次いで「友人」40.3%、「職場の同僚」13.6%であった。「学校の先生」が0.7%と低いのは、調査対象者が18歳以上であることが影響している。相談相手は身近なところにいる傾向にあることが分かる。

**【年代別】**



10代は「友人」の割合が43.6%と他の年代よりも高い。20代から50代の働き盛り世代は「職場の同僚」の割合が他年代より高い。60代以上は仕事から離れる人が増えるためか、「職場の同僚」の割合は減り、「友人」の割合が他年代より高い傾向があった。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			家族	友人	学校の先生	職場の同僚	専門相談機関	その他	無回答
	全体	1778	909	551	10	186	78	43	1
地区	河北	514	264	161	1	43	32	12	1
	河南	250	125	77	3	28	9	8	0
	盛南	264	140	79	0	33	7	5	0
	厨川	359	174	109	5	39	23	9	0
	都南	326	175	103	1	34	6	7	0
	玉山	65	31	22	0	9	1	2	0
性別	男	717	378	188	8	82	37	24	0
	女	1061	531	363	2	104	41	19	1
年齢	18～19歳	39	16	17	4	1	0	1	0
	20～29歳	130	61	41	3	15	7	3	0
	30～39歳	210	93	58	2	42	8	7	0
	40～49歳	320	158	88	1	55	11	7	0
	50～59歳	298	149	87	0	42	16	4	0
	60～69歳	347	179	126	0	21	12	9	0
	70歳以上	434	253	134	0	10	24	12	1

多くが「家族」「友人」「職場の同僚」など、身近な人に相談している。身近な人から相談を受けたときに、その人に寄り添って話を聴いたり、状況により必要な相談機関へつないだりするなどの対応ができるよう、日ごろからメンタルヘルスに関する情報について普及啓発を図るとともに、ゲートキーパー\*\*研修等で正しい知識や相談窓口について周知する必要がある。

新型コロナウイルス感染症流行期は、生活様式の変化に伴い、友人や職場の同僚との交流機会や、気づき・声かけの機会が減少していた可能性があるため、その影響も考慮した取組が必要である。

※ 悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聴いて、必要な支援につなげ、見守る人のこと。



【性別、年代別、地区別の回答数】

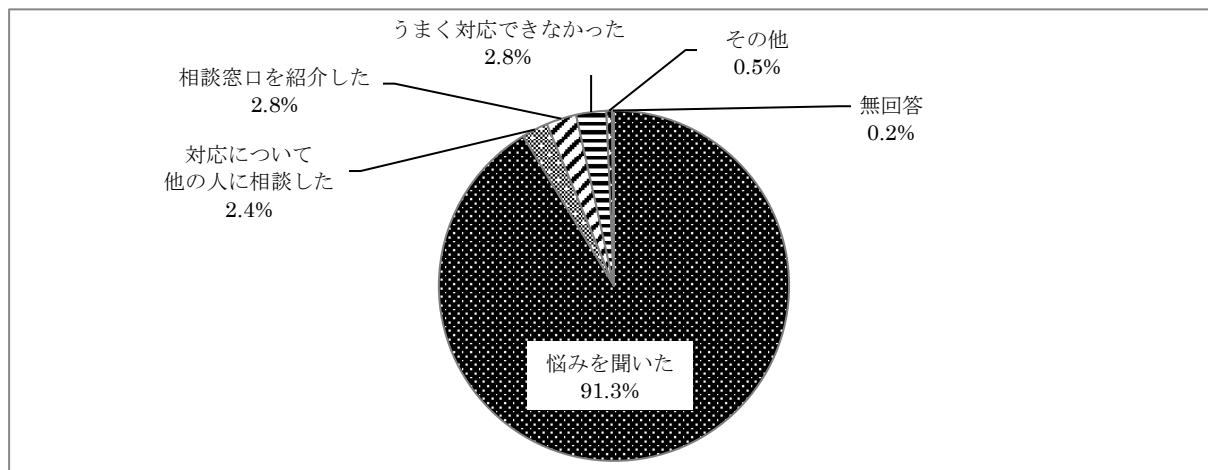
			ある	ない	無回答
	全体	1366	788	512	66
地区	河北	428	244	156	28
	河南	181	100	69	12
	盛南	194	108	78	8
	厨川	280	165	106	9
	都南	237	145	84	8
	玉山	46	26	19	1
性別	男	626	305	291	30
	女	740	483	221	36
年齢	18～19 歳	23	14	9	0
	20～29 歳	84	57	26	1
	30～39 歳	130	92	35	3
	40～49 歳	219	148	65	6
	50～59 歳	229	144	82	3
	60～69 歳	270	159	98	13
	70 歳以上	411	174	197	40

全体の約6割が悩んでいる人の相談を受けたことがあり、誰もが身近な人の相談者になる可能性がある。相談を受けたときに、相手の心に寄り添って話を聴き、かかわりを通して孤立・孤独を防ぐことや、状況により必要な相談機関へつなぐなどの対応ができるよう「ゲートキーパー」に関する知識の普及を継続する必要がある。

**問21** 問20で「1 ある」を選んだ方にお聞きします。あなたは、悩みを相談されたときどう対応しましたか。最も当てはまるもの1つに○を付けてください。

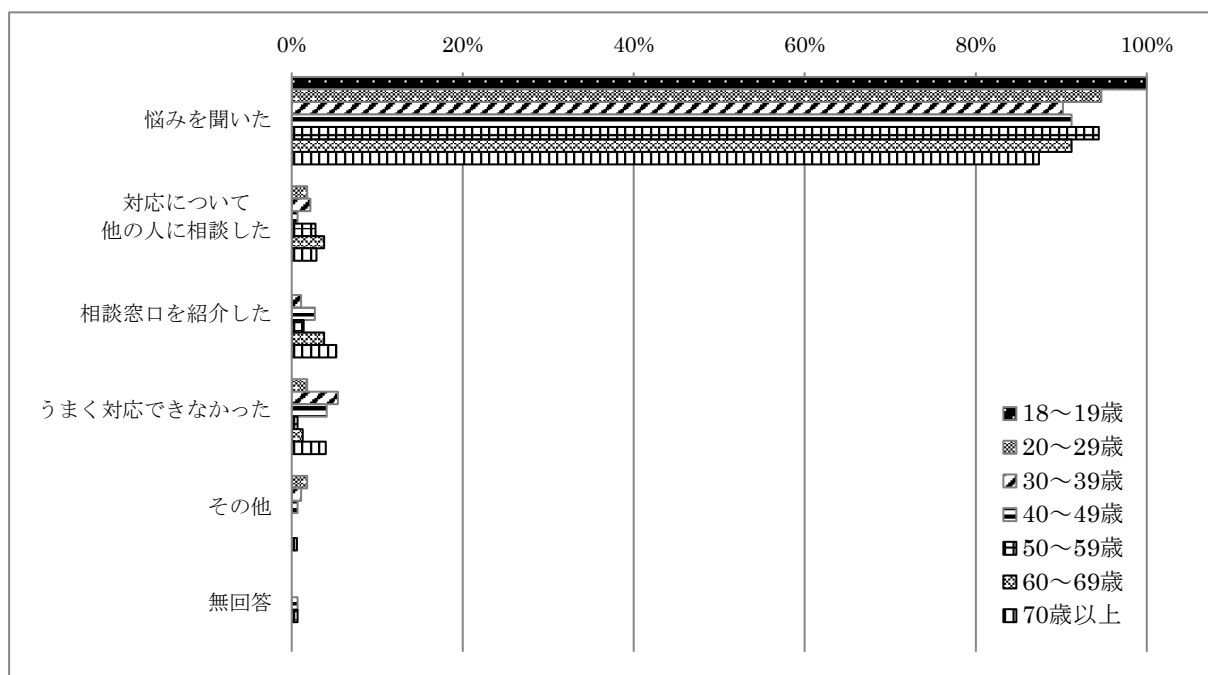
- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 悩みを聞いた         | 4 うまく対応できなかった |
| 2 対応について他の人に相談した | 5 その他 ( )     |
| 3 相談窓口を紹介した      |               |

**【全体】**



「悩みを聞いた」が全体の91.3%であり、悩んでいる人の相談を受けたことがあると回答した人の9割以上の方が悩んでいる人の話を聞いたことがある。

**【年代別】**



70歳以上は、相談窓口を紹介した割合が5.2%だった。年齢が上がるにつれて、相談内容が専門的となっていることが推測される。「うまく対応できなかった」は、30代で5.4%、40代で4.1%、70歳以上4.0%となっている。特に身近な人から相談を受ける機会が多い30代以上の年代では、相談を受けたときの対応や、悩みに応じた専門相談機関の情報等の周知を強化するとともに、相談を受ける側のこころの健康が保たれるよう、メンタルヘルスの向上に努める必要がある。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			悩みを聞いた	対応について他の人に相談した	相談窓口を紹介した	うまく対応できなかった	その他	無回答
	全体	788	719	19	22	22	4	2
地区	河北	244	216	6	11	9	2	0
	河南	100	88	2	5	4	1	0
	盛南	108	99	3	1	3	0	2
	厨川	165	152	3	4	5	1	0
	都南	145	139	4	1	1	0	0
	玉山	26	25	1	0	0	0	0
性別	男	305	270	10	10	12	2	1
	女	483	449	9	12	10	2	1
年齢	18～19歳	14	14	0	0	0	0	0
	20～29歳	57	54	1	0	1	1	0
	30～39歳	92	83	2	1	5	1	0
	40～49歳	148	135	1	4	6	1	1
	50～59歳	144	136	4	2	1	0	1
	60～69歳	159	145	6	6	2	0	0
	70歳以上	174	152	5	9	7	1	0

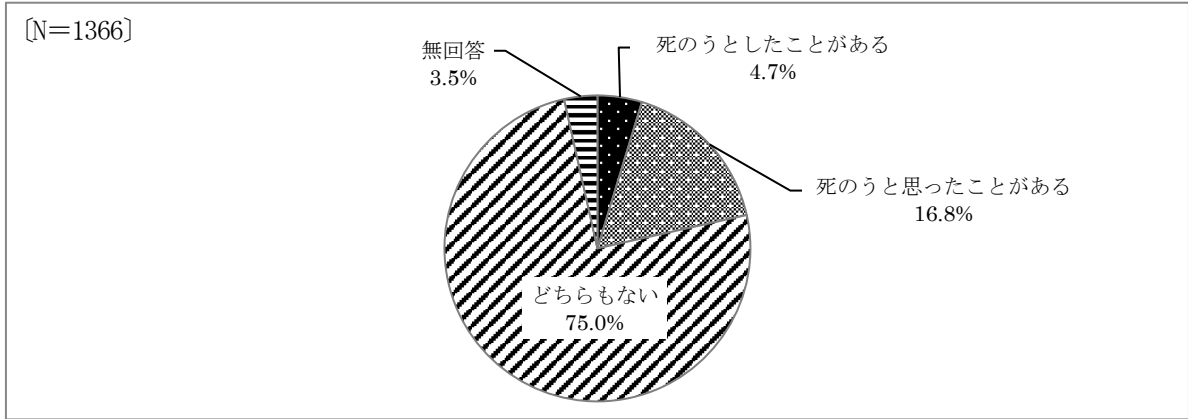
誰もが悩んでいる人の相談を受ける機会がある。悩んでいる人の相談を受けた際にゲートキーパーとなるよう、対応や相談機関の情報に関する周知を強化する必要がある。また、学校、職域、地域等の関係機関で連携し、相談を受ける側のメンタルヘルス向上にも努める必要がある。



**問 22** あなたは、今まで死のうとした、又は死のうと思ったことはありますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

- |                |          |
|----------------|----------|
| 1 死のうとしたことがある  | 3 どちらもない |
| 2 死のうと思ったことがある |          |

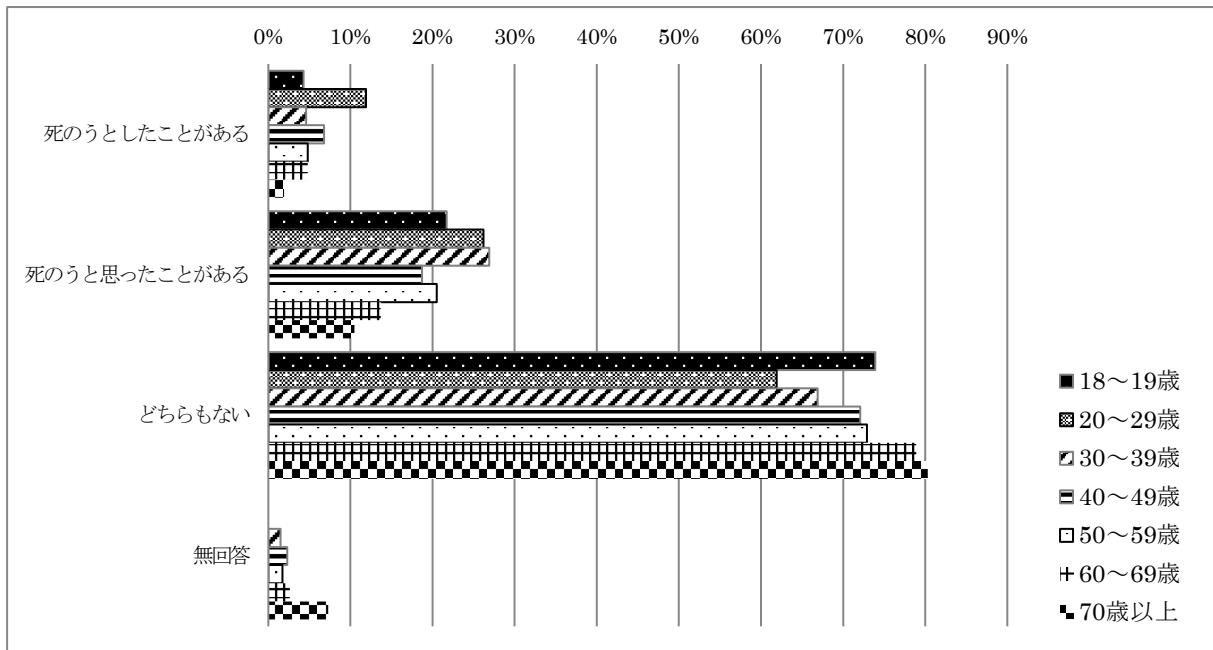
**【全体】**



「死のうとしたことがある」の割合は4.7%であり、令和2年度5.6%から0.9ポイント減少した。また、「死のうと思ったことがある」の割合は16.8%であり、令和2年度21.0%から4.2ポイント減少した。「どちらもない」の割合は75.0%であり、令和2年度72.0%から3.0ポイント増加した。

「死のうとしたことがある」「死のうと思ったことがある」割合は、令和2年度と比較してどちらも減少している。市民一人ひとりが、誰かの相談を受けたときに適切に対応していることや、盛岡市自殺対策推進計画に基づき関係機関が実施する「生きることの包括的支援」につながる取組を継続してきた成果と考える。引き続き、関係機関とのネットワークを強化しながら、取組を継続する必要がある。

**【年代別】**



「死のうとしたことがある」割合は20代11.9%で、他の年代と比較して高い。「死のうと思ったことがある」割合は、30代26.9%、20代26.2%、10代21.7%であり、39歳以下の若年層が他の年代と比べて高い割合である。40代は18.7%、50代は20.5%であり、働き盛り世代(40歳代・50歳代)が若年層に次いで高い割合である。

若年層及び働き盛り世代に対する自殺対策の取組は、引き続き重点的に行う必要がある。

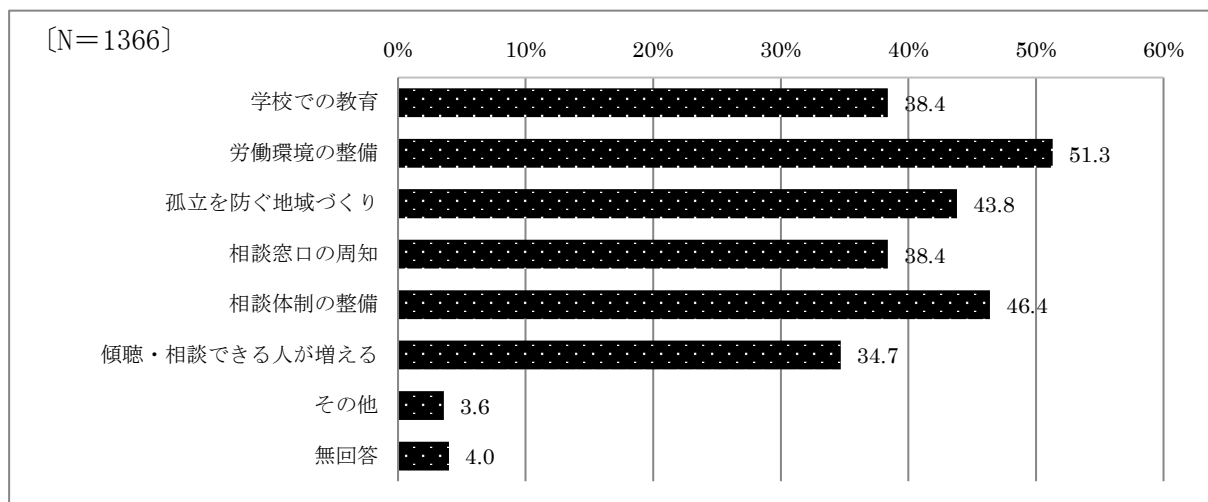
【性別、年代別、地区別の回答数】

			死のうとしたことがある	死のうと思ったことがある	どちらでもない	無回答
	全体	1366	64	230	1024	48
地区	河北	428	19	59	328	22
	河南	181	10	31	136	4
	盛南	194	4	35	149	6
	厨川	280	13	60	196	11
	都南	237	15	37	180	5
	玉山	46	3	8	35	0
	性別	男	626	29	87	489
	女	740	35	143	535	27
年齢	18～19歳	23	1	5	17	0
	20～29歳	84	10	22	52	0
	30～39歳	130	6	35	87	2
	40～49歳	219	15	41	158	5
	50～59歳	229	11	47	167	4
	60～69歳	270	13	37	213	7
	70歳以上	411	8	43	330	30

**問 23** あなたは、こころの健康づくりの効果をあげるために有効と思われるものはありますか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

- |              |                 |
|--------------|-----------------|
| 1 学校での教育     | 5 相談体制の整備       |
| 2 労働環境の整備    | 6 傾聴・相談できる人が増える |
| 3 孤立を防ぐ地域づくり | 7 その他 ( )       |
| 4 相談窓口の周知    |                 |

**【全体】**

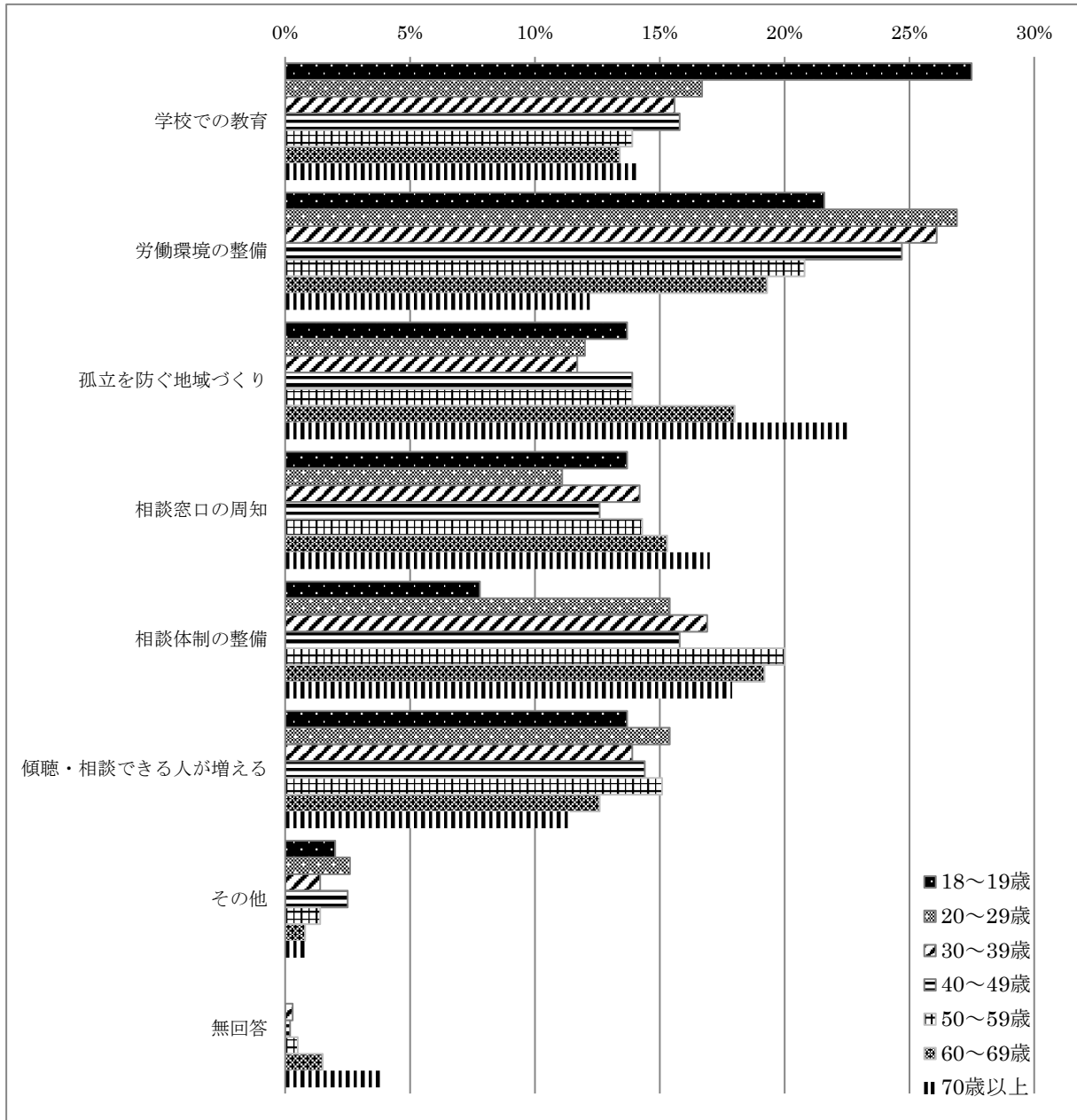


令和2年度の調査では「相談体制の整備」が最も高い割合であったが、令和4年度の調査では「労働環境の整備」が51.3%で最も高い割合となった。「労働環境の整備」の割合は51.3%であり、令和2年度の43.3%と比較して8.0ポイント増加している。また、令和4年度の「相談体制の整備」の割合は46.4%であり、令和2年度の44.5%と比較して増加傾向にある。

「労働環境の整備」に関するニーズが増加していることから、就業者等にとって「労働環境」がこころの健康づくりに与える影響は大きいことが考えられる。

今後も労働関係機関と連携したこころの健康づくりに関する取組や、長期化する新型コロナウイルス感染症による様々な影響を考慮した取組が必要である。また、相談機関におけるネットワーク構築や、関係機関相互の連携を深めながら、相談体制の充実を図る必要がある。

【年代別】



「学校での教育」の割合は、10代が27.5%であり最も高い。「労働環境の整備」の割合は、10代は21.6%、20代は26.9%、30代は26.1%、40代は24.7%、50代は20.8%であり、20代~40代の割合が高い。

「相談体制の整備」の割合は、50代が20.0%で最も高い。「孤立を防ぐ地域づくり」の割合は、70歳以上が22.5%、次いで60代18.0%であり、年代が上がるにつれて、地域の孤立対策や相談体制整備等のニーズが高い傾向がある。

今後も、各年代のニーズを捉えながら、相談につながりやすい環境づくり（相談窓口の周知、うつスクリーニング等の取組）を推進する必要がある。また、年代に関わらず、自ら相談を求めることができない人に対して、身近な人のかかわりを通して孤立・孤独を防ぐことや、悩みに応じた相談窓口につながるような体制整備・相談窓口周知が必要である。

【性別、年代別、地区別の回答数】

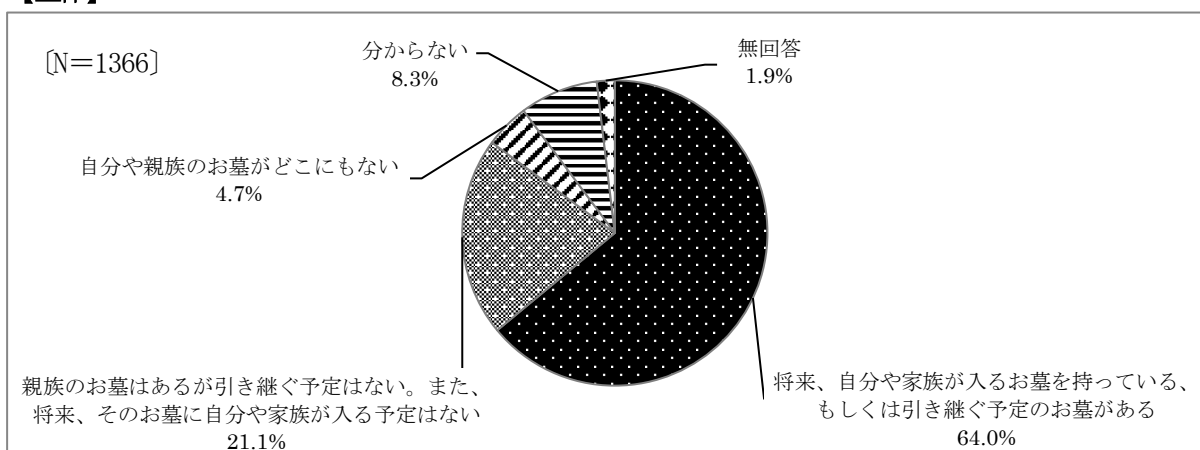
			学校での教育	労働環境の整備	孤立を防ぐ地域づくり	相談窓口の周知	相談体制の整備	傾聴・相談できる人が増える	その他	無回答
	全体	3561	525	701	598	525	634	474	49	55
地区	河北	1130	170	215	201	166	197	141	20	20
	河南	492	83	95	80	75	82	62	6	9
	盛南	504	81	107	85	66	90	64	3	8
	厨川	709	97	137	122	112	127	94	11	9
	都南	619	83	127	92	90	117	97	7	6
	玉山	107	11	20	18	16	21	16	2	3
性別	男	1556	238	336	252	228	269	179	27	27
	女	2005	287	365	346	297	365	295	22	28
年齢	18～19歳	51	14	11	7	7	4	7	1	0
	20～29歳	234	39	63	28	26	36	36	6	0
	30～39歳	360	56	94	42	51	61	50	5	1
	40～49歳	562	89	139	78	71	89	81	14	1
	50～59歳	624	87	130	87	89	125	94	9	3
	60～69歳	740	99	143	133	113	142	93	6	11
	70歳以上	990	141	121	223	168	177	113	8	39

《テーマ4 お墓について》

**問24** あなたは現在、お墓をお持ちですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

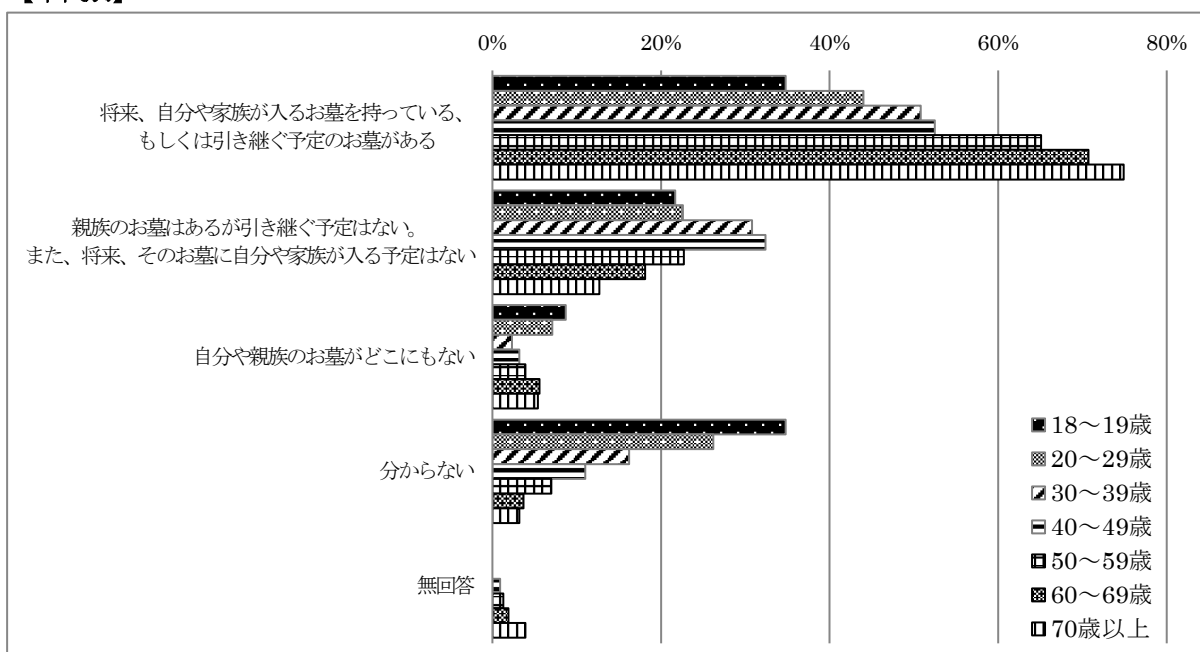
- 1 将来、自分や家族が入るお墓を持っている、もしくは引き継ぐ予定のお墓がある
- 2 親族のお墓はあるが引き継ぐ予定はない。また、将来、そのお墓に自分や家族が入る予定はない
- 3 自分や親族のお墓がどこにもない
- 4 分からない

**【全体】**



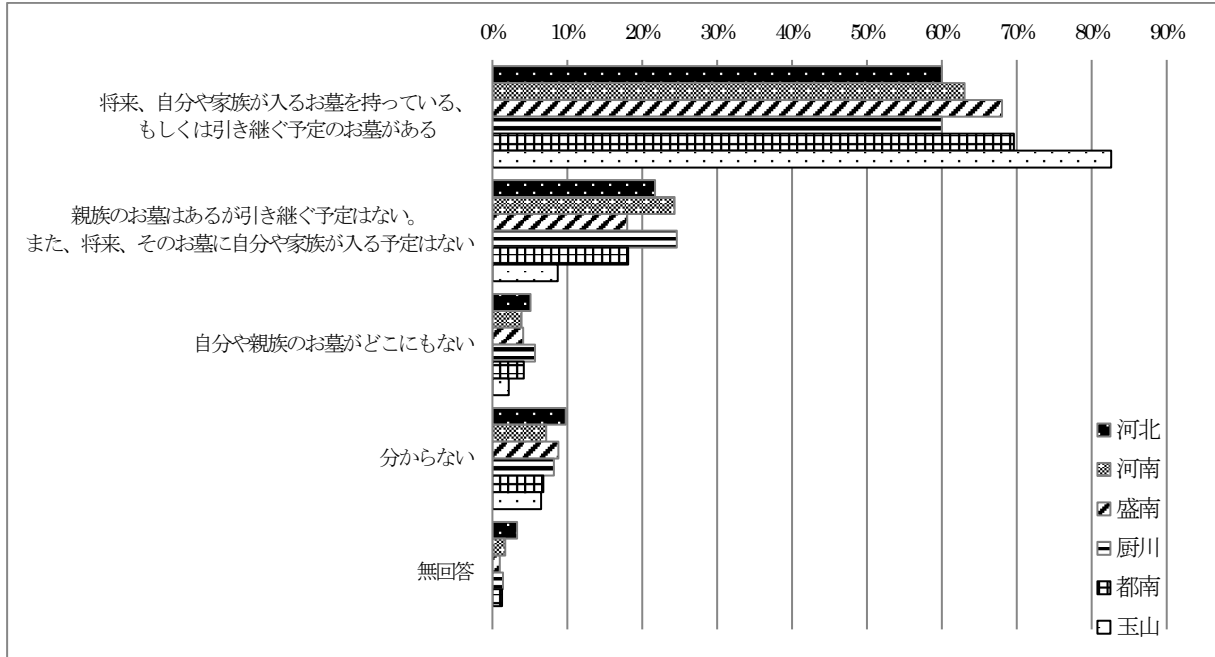
「将来、自分や家族が入るお墓を持っている、もしくは引き継ぐ予定のお墓がある」が半数以上の64%で最も高い。「親族のお墓はあるが引き継ぐ予定はない。また、将来、そのお墓に自分や家族が入る予定はない」が21.1%、「自分や親族のお墓がどこにもない」が4.7%であり、自分が入る墓がない人の割合は25.8%である。今後も望まれるお墓の形態の動向を見ながら、市営墓園のあり方を考えていく必要があると思われる。

**【年代別】**



年代が上がるにつれて「将来、自分や家族が入るお墓を持っている、もしくは引き継ぐ予定のお墓がある」の割合が高くなっており、自分の死後を考え、墓について現実的に考える傾向が読み取れる。一方、30代と40代では、「親族のお墓はあるが引き継ぐ予定はない。また、将来、そのお墓に自分や家族が入る予定はない」が3割ほどいることから、「親族の墓」と「自分や家族が入る墓」を切り離して捉えていることがうかがえる。

【地区別】



玉山地区以外では目立った差はないが、玉山地区は「将来、自分や家族が入るお墓を持っている、もしくは引き継ぐ予定のお墓がある」が82.6%で最も高く、「親族のお墓はあるが引き継ぐ予定はない。また、将来、そのお墓に自分や家族が入る予定はない」と「自分や親族のお墓がどこにもない」が他の地区と比べ最も低い。玉山地区は、今ある親族の墓を引継ぎ、そこに自分も入る人が多いことがうかがえる。

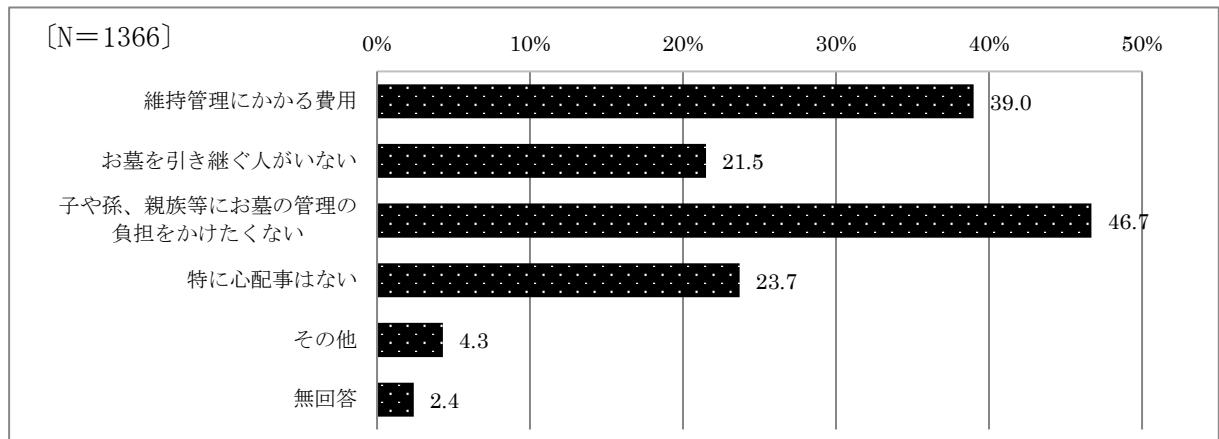
【性別、年代別、地区別の回答数】

		将来、自分や家族が入るお墓を持っている、もしくは引き継ぐ予定のお墓がある	親族のお墓はあるが引き継ぐ予定はない。また、将来、そのお墓に自分や家族が入る予定はない	自分や親族のお墓がどこにもない	分からない	無回答	
地区	全体	1366	874	288	64	114	26
	河北	428	257	93	22	42	14
	河南	181	114	44	7	13	3
	盛南	194	132	35	8	17	2
	厨川	280	168	69	16	23	4
	都南	237	165	43	10	16	3
	玉山	46	38	4	1	3	0
性別	男	626	402	121	38	48	17
	女	740	472	167	26	66	9
年齢	18～19歳	23	8	5	2	8	0
	20～29歳	84	37	19	6	22	0
	30～39歳	130	66	40	3	21	0
	40～49歳	219	115	71	7	24	2
	50～59歳	229	149	52	9	16	3
	60～69歳	270	191	49	15	10	5
	70歳以上	411	308	52	22	13	16

**問 25** 将来も含め、お墓に関する不安や心配事は何ですか。当てはまるもの全てに○を付けてください。

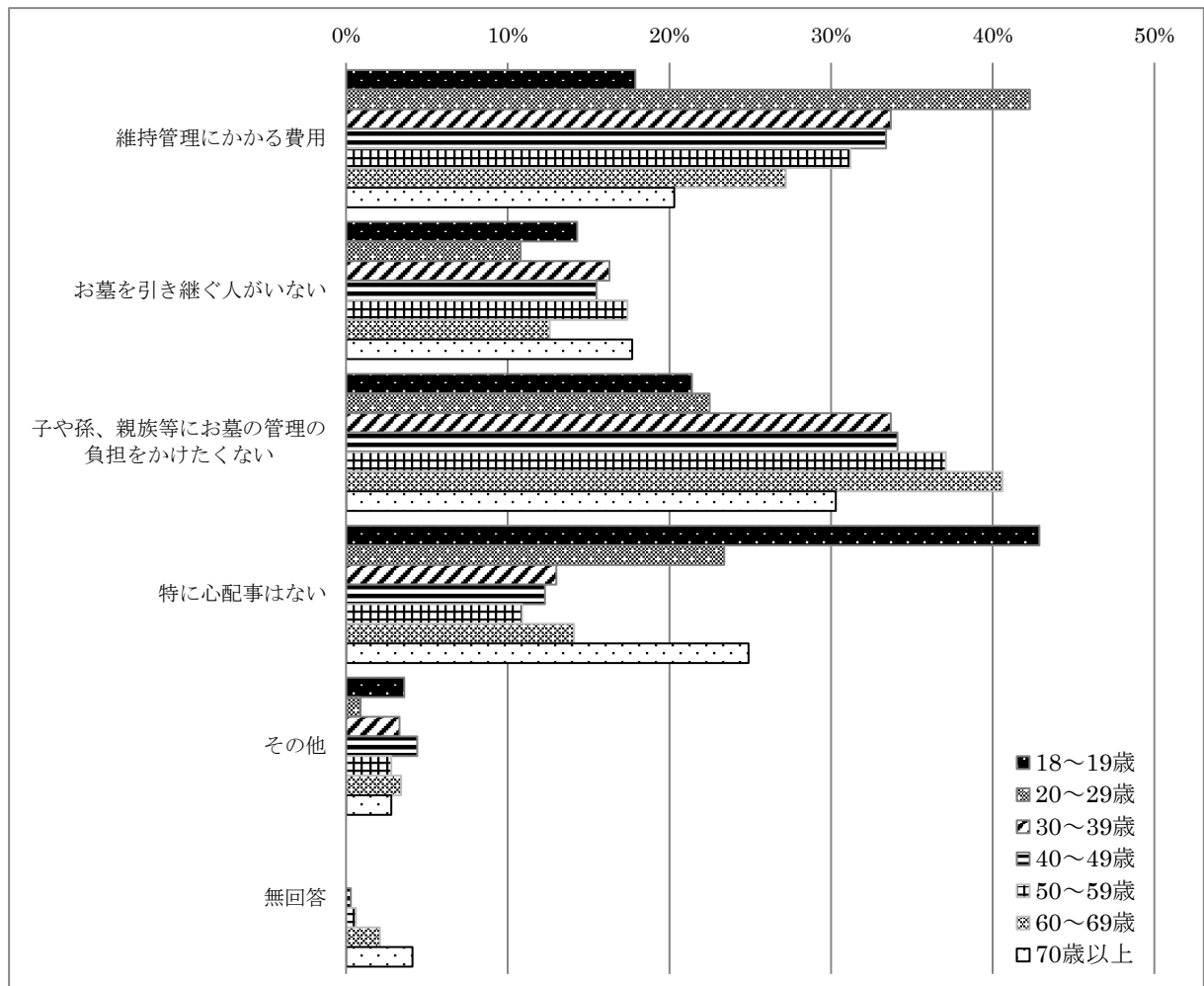
- 1 維持管理にかかる費用
- 2 お墓を引き継ぐ人がいない
- 3 子や孫、親族等にお墓の管理の負担をかけたくない
- 4 特に心配事はない
- 5 その他 ( )

**【全体】**



「子や孫、親族等にお墓の管理の負担をかけたくない」が46.7%で最も高く、次いで「維持管理にかかる費用」が39.0%である。墓の引き継ぎ手として子や孫などを想定しているものの、子や孫などは煩わしい問題と捉えるのではないかと懸念する傾向や、金銭的な面での負担を心配する様子うかがえる。

**【年代別】**





10代では、あまり墓を意識することが少ないためか「特に心配事はない」が42.9%で最も多い。20代では「維持管理にかかる費用」を心配する割合が最も多い。30代では「維持管理にかかる費用」と「子や孫、親族等にお墓の管理の負担をかけたくない」の割合が同じで33.7%である。40代以降の年代においては「子や孫、親族等にお墓の管理の負担をかけたくない」の割合が最も高い。

年代が高くなるにつれ、お墓への関心や意識が高まり、引継ぎをはじめとする墓問題に関する負担を危惧する様子が見えてくる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

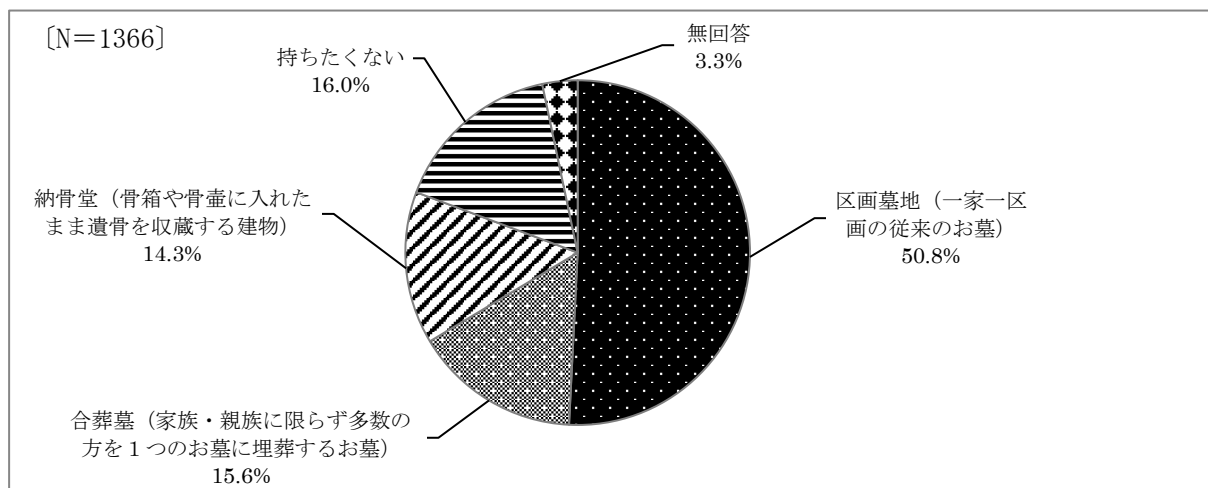
			維持管理にかかる費用	お墓を引き継ぐ人がいない	子や孫、親族等にお墓の管理の負担をかけたくない	特に心配事はない	その他	無回答
	全体	1881	533	294	638	324	59	33
地区	河北	603	165	95	200	108	20	15
	河南	241	63	34	89	45	4	6
	盛南	267	84	44	79	46	10	4
	厨川	389	111	71	132	54	16	5
	都南	325	94	44	121	55	9	2
	玉山	56	16	6	17	16	0	1
性別	男	851	241	141	265	156	26	22
	女	1030	292	153	373	168	33	11
年齢	18～19歳	28	5	4	6	12	1	0
	20～29歳	111	47	12	25	26	1	0
	30～39歳	184	62	30	62	24	6	0
	40～49歳	317	106	49	108	39	14	1
	50～59歳	321	100	56	119	35	9	2
	60～69歳	382	104	48	155	54	13	8
	70歳以上	538	109	95	163	134	15	22

若い年代では、お墓について家族と話し合う機会がないことや具体的に考える機会がないことがうかがえる。また、お墓はあるものの、遠方にあることや、高齢になってからの墓までの交通手段に苦勞する声もある。半数近くの方は、まだお墓は代々引き継ぐものという意識があり、後世への負担を懸念する様子が読み取れる。

**問 26** 現在のお墓の有無にかかわらずお答えください。どのような形態のお墓を持ちたいですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

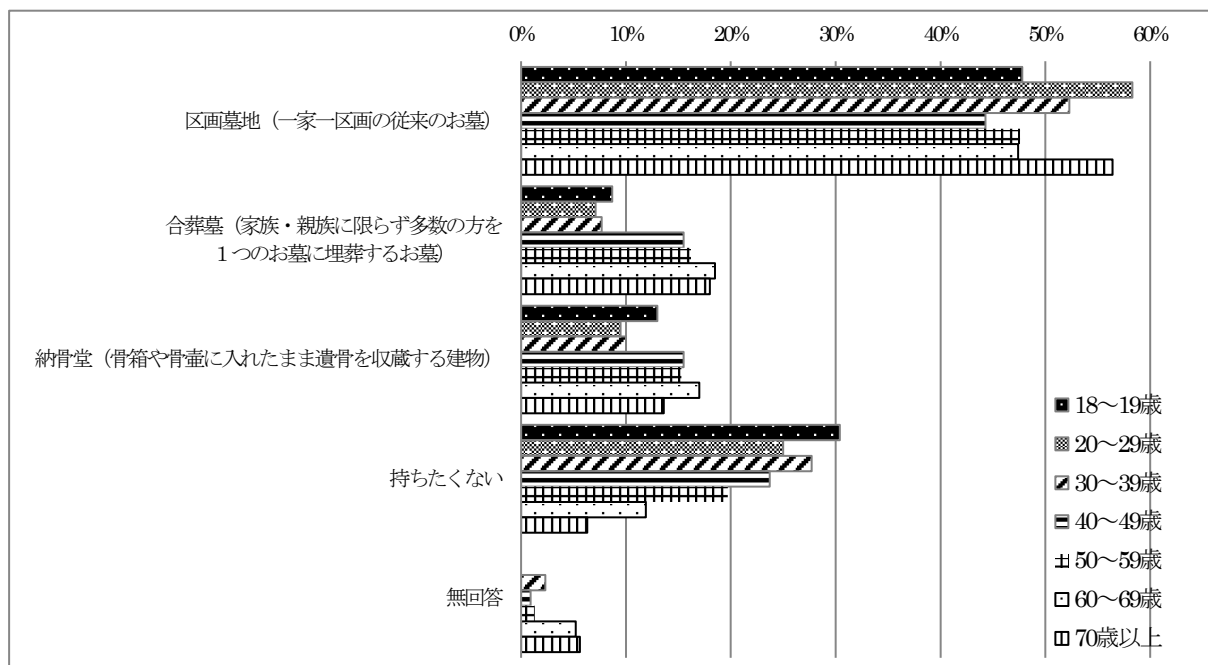
- 1 区画墓地（一家一区画の従来のお墓）
- 2 合葬墓（家族・親族に限らず多数の方を1つのお墓に埋葬するお墓）
- 3 納骨堂（骨箱や骨壺に入れたまま遺骨を収蔵する建物）
- 4 持ちたくない

**【全体】**



「区画墓地（一家一区画の従来のお墓）」を持ちたいと考える人が50.8%で全体の半数を占める。また、従来の区画墓地の形態ではない「合葬墓（家族・親族に限らず多数の方を1つのお墓に埋葬するお墓）」15.6%と「納骨堂（骨箱や骨壺に入れたまま遺骨を収蔵する建物）」14.3%の割合は合わせて29.9%である。全体の3割ほどは新しい形態のお墓を希望しているが、従来からの区画墓地の方が希望する人が多いことが分かる。

**【年代別】**



どの年代も「区画墓地（一家一区画の従来のお墓）」を持ちたいと考える人が4割以上いる。10代から50代までは、「区画墓地（一家一区画の従来のお墓）」の次に多いのは「持ちたくない」である。60代から70代では、ほかの年代と比較して「合葬墓（家族・親族に限らず多数の方を1つのお墓に埋葬するお墓）」と「納骨堂（骨箱や骨壺に入れたまま遺骨を収蔵する建物）」を望む割合が高い。年代が上がるにつれて、お墓について具体的に意識し、従来の区画墓地の形態以外についても考える傾向があることが読み取れる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			区画墓地 (一家一区画の従来のお墓)	合葬墓 (家族・親族に限らず多数の方を1つのお墓に埋葬するお墓)	納骨堂 (骨箱や骨壺に入れたまま遺骨を収蔵する建物)	持ちたくない	無回答
	全体	1366	694	213	195	219	45
地区	河北	428	190	84	60	78	16
	河南	181	77	33	30	33	8
	盛南	194	109	24	22	31	8
	厨川	280	149	40	42	41	8
	都南	237	140	24	40	31	2
	玉山	46	29	8	1	5	3
性別	男	626	353	82	83	90	18
	女	740	341	131	112	129	27
年齢	18～19歳	23	11	2	3	7	0
	20～29歳	84	49	6	8	21	0
	30～39歳	130	68	10	13	36	3
	40～49歳	219	97	34	34	52	2
	50～59歳	229	109	37	35	45	3
	60～69歳	270	128	50	46	32	14
	70歳以上	411	232	74	56	26	23



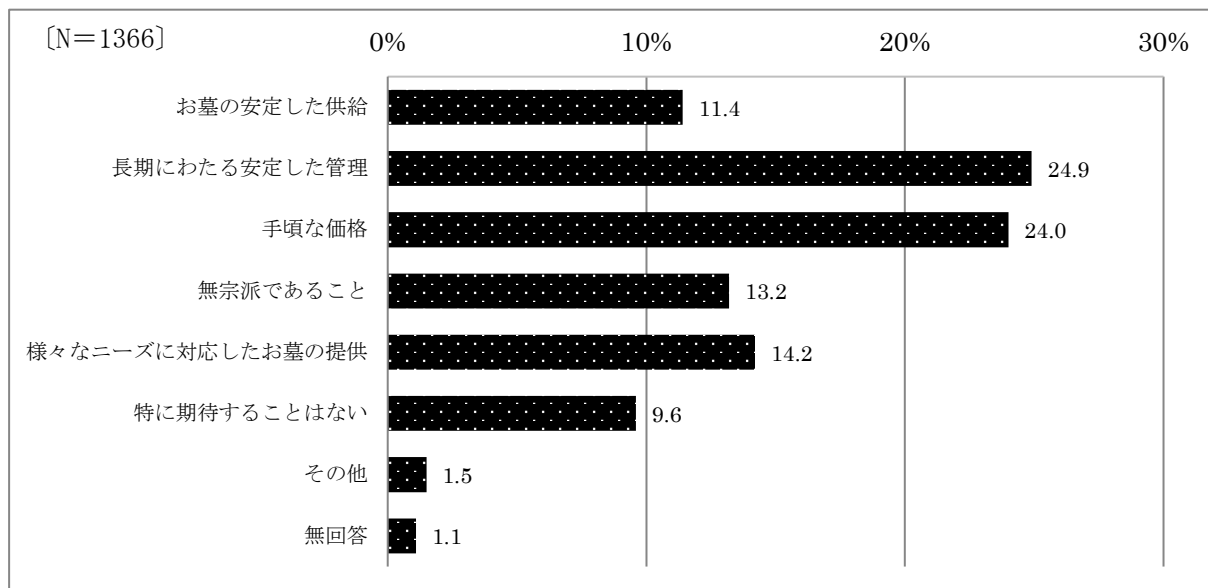
【性別、年代別、地区別の回答数】

			予定がある	予定はない	無回答
	全体	1366	190	1144	32
地区	河北	428	71	349	8
	河南	181	21	154	6
	盛南	194	22	165	7
	厨川	280	43	233	4
	都南	237	30	200	7
	玉山	46	3	43	0
性別	男	626	73	544	9
	女	740	117	600	23
年齢	18～19歳	23	1	22	0
	20～29歳	84	9	74	1
	30～39歳	130	15	115	0
	40～49歳	219	20	197	2
	50～59歳	229	37	189	3
	60～69歳	270	43	219	8
	70歳以上	411	65	328	18

**問 28** 盛岡市には市営墓地がありますが、あなたは市営墓地にどのようなことを期待しますか。当  
てはまるもの全てに○を付けてください。

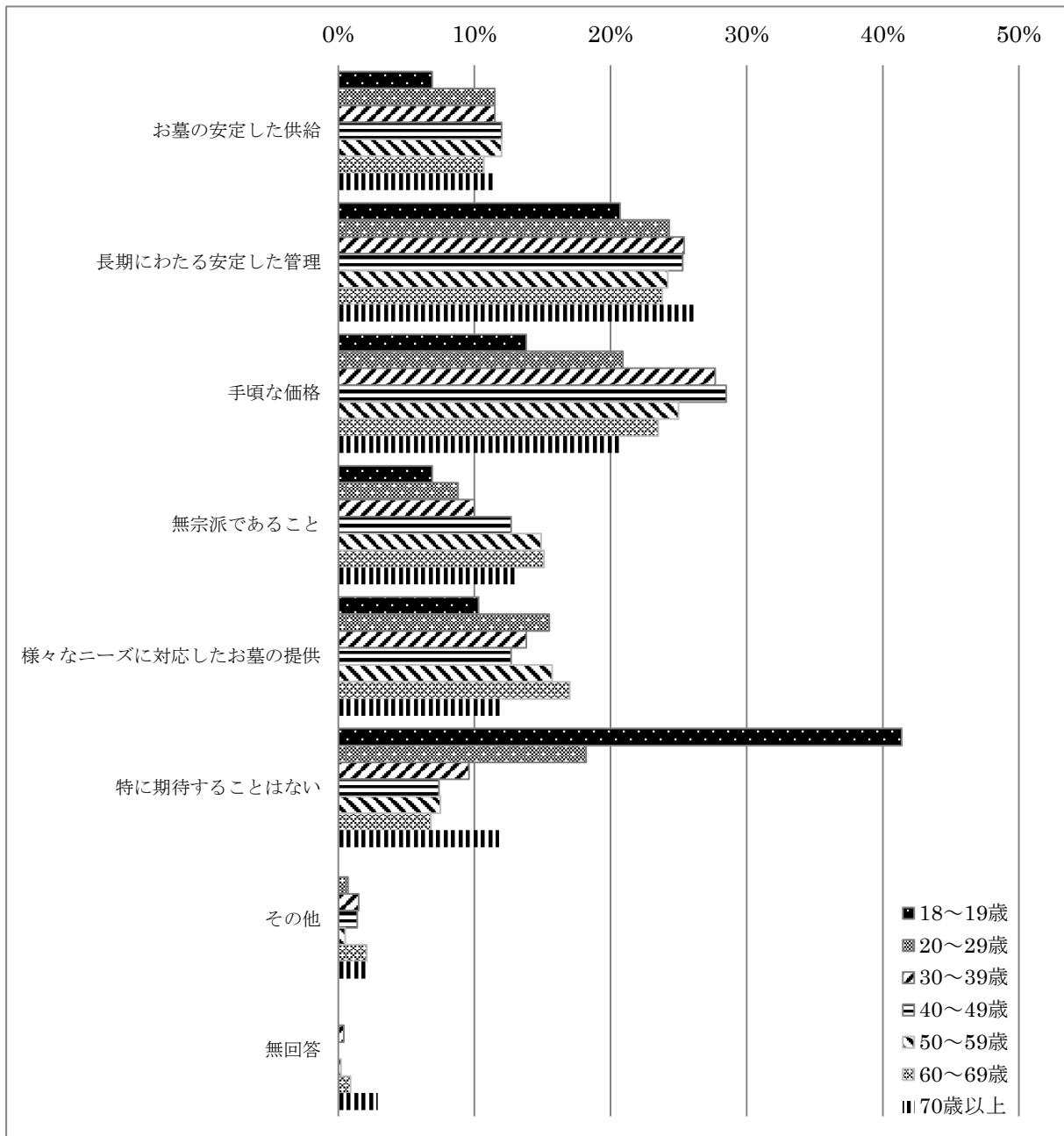
- 1 お墓の安定した供給
- 2 長期にわたる安定した管理
- 3 手頃な価格
- 4 無宗派であること
- 5 様々なニーズに対応したお墓の提供
- 6 特に期待することはない
- 7 その他 ( )

**【全体】**



「長期にわたる安定した管理」が24.9%、「手頃な価格」が24.0%が多い。次いで「様々なニーズに対応したお墓の提供」が14.2%となっている。市営墓地に対して、公平で安定した管理・維持を継続することや価格を抑えた提供が求められていることが分かる。また、区画墓地の提供だけでなく、管理面も含めて使用者のニーズは多様化してきており、人々のお墓に対する価値観の変容を読み取ることができる。

【年代別】



10代では「特に期待することはない」の割合が41.4%で最も高く、ほかの年代に比べてお墓に対する関心が低いことがうかがえる。20代、60代、70歳以上では、「長期にわたる安定した管理」、30代、40代、50代は「手頃な価格」が最も高い。若い年代よりも自分の死後を具体的に捉える60代以上は、安定した管理を継続することを求めていることが分かる。一方、親族や自分のお墓に対して考え始める30代、40代、50代は、価格を重視する傾向があることが分かる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

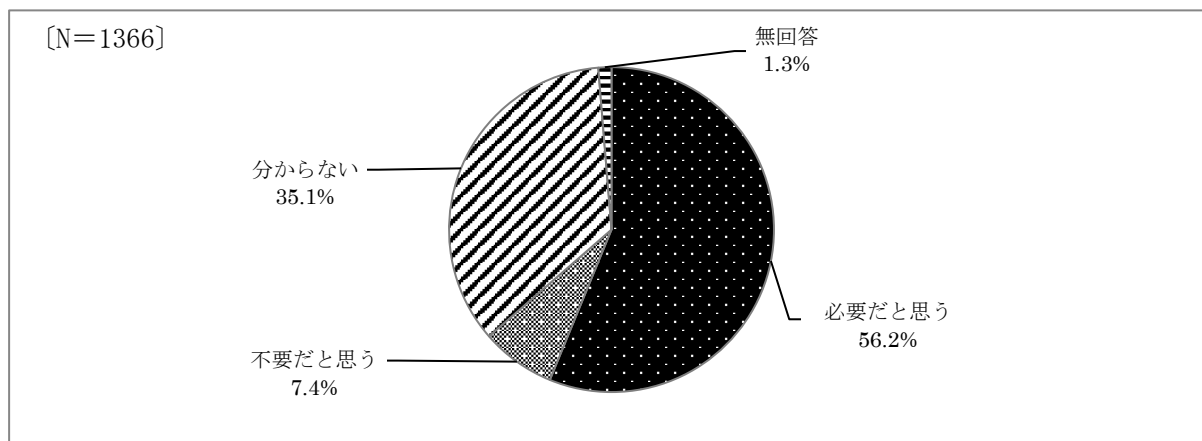
			お墓の安定した供給	長期にわたる安定した管理	手頃な価格	無宗派であること	様々なニーズに対応したお墓の提供	特に期待することはない	その他	無回答
	全体	2921	334	728	701	387	416	279	45	31
地区	河北	913	100	227	222	124	130	81	18	11
	河南	385	43	97	87	52	62	34	6	4
	盛南	440	54	100	106	58	64	45	9	4
	厨川	586	70	157	137	72	77	57	8	8
	都南	501	57	125	126	70	66	50	4	3
	玉山	96	10	22	23	11	17	12	0	1
性別	男	1309	163	311	324	168	165	149	21	8
	女	1612	171	417	377	219	251	130	24	23
年齢	18～19歳	29	2	6	4	2	3	12	0	0
	20～29歳	148	17	36	31	13	23	27	1	0
	30～39歳	260	30	66	72	26	36	25	4	1
	40～49歳	502	60	127	143	64	64	37	7	0
	50～59歳	549	66	133	137	82	86	41	3	1
	60～69歳	634	68	151	149	96	108	43	13	6
	70歳以上	799	91	209	165	104	96	94	17	23



**問29** 近年はお墓についての考え方も多様化し、合葬墓の形態によるお墓も見られるようになりました。あなたは、市営の合葬墓が必要だと思いますか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

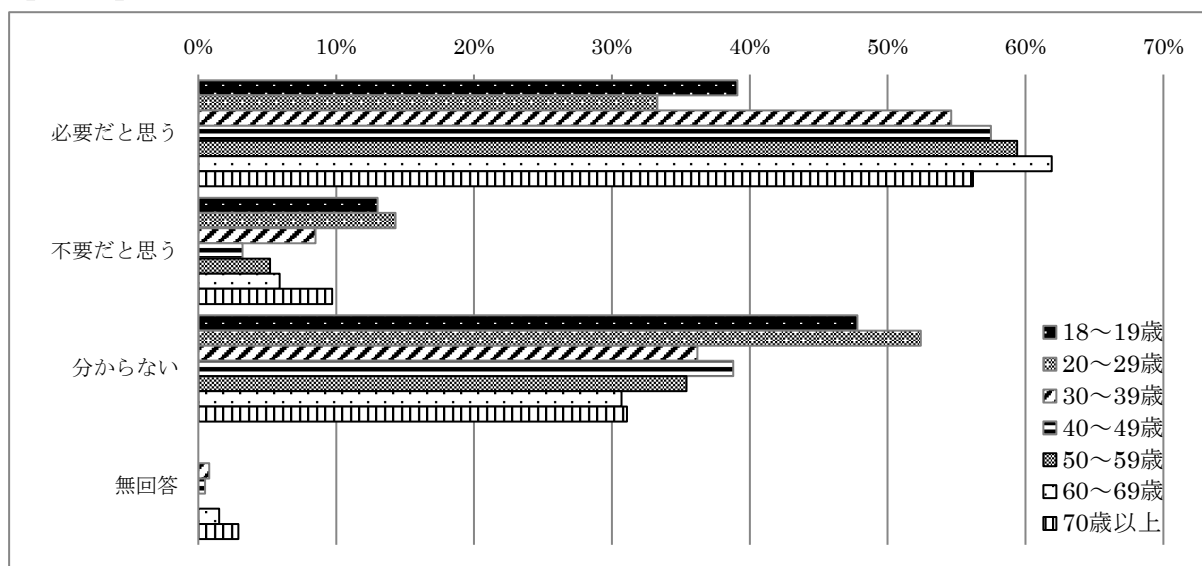
- 1 必要だと思う
- 2 不要だと思う
- 3 分からない

**【全体】**



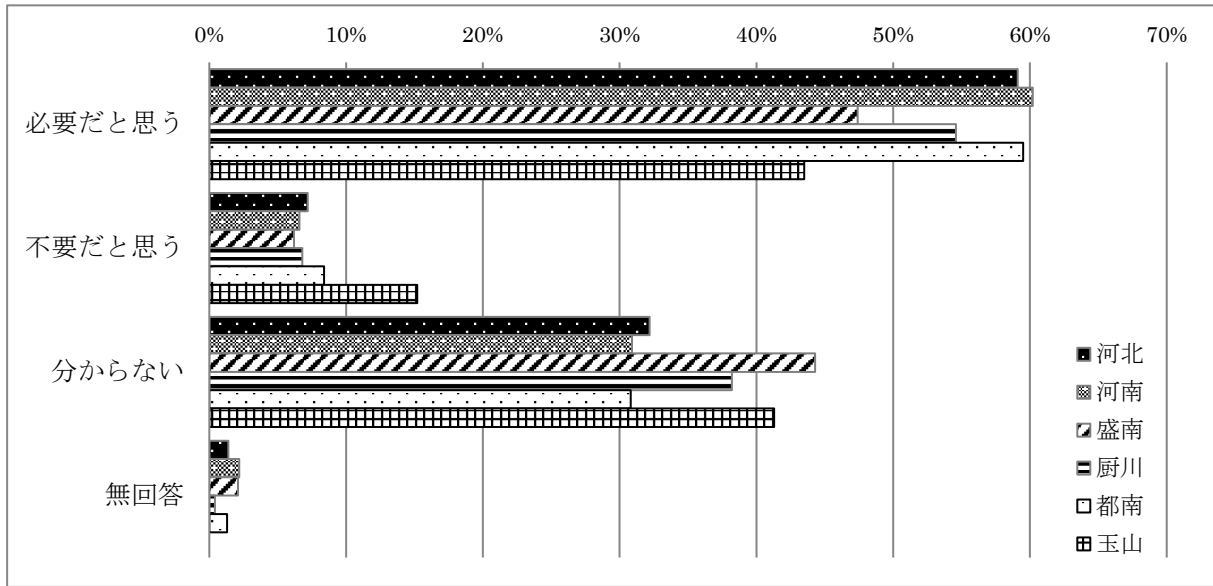
「必要だと思う」が半数以上の56.2%で、次いで「分からない」が35.1%であった。市営の合葬墓の設置については、市民の関心が高まっている傾向がうかがえる。

**【年代別】**



30歳以上における「必要だと思う」の割合は、半数を超えており、引継ぎ手を必要としない合葬墓を市が設置することに関心があることがうかがえる。

【地区別】



盛南地区と玉山地区では「必要だと思う」と「分からない」の割合が同程度であり、それ以外の地区では「必要だと思う」の割合が最も多い。比較的、若い世代が暮らす盛南地区と、今ある親族の墓を引継ぐ傾向がある玉山地区においては、ほかの地区よりも市営の合葬墓への関心が低いことがうかがえる。

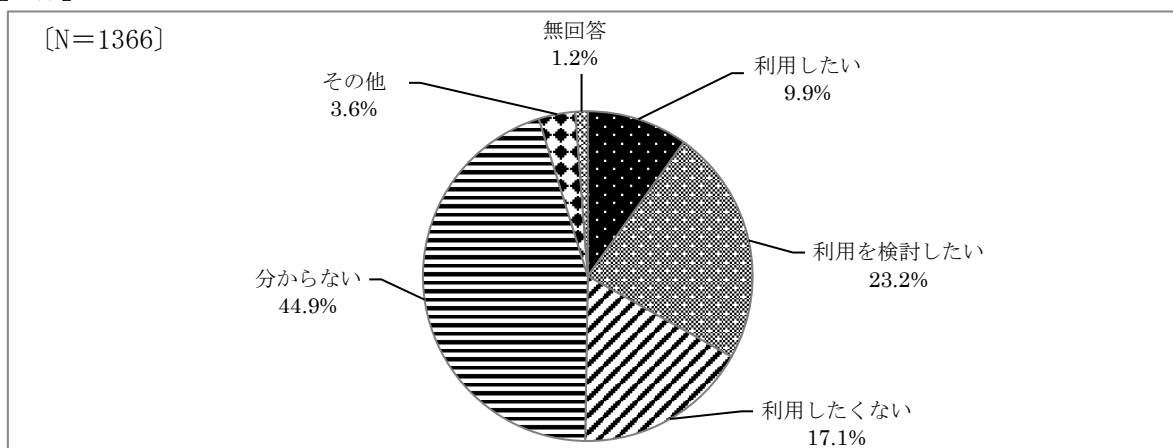
【性別、年代別、地区別の回答数】

		必要だと思う	不要だと思う	分からない	無回答	
	全体	1366	768	101	479	18
地区	河北	428	253	31	138	6
	河南	181	109	12	56	4
	盛南	194	92	12	86	4
	厨川	280	153	19	107	1
	都南	237	141	20	73	3
	玉山	46	20	7	19	0
性別	男	626	349	62	210	5
	女	740	419	39	269	13
年齢	18～19歳	23	9	3	11	0
	20～29歳	84	28	12	44	0
	30～39歳	130	71	11	47	1
	40～49歳	219	126	7	85	1
	50～59歳	229	136	12	81	0
	60～69歳	270	167	16	83	4
	70歳以上	411	231	40	128	12

**問30** 今後、市が合葬墓を設置したとしたら、利用したいですか。当てはまるもの1つに○を付けてください。

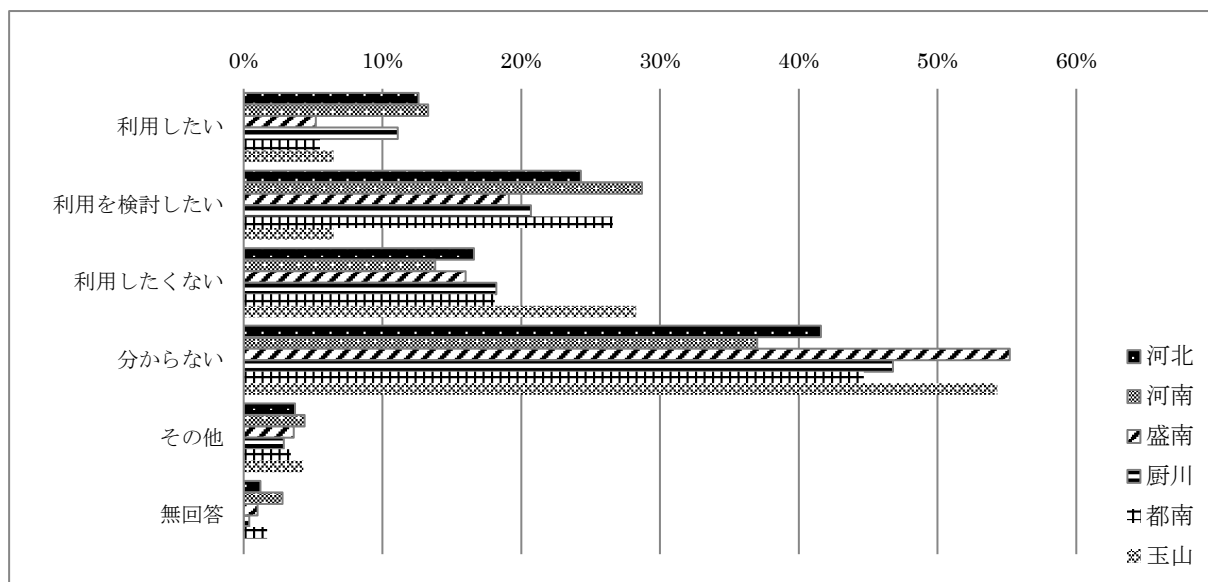
- 1 利用したい
- 2 利用を検討したい
- 3 利用したくない
- 4 分からない
- 5 その他 ( )

**【全体】**



「分からない」が44.9%で最も高く、合葬墓について理解が進んでいないことが考えられる。次いで「利用を検討したい」が23.2%であった。「利用したい」は9.9%で最も低い。合葬墓を市が設置することについて、関心が高まっているものの、その関心は具体的な利用には直結しない様子を読み取れる。その背景には、お墓の問題を、個人の問題と捉えるよりも、これまでの引継ぎ手を必要とする区画墓地の考えが未だ根深く、家族や親族との繋がりの中で捉えている様子が見えてくる。

**【地区別】**



「分からない」の割合が、盛南地区が最も高く、玉山地区が次いで高い。また、玉山地区以外では「分からない」の次に「利用を検討したい」の割合が高い。玉山地区では、他の地区に比べて「利用したくない」の割合が高いことから、他の地区よりも市営の合葬墓設置の需要が少ない様子が見えてくる。

【性別、年代別、地区別の回答数】

			利用したい	利用を検討したい	利用したくない	分からない	その他	無回答
	全体	1366	135	317	234	614	49	17
地区	河北	428	54	104	71	178	16	5
	河南	181	24	52	25	67	8	5
	盛南	194	10	37	31	107	7	2
	厨川	280	31	58	51	131	8	1
	都南	237	13	63	43	106	8	4
	玉山	46	3	3	13	25	2	0
	性別	男	626	61	153	124	262	23
女		740	74	164	110	352	26	14
年齢	18～19歳	23	1	6	4	12	0	0
	20～29歳	84	4	13	17	49	1	0
	30～39歳	130	8	34	28	57	3	0
	40～49歳	219	13	62	39	103	2	0
	50～59歳	229	29	59	31	104	5	1
	60～69歳	270	29	64	43	122	10	2
	70歳以上	411	51	79	72	167	28	14

令和4年度市民アンケート調査結果報告書  
令和5年1月発行

〈発行・編集〉

盛岡市市長公室広聴広報課  
〒020-8530 盛岡市内丸12番2号  
電話 (019) 626-7517 (直通)

〈調査結果の考察担当〉

- ・市長公室広聴広報課
- ・商工労働部経済企画課
- ・市長公室企画調整課
- ・保健所健康増進課
- ・保健所企画総務課

この報告書は再生紙を使用しています。